

知の旅立ち

教養セミナー学生論集

NO.28

2024



愛知学院大学教養部

知の旅立ち

教養セミナー学生論集 NO.28

2024

愛知学院大学教養部

表紙
久馬
栄道

知の旅立ち 第二八号 — 目次 —

※各文章の後に掲載されている寸評は、各セミナー担当者によるものです。

教養セミナー学生論集

《教養セミナーⅠ・Ⅱ》

◇文学部

『アルジャーノンに花束を』を
読み、ヨルシカ楽曲を採る

福井 涉 椰 …… 3

人の命の始まりはいつか

宮本 そら …… 6

唐辛子の日本伝来と
様々な使い方

村瀬 友彦 …… 10

日本文化として見る「漫才」

飯田 風花 …… 13

祖母の人生

佐藤 竣星 …… 15

「音楽」の語義の問題点と対案

内藤 萌々香 …… 21

日本と海外におけるCMの違い

安田 明花 …… 23

◇経営学部

「ピブリオバトル」の感想

佐藤 大和 …… 26

美のアイデアを用いて愛犬二匹の
どちらがより美形か検証する

篠田 沙季 …… 28

スターバックスコーヒーは
なぜ人気なのか

福田 七々 …… 30

◇法学部

『鬼滅の刃』の人氣と魅力

— 世界中に愛される作品となった三つの外的要因 —

大田 実空 …… 33

台湾有事における日本の課題

浅井 慎一郎 …… 36

ミッフィーについて

渡部 希咲 …… 39

〜作者ディック・ブルーナから学ぶこと〜

オービスの使い方

森 大青 …… 42

韓流ブームが与えた
日本への影響

林 留菜 …… 46

死刑制度のあり方

津口 結依 …… 50

一人称代名詞の違い

田中 里奈 …… 53

◇商学部

ここに残った絵本

— SDGs を考える

西脇 陸人 …… 56

「貧困がもたらす苦しみ」

ここに残った絵本

—SDGsを考える

LIU ZIXI……………58

推薦したいもの

堀部 佑 弥……………61

推薦したいもの

早野 康 生……………64

「ビブリオバトル」の感想

後藤 珠 心……………67

◇心理学部

『ファウスト』(第一部・第二部)
を読んで

大野 真 穂……………69

『ファウスト』(第一部・第二部)
を読んで

藤 枝 奈 南 子……………72

大学生と労働法

伊 藤 光 希……………74

大学生の就職不安の
特徴について

角 田 美 柚……………79

◇経済学部

大叔父への聞き書き

西 岡 奏 太……………84

《教養教育を振り返って》

食べないで肌譲ってください
山 田 菜 々 花……………89

*

令和五年度 教養セミナー・テーマ一覧

表紙絵の思い出

—イギリスのレッド・ブリックス大学

教養部数学教室 久馬栄道

編集後記

*

《教養セミナーⅡ》

『アルジャーノンに花束を』を

読み、ヨルシカ楽曲を探る

福井 渉 椰

(歴史学科一年)

主人公の独白が綴られた「経過報告」で物語が進行するという独特の叙述形式をもつダニエル・キイス著『アルジャーノンに花束を』は、発表から六〇年以上が経過した今でも色褪せることなく輝きを放ち続けている。さて、本稿で主題に据えるのは、そんな本作を基に創作された、バンドグループ「ヨルシカ」の楽曲『アルジャーノン』である。ヨルシカの二人はこれ以前にも様々な文学作品を基にした楽曲を世に送り出してきたが、戦後の文学を対象としたのは本楽曲が初めてであり、彼らにとって一つのターニングポイントだったと言える。しかし、楽曲『アルジャーノン』は新機軸の展開と共に、多くの謎を引き連れて我々の元へと現れたのである。公式の歌詞解説が公開されてい

ない今だからこそ、ありうる一つの個人的見解として、本楽曲の謎を紐解いていこうと思う。

まずは歌詞全体を俯瞰してみると、どうやらこの楽曲の設定は、誰かある人物の視点から「貴方」と呼ばれるある人物へと語りかけている場面であることが分かる。これ以降、語りかける前者を「A」、語りかけられる後者を「B」と呼ぶことにする。この二人が原作におけるどの登場人物であるかを見つけることが本稿の最終目標だ。

楽曲分析の第一歩として、原作からそのまま引用された歌詞を見ていく。しかしながら本楽曲における引用歌詞は驚くべきことに一つしかなく、これは原作の存在する楽曲では異例と言えるだろう。その唯一の引用歌詞が「迷路」である。原作における「迷路」は、主人公チャーリーが実験途中は全く進めなかったが、知能が上がってからはそれが子供騙しの玩具としか見えなくなる様を描くことで、彼の知能が上がったことを視覚的に演出する役割を果たしていた。

印象的な場面であるため、ここからの引用は十分納得できる。しかし、問題は、楽曲での「迷路」は複数回登場する上に、その都度主語が変わる点である。第一の引用「迷路の先も恐れないままで」の主語はB、第二の引用「迷路

の先を恐れないように」の主語はAとB（僕ら）、第三の最後の引用「迷路の先も恐れないままで、確かに迷いながら」の主語は再びB、という具合である。この三箇所から分かるのは、B一人の場面とは異なり、Aが共に登場する場面では行動が奥手になっていることであり、この点だけからも、Aは優柔不断でBは自由奔放、という二人の性格の差をとらえることができる。また、B自身も迷路に臆してはいないが実は迷いの中にあることが、第三の引用において明らかとなる。山田敏弘は心に残る歌詞の秘密を探りながら、「番ごと」に歌詞の一部を変化させるのは、そこに深みや隠された意図を持たせる目的があるから」だと述べている。そうであるなら、ここにおける「隠された意図」とは、二人の性格差の描写を通して原作とのつながりを示すことだと解釈できよう。

原作引用歌詞から二人の性格の差がわかったところで、いよいよ本題であるその二人の正体の考察へと入ろう。安直ではあるが、やはり片方は主人公チャーリーであるとして話を進めることにする。そうであるなら、彼が語りかけるもしくは語りかけられる相手は誰なのだろうか。可能性のある人物を一人ずつ挙げながら検討していく。

第一に、ネズミのアルジャーノン説である。原作にてチャーリーと共に実験を受けた彼は、人間ではないにしてもチャーリーにとつて唯一同じ境遇を持つ存在であり、原作中盤では共に大人たちからの逃避行を試みることにな

る。そしてクライマックスでは、チャーリーはアルジャーノンの死に際して、実験の効力に終わりがあることを悟るのである。間違いなく作中で最もチャーリーと関わった人物であるため、この説を最初に思いついたが、しかしどうしても歌詞にマッチしない。そもそも人間ではないので語りかけるAとは考えづらい上に、アルジャーノンと共にいたことでチャーリーが奥手になっているような描写は原作にはなかった。

第二に、私たち読者自身とする説である。メタフィクション的発想ではあるが、Aを読者自身と考えればかなり辻褄が合うことに気付く。チャーリーの知能が向上していくさまを、彼の書き残した経過報告を通して知った読者であれば、彼が迷い苦しみながらも前に進む様子を見て「確かに迷いながら」と言うのは納得できる。しかし、前説同様、読者一般に奥手な性格を帰すことには違和感がある。強い感情移入の結果ともとれるが、やはり不自然さが残る。

このように様々な可能性を比較検討した結果、最も歌詞にマッチする人物として本稿で導き出す結論、それはAとBどちらもチャーリーとする説である。正しくは「実験後」のチャーリーをA、「実験以前」および「効果切れ後」のチャーリーをBとする説だ。実験以前と以降では知能の向上によって彼の性格や価値観は大きく変化しており、もはや同一人物と扱う方が難しい程である。実際、原

作ではストレスに苛まれたチャールリーに、過去のチャールリー自身が鏡の中から語りかけてくる描写があった。これを見てみると、ダニエル・キイス自身チャールリーを多重人格者のように描く意図があったようにも思える（現に彼は後の別作品において、多重人格者のリアルを描くこととなる）。以下、AとBを共にチャールリーとする私説を踏まえた場合に、歌詞全体がいかに解釈されることになるのか、その詳細を確認しよう。

まずは一番の歌詞だが、これは、実験後のチャールリーが過去の自分自身に語りかけ、それを哀れみながらも、明るく生きるその姿に思いを馳せ、懐古する場面である。このように見ると、「貴方はゆっくりと変わっていく」と歌詞にあるのは全く違和感がない。次に二番は、原作では中盤にあたる場面、すなわち、性に翻弄され葛藤した末に過去の自分が何度もフラッシュバックしてくる場面である。そうであるなら、子供騙しの玩具としか見えなくなつたはずの迷路に彼が臆する理由は、彼のストレスがもたらしたものと判断できる。続く間奏は、アルジャーノンの死を見て実験には効果切れがあることを知る場面である。そうすると、「いつかとても越えられない壁に竦むのだろうか」という一節は、再び知能を失つた未来の自分までも今の自分のように優柔不断なのだろうか、と心配している描写と見ることが出来る。最後に三番は、完全に知能がなくなり収容施設へ送られた未来の自分が、再び何も知ることなく、

「確かに迷いながら」も明るく生きる姿、そんな場面の想像であると解釈できる。当然ながら、彼は自分がそうなつてしまうことに絶望しているが、そのまま容赦なく曲は終わつてしまう。これはまさしく、原作を読み終えたときの激しい喪失感そのものだ。

以上、ヨルシカ楽曲の歌詞に登場する人物はどちらもチャールリーであるとする私説が正しいとすれば、まさに本楽曲は、原作のストーリーをたつた四分二〇秒の中へと上手く落とし込み、その中でチャールリーという一人の男の生涯を端的に描き切っているのである。この考察がどれだけ当たっているかは、作詞者のn-bunaのみぞ知るところであり、正解は不明だ。しかし、今回の考察を経たことで、私自身の原作を読む手、楽曲を聴く耳の感覚が、以前とはまるで異なつたものに変容したことは疑いえない。そこに見出される価値は、正解よりも重要と言える。

注

- 1 ダニエル・キイス（一九八九（一九六六）、「アルジャーノンに花束を」、小尾（訳）、早川書房
- 2 山田敏弘（二〇一四）、「あの歌詞はなぜ心に残るのか—Jポップの日本語力」、祥伝社、二三頁
- 3 ダニエル・キイス（二〇一五（一九九九）、「24人のピリー・ミリガン」、堀内（訳）、早川書房

〔寸評〕

担当教員…岩佐 宣明

例年どおり、自分の考えを論理的に表現する力を身につけることを目標に授業に取り組んだ。春学期は『教養セミナーハンドブックII日本語表現法』を用いて日本語表現の基礎を学び、秋学期はそれを踏まえ自由テーマで学術レポートの作成に挑戦した。真剣に取り組んだ学生については、全員が一定水準のレポートを完成することができたと思う。福井さんのレポートはその中でも、議論の構成、読者を説得するための論理展開、表現の明確さ、等々の点において、とくに優れていたものの一つである。論述全体に楽曲とその原作への愛がにじみ出ている一方で、だからといってけっして激情に走るのではなく、冷静な筆致のもとに学問的な誠実さが保たれている点が、とくに評価できる。欲を言えば、チャーリーの多重人格性という部分を、もう一步丁寧に分析してほしかった。

人の命の始まりはいつか

宮本 そら

(日本文化学科一年)

一、序論

人の命の始まりはいつからだろうか。現在日本の法律では、この世に誕生してから人とみなす考え方が適用されている。民法では胎児の体がすべて母体から出てからが人であるとする全部露出説が通説であるのに対して、刑法では胎児の体が母体の外から見えた時点で人とする一部露出説を通説にしている。これらはどちらも胎児がこの世に誕生してから人とするという点で共通している。しかしながらこの定義は果たして本当に正しいのだろうか。

日本の法律の立場は「出産してから『一人の人』として扱う」というものである。しかしこの法律では次のような問題が生まれる。露出してからでない人とみなさない現在の説の場合、何もなければ数時間後に生まれるはずだった胎児が不慮の事故で命を落としてしまったときに、その胎児は人とはみなされないとということになってしまう。母体から切り離しても独立して生きていけるくらい成長しているも、母体内にいるというだけでその胎児は人ではなく単なる母親の付属物として考えられてしまうのだ。この問

題点から私は、人の命の始まりを露出説よりも早い段階、具体的には「胎児が母体外生存できるようになったタイミング」に設定すべきだと考えた。以下、このことについて考察していく。

二、本論

(1) 人の命と人格の有無

キリスト教カトリック教会では、人は受精の瞬間から人格を持った存在として扱われる。すなわち受精の瞬間に人の命が始まると考えられているのだ。では人格とは何なのだろうか。

Wikipediaによると人格とは個人の心理面での特性・人柄、又は人間としての主体と定義されている。そしてこの人格の形成においては周りの環境や両親の養育態度などの干渉が必要である。すなわち、人格が形成し始める時期は生まれた時であり、生まれる前は人格形成に何ら影響が及ばないと言えるだろう。しかしここで議論されるのが「人格の潜在性」である。人格の潜在性とは、いづれこのような人格を有した人になる潜在性を持つているということである。カトリックでは、受精卵の時点で既に潜在的な人格を持つと考えられているのだ。しかしながら私は、人格の有無と人の命の始まりは切り離すべきだと考える。その理由について、無脳症児を例にして述べる。

無脳症は脳が大きく欠如している病気である。無脳症児

の七五%が死産、無事に生まれてきたとしても生後一週間生存することは困難とされている。この無脳症児は脳がないため人間活動を惹起する生物学的構造を欠いていて、自己意識や認知能力、意思伝達能力そして潜在性も欠如しているとされている。すなわち、人格の定義に無脳症児を当てはめると、「無脳症児は人格がない」＝「人ではない」ということになってしまう。しかし実際に私たちは、潜在的な人格の有無をもとにして無脳症児を人ではない存在として扱っているだろうか。

確かに無脳症児は脳が欠けているため認知能力はないうえに一週間生存することも困難とされているため大人になることもない。しかしながらこの世に誕生した無脳症児は脳が欠けているものの心臓は動いていて、呼吸もしている。そして死産ではなく生まれてからも無脳症児が生存していた場合、病院側は彼らに対してできる限りの治療をする。このように出産された無脳症児の治療を行い、人として扱っていると言えるだろう。そしてこれは無脳症児が、短期間ではあるが母体から独立した存在として生きている、すなわち母体外生存しているからではないかと私は考えた。では一体いつから母体外生存できるのだろうか。

(2) いつから母体外生存が可能になるのか

現在の日本では母体保護法に記載されている中絶適応条件に当てはまっていた場合にのみ、指定医師により中絶が

行われる。母体保護法には「人工妊娠中絶とは、胎児が、母体外において、生命を保持することのできない時期に、人工的に、胎児及びその付属物を母体外に排出すること」という記載があり、妊娠二十二週目から胎児は母体外生存できると考えられていることから、妊娠二十二週未満に限り中絶が認められている。そのため母体外で独立生存できないと考えられている二二週目未満の出産は、自動的に流産とみなされて救命措置を行われないという現状がある。

しかしながら、母体外生存が可能になる時期とそうでない時期を線引きすることは困難である。例えば、通常なら流産扱いとされる妊娠二十一週と六日目に生まれた子に対して主治医の判断で救命措置が行われたところ、元気に成長して今では学校に通っている、という事例が報告されている。この事から、二十二週未満の出産でも救命措置をおこなえば助かるケースが他にもあるのではないかと思われる。また医療の発達が進むにつれて母体外生存が可能になる時期は早まるのではないだろうか。

加えて、何週から母体外生存が可能になると見なされるかは国によって異なる。日本では二十二週目であるが、オランダでは二五週未満の出産は治療すべきでないとしていて、イギリスでも妊娠二十五週を越えなければ積極的な治療を施す必要がないとしている。このように国によって時期が異なる理由は、医療技術や倫理的観点が影響していると推測される。

三、結論

母体外生存が可能になる時期は国によって異なる上に今後の医療の進歩によっては今よりさらに早まる可能性もある。そのため母体外生存が可能になる時期というのは、露出説や受精の瞬間などという他の命の始まりを定義する説と比較すると曖昧なものである。それでも私が母体外生存できるようになったときを人の命の始まりと考えたい理由は、出産においては母親の気持ちを考えることも大切だと考えているからである。

先に述べたように、現在日本で適用されている露出説では数時間後に生まれてくるはずだった胎児が不慮の事故によって母体内で亡くなったら、その胎児は人とはみなされない。また「潜在的人格の有無」を人の命の始まりと定義すると無脳症児のように人格を持たない子供は人とみなさないという意見につながる。数時間後に生まれてくるはずだった胎児も、無脳症児として生まれてきた子供もどちらも母親にとっては大事な子供であるのではないのだろうか。自分の子供だと考えているということは、母体内にいたほうが人格を有してなかるうがその子供は人として扱われているのだと考えた。

以上のことから、私は人の命の始まりを「胎児が母体外生存できるようになったタイミング」を基準とするべきだと考えた。人の命の始まりを考えるときに議題に上がるのは、胎児の権利や人格がいつ生じるのかということであ

る。胎児のことを考えることはもちろん大切である。しかし胎児を育てる母親のことも重要視するべきではないだろうか。その点では現在の法律の胎児を育てる母親の気持が尊重されていないことが課題だ。そのため「一人の命の始まり」の定義が胎児と母親の両者を尊重したものになっていくのかを今後も注視する必要がある。

参考文献

- 1、菅野盾樹（一九九八）「胎児の道德的身分について」生命倫理、八巻、一号 四―一頁
- 2、鶴島暁（二〇一一）「ヒト胚の道德的地位を巡って」医学哲学、二九巻、二六―三四頁
- 3、日本産婦人科医会「人工妊娠中絶の定義」
<https://www.jaog.or.jp/sep2012/JAPANESE/eigen/eigi.htm>
（最終アクセス：二〇二四年二月八日）
- 4、平塚志保（一九九八）「無脳症児をめぐる医学的・倫理的・社会的・法的諸問題」看護総合科学研究会誌、一卷、一号、二七―三八頁
- 5、YAHOO! JAPAN ニュース「無脳症」のわが子を宿して突如、妊婦検診で知らされる苦しみ（二〇二〇年二月一四）
<https://news.yahoo.co.jp/feature/1566/>（最終アクセス：二〇二四年二月八日）
- 6、サイカル journal「妊娠22週 助けられない命」（二〇一九年一〇月八日）
https://www3.nhk.or.jp/news/special/sci_cul/2019/10/story/20191008_story/（最終アクセス：二〇二四年二月八日）
- 7、櫻井浩子（二〇〇九）「妊娠22週児の出生をめぐる倫理的問

題——新生児医療からのアプローチ」立命館大学生存学研究
所・生存学研究センター報告書10号

〈寸評〉

担当教員：遠藤 哲也

本教養セミナーではテキストとしている「はじめて学ぶ生命倫理（小林亜津子・著、ちくまプリマー新書）」の内容を足掛かりにして「ヒトの命の始まりはいつか」について情報や疑問点を整理し、足りない情報を調べて補った上で、最終的に自分の意見をまとめてレポート化するという作業を進めてきた。担当教員である私は作業の進め方について指示をしたり議論の手助けをしたりする程度で、基本的には各学生が自らの判断とペースで作業を行った。レポートのテーマである「ヒトの命の始まりはいつか」とは、生物学、医学、哲学、宗教、倫理などの様々な分野が複雑に絡み合った問題である。このような「答えのない問題」に対して、本教養セミナーの学生たちは真摯に取り組んでくれた。

宮本さんは読解力や理解力が極めて高く、資料の内容を正確に読み取り、私の指示の意図も速やかに理解して作業に取り組んでくれた。本教養セミナーが目指すことの一つは「自らの意見を主張する」ことであったが、これに関しても宮本さんは自分の考えを明確に言葉で表すことができていた。本レポートでも宮本さんの能力が存

分に發揮され、この問題について彼女がどのようなに考えているかがしっかりと伝わる内容になったと思う。今後
も引き続き一つひとつのことに丁寧に取り組み、さらなる
飛躍をされることを期待している。

唐辛子の日本伝来と

様々な使い方

村瀬 友彦

(宗教学科一年)

本稿では、私が考える唐辛子の魅力を、日本伝来の歴史
や民俗信仰、栄養などの観点から述べていきたい。

一、唐辛子の日本伝来

唐辛子は元々、ペルーなど中南米のみで食用・栽培されて
いた。それを探検家のコロンブスがヨーロッパ人として
初めて発見し、スペインに持ち帰ったことで世界中に広
がった。

日本への伝来時期は不明だが、有力とされている説が三
つある。一つは「一五四二年にポルトガル人がもたらし、
豊後の国主に献上した」という説だ。二つ目は「秀吉軍が
朝鮮出兵の際に持ち帰った」という説、三つ目は「一七世
紀初めにタバコと共にポルトガル人から伝わった」という
説である。

二つ目の説に関しては、逆に「日本人が朝鮮へ唐辛子を
持ち込んだ」という説もあり、私はそちらを支持する。秀
吉軍が唐辛子爆弾という武器を使って広めたとされてい

る。文献は残されていないが、「辛味」を利用し、唐辛子スプレーや閃光弾のように「目潰し」や「傷口を痛めつけるため」に使用されたのではないかと推測する。二〇〇九年、インド防衛研究開発機構が、テロ対策として「世界一辛い唐辛子（ブート・ジヨロキア）を混ぜて手榴弾の実験を行っている」と発表した。これは唐辛子の辛味を利用して相手を無力化しようというもので、これと同様の爆弾だったのではないかと考える。

また、一六一四年発行の『芝峰類説』という朝鮮の文献に、「日本からはじめてきた唐辛子を酒に入れて飲んでいいるが毒がある」（山本紀夫編『トウガラシ讃歌』、二二三頁）とあるため、朝鮮半島から日本に伝わったという説は支持しない。さらに、『多聞院日記』によると、朝鮮出兵の頃には奈良で唐辛子が栽培されていたことが確認できるため、ポルトガルから日本、朝鮮の順に伝来したと考える（松島憲一『とうがらしの世界』二〇―二二頁）。朝鮮で毒と考えていたのも、外来品への恐怖からではないか。

もともと日本では唐辛子は「毒薬」「鑑賞用」として使われていた。もし一七世紀初めに日本に伝来したとすれば、食用と認識されるまでの期間も含めて、朝鮮への輸出までの期間が早すぎるのではと考える。したがって、三つ目の説も信じ難い。結局、伝来時期は不鮮明であるが、『百姓伝記』（一六八一―一八四年）には三河で唐辛子の栽培が確認できること（松島前掲書二二頁）、江戸時代の俳人

加賀の千代女（一七〇三―一七五）の句の中に「唐辛子」が出てくることから、少なくとも一七〇〇年代には、唐辛子が石川県まで伝播していたと考える。

二、唐辛子の民俗信仰

唐辛子の民俗信仰は各地にある。韓国では、「悪鬼が唐辛子の赤さや辛さを忌み嫌い、寄つて来ることができない」また、「唐辛子を食べれば、体内にいる病の神が驚き逃げ出す」（山本紀夫『トウガラシの世界史 辛くて熱い「食卓革命」』一七一―一七二頁）と考えられていた。体内にある穢れがなくなるという点が一致しているが、唐辛子から来る腹痛に由来すると推測する。さらに、醤油の甕に唐辛子を浮かべて病の神が寄つてこないようにしていたという記録もある。

唐辛子はお守りとしても使うことができる。旧出雲では、その年に収穫された唐辛子で「とうがらし飾り」（魔除け）を作る風習があった。それを玄関や窓に飾っておくと、その家を守ってくれるという。イタリアやニューメキシコ州でもお守りとして、玄関に干し唐辛子「リストラ」を飾る風習がある。インドでは「ニンブーミルチ」という唐辛子とレモンを使った魔除けの吊るし飾りがあり、店先、バスやバイクにも付けられている。

私は、唐辛子に、ペストなどの病気を運ぶネズミや蛾などの害虫を寄せ付けられない効果があることも、「魔を祓う効

果がある」と信じられている理由の一つだと思う。唐辛子のカプサイシンは一部の細菌（酵母）に対しての抗菌性が強く、汚いものを寄せ付けないことからもお守りとして採用されたのかもしれない。

三、唐辛子の魅力

「栄養」という観点からも素晴らしい。唐辛子には、風邪や肌荒れを予防するビタミンCや、生活習慣病を予防するビタミンE、アミノ酸や脂質を代謝するビタミンB6や免疫を活性させるβカロテンなどが含まれていることから、適量の摂取ならば健康に良い。台湾ラーメンやキムチチゲなどの料理を楽しみながら、栄養を摂取することができる。

また、入浴剤や湿布にも使うことができる。唐辛子を入浴剤として使うことで、体を芯から暖め血行を促進する効果があり、湿布には貼った箇所の血行を改善する効果が期待できる。鑑賞用としてのカラフルな品種も存在する。赤色には「やる気を芽生えさせ、気分を高揚させる」という色彩効果があるため、やる気が出ない時などはぜひ室内に飾ってほしい。

辛いものが苦手という方でも、鑑賞用や入浴剤、お守りとしての使い道も存在するため一概に唐辛子を嫌いにならないでほしい。唐辛子好きの方も、歴史や民俗信仰などの背景を知って、さらに深く味わってほしい。

参考文献

- 山本紀夫『トウガラシの世界史 辛くて熱い「食卓革命」』（中央公論新社 二〇一六）
- 鄭 大聲「赤いキムチとコチジャンの誕生―韓国料理とトウガラシ―（山本紀夫編『トウガラシ讃歌』八坂書房、二〇一〇年、二二―三三―三四頁）
- 松島憲一『とうがらしの世界』（講談社 二〇二〇）
- ディノス 島根県出雲の地元産原料で作った「魔除けとうがらし」
- <https://www.dinos.co.jp/hana/tougashini/>（二〇二四年一月二九日閲覧）

〈寸評〉

担当教員…河合 泰弘

激辛ブームと言われて久しいが、辛いものを食べたいという者が若者を中心に増えているように思う。村瀬さんもその一人であることは、容易に想像できる。本稿には、唐辛子の魅力を伝えたいという思いがあふれている。村瀬さんは、唐辛子が食品としてだけでなく、武器や厄除けなどのお守りとしても用いられてきたことを考察し、その魅力を伝えてくれた。様々な資料を用いており、説得力のあるレポートに仕上がっていると思う。

教養セミナーの授業では、このレポートの内容を口頭発表してもらったが、そこではパワーポイントにて図や表を表示して詳しく説明しており、聴いていた学生たちからも非常にわかりやすいと好評であった。このように

物事を客観的にとらえ、他者の論考などを用いて丁寧に説明しようとする姿勢は、大いに評価ができる。また、彼は他の学生の発表に対して積極的に質問をするなど、クラスの中心的な存在であった。これからの飛躍が大いに期待できる。

日本文化として見る「漫才」

飯田 風花

(日本文化学科一年)

ある程度の期間日本に住んでいる人で、一度も漫才を見たことがないという人はいないのではないだろうか。それほど日本では漫才というものは馴染み深いものだ。しかし、ひとつの文化として見たとき、漫才というものはとても珍しいものに見える。海外でお笑いというところ、スタンダップ・コメディのような一人で舞台上立って芸をするというものが多く、二人での会話をそのまま芸としている文化はないからだ。日本の漫才はどのようにして生まれ、どのようにして現在の姿になったのだろうか。本論では日本文化としての漫才に焦点をあて、その変遷について考えてみようと思う。

漫才の歴史を辿っていくと、その起源は八〇〇年以上前にまで遡る。平安時代末期には、年が明けると地域の家々に二人一組で訪問し、新年の辞を述べながら舞を披露するという伝統芸能があった。その頃は「萬歳」と表記されていたそれが、現在の漫才の起源である。起源といっても、我々の知っている漫才とは大きく様相が異なる。萬歳は舞を踊る太夫役と太鼓を叩く才蔵役と呼ばれる二役からなる

が、これもボケやツッコミに相当するものとは言い難く、単純に楽器の担当と舞の担当といったところだろう。二人一組であること程度しか共通点といえるものはないのではないだろうか。

萬歳に大きな変化が訪れるのはそれからなんと七〇〇年後のことである。昭和初期に至るまで伝統芸能の形からほとんど変化せずにいた萬歳を漫才に変えたのは、横山エンタツ・花菱アチャコという一組の漫才コンビである。

花菱アチャコはまさしく伝統芸能としての萬歳を生業とする芸人であり、対する横山エンタツはその時代には珍しく外国を巡っていた芸人であった。それに目をつけた吉本興業がエンタツをスカウトし、エンタツは吉本興業に入社した。このとき、エンタツはこれまでの萬歳ではなく、まったく新しい芸に挑戦しようとしていた。これこそ漫才の原型となるもののだが、それを実現するためにエンタツがアチャコに対してした要求がこちらである。

- ・袴羽織と扇子を使わないこと
 - ・舞台には洋服姿で立つこと
 - ・問答や数え歌をやめること
 - ・舞台での会話には「君」「僕」を使うこと
- これらの要求はこれまでの萬歳の形を真つ向から否定するものであった。これまで高い評価を得ていた萬歳をやめることはアチャコにとってかなり抵抗のあることだったが、エンタツに従うことにしたという。

二人の芸は最初はすべてがアドリブで、互いの話術を競うように喋っていたという。しばらくして同じ話を繰り返すうち内容が洗練されていき、そのうちに「しゃべくり萬歳」として大ブレイクを果たした。こうして萬歳の特徴を封じた「しゃべくり萬歳」が誕生したわけである。

その後、「萬歳」という言葉は最早古めかしいということになり、「萬歳」は「漫才」と呼ばれるようになった。つまり、漫才は最初「二人一組」というところから「スーツ」「しゃべくり」の要素を獲得し、現在の形へと変化したのである。

現在、たびたび「これは漫才なのか」という議論がなされる機会がある。しかし、漫才が現在の形になったのは最近のことであり、これからも変化していくと考えると、「漫才」という芸を狭い範囲に定義してしまうのは些か無粋ではないだろうか。

〈寸評〉

担当教員・河合 泰弘

飯田さんの論考では、漫才の原形である萬歳について述べられているが、この論考を読んで、子供の頃に自宅で三河萬歳を何回か見た記憶が蘇ってきた。当時はよくわからなかったが、演者のリズムカルな軽妙なやり取りが非常に印象に残っている。それは、現在のリズム漫才に通じるところがあるようにも感じる。

現在は、お笑い第七世代ともいわれる若手芸人の活躍

もあって、お笑いに興じる若者も多い。お笑いも漫才やコントをはじめ多種多様なジャンルが存在する。その中の漫才について日本文化としての観点から、その起源を中心に論じてくれた。今回の論考は紙面の制限もあってアウトラインを述べることに留まっているが、これをもとにしてさらに探究していつてもらいたい。

祖母の人生

佐藤 竣 星

(宗教文化学科一年)

インフォーマント…祖母（一九四九年三重県四日市市生まれ、同市在住）

出生

●（聞き手）まず、おばあちゃん（祖母）がどこで生まれたか聞かせて。

○（祖母）うーん。戦争が終わったのが昭和二〇年の八月やったやろ？ 六月に生まれとんのやわ。姉ちゃんが。

●え、姉ちゃん？

○そう。名古屋で生まれたんやけど逃げるのに必死やったんやろなあ、四日市の親戚の家を転々としとったんやわ。そんな最中に私が生まれたん。それでちょうど私が幼稚園になったくらいかなあ、誰かの紹介で、たぶん親戚の紹介で家を買ったんや。あんたも知つとるやろ？

●あー。それがひいばあちゃん（曾祖母）の家？

○そう。当時はもつと小さかったけどな。その時からずつとあの家に住んどった。

幼少期のおそび

- 小さい頃は何して遊んどったん？
- もう外遊びばっかりして、近所の人と朝から晩まで（笑）。あの時はね、近所の高校生とか大学生くらいの子がな、よう遊んでくれたんな。それでな、向かいの家に住んどる坊やちゃんっていう高校生くらいの子が、おつてなあ。まあ優しくて大好きやった私。
- なんで坊やちゃんなん？ 年上やのに（笑）。
- 知らーん。なんで坊やちゃんなんやろなあ、気づいたらそう呼んどったわ（笑）。それでその坊やちゃんが私を、自転車の後ろに乗せて遠くまで遊びに連れていってくれたんなあ。山のほうまで。あとは普通に近所の同い年くらいの子と遊んどったよ。
- 具体的にどんな遊び？ ゴム飛びとかさ、昔の人やつとったんやろ？
- やったやった。あんたゴム飛びとか、よう知つとんなあ。それから縄跳びや、かくれんぼや、おにごっこや、かんごふさんや……あんた「かんごふさん」って知らんやろ？
- 知らん。初めて聞いた。
- 「ケンケンツッパ^{ツッパ}」ってしてじゃんけんを繰り返す遊びのことな。
- え、それ「かんごふさん」っていうの？
- そう。なんで「かんごふさん」言うんやろなあ（笑）。

近所の子らと集まってよくやつとったなあ。遊びの話はこんなもんかな。

- まさにその時代の遊びって感じで興味深かったわ。次の質問いっていい？
 - あっ！ 待って、あと一個あつたわ。家の前に小さい公園あるやろ？
 - あー、ひいばあちゃん家の前の？
 - そう。そこでな、夏になると大人たちがテントを張って映画機で映画流してくれたんやわ。あれが楽しみでしようがなかった。
 - へー、すごいなあ。なんかのイベントなん？
 - それが忘れたんよー。たしかなんかのお祭りやった気がするし、小学校高学年にはなくなつとった。それが私すつごい楽しみやったの。
- ### 学生時代
- 学生時代はどんな感じやったん？ 大学行つたんやっけ？
 - 大学っていうか専門学校やな。一九六八年頃かな、幼稚園の先生になりたかったから、電車三回も乗り換えて行つとったな！
 - 三回も！ ってことは県外？
 - そうそう。愛知県まで。
 - めつっちゃ大変やん。下宿しようとは思わんだん？

○うちは貧乏やったからそんなお金なかったんや。今はそんに珍しくないかもしれんけれどな、私の両親共働きやったんよ。

●それでも貧乏やったん？

○うん。私のお父さんがすごい病弱な人でなあ。五〇歳迎える前に亡くなってしまったんやけど、働いとる間もしょっちゅう倒れて寝込んだ。なんの仕事しとるか忘れてしまったけど、学のない人やったから、肉体労働みたいなんやとったわ。本当なら働いたらあかんような体の人やったけど、私たちが家族のために文句も言わず、一生懸命働いてくれとったなあ。それで、お父さんがこんな感じやったもんで、私のお母さんも主婦しながらユニバーでパートしとった。だから、学費も私が払って行とったわ。

●お父さんもお母さんも凄い人やなあ。学費代はどうやって稼いだん？

○学費代はな、ありがたいことに実習先の保育園でそのままだアルバイトさせてくれたんよ。やから学生時代はほとんどその保育園で過ごしとった。当時は本当に大変やったよ。保育士になりたいって言うておきながら、私末っ子やし、小さい子とかかわったことなんてほとんどないから、初めはものすごい迷惑かけたと思う(笑)。

●実習先すごいな、恵まれとったんやね。そういえば、この頃四日市ぜんそくあつたよな？

○あつたなあ。でも私らは大して被害は受けやんかったな。塩浜のほうはすごかつたよ、私と同年くらいの子らみんな黄色いマスクしとった。

●え、意外。同じ四日市やのに被害なかったん？

○うーん。今でいうコロナみたいな感じやるか。ぜんそくなる人はなるし、ならん人はならん。でもみんなマスクはしとったし、塩浜のほうへは近づかんかったな。あとは、空が常に暗かつた。灰色っぽくて青空なんて全然見やんかつたなあ。でもな、私たちがしたらそれが当たり前やったから、おかしいとは思とったけど何か行動に起こそうとは思わんだな。

就職

●短大卒業後はどこに就職したん？

○そのまま実習先の保育園に就職したよ。すぐお世話になつたし、働きやすい環境やったもんでさ。でも私だけ、家から職場まで遠かつたから、九時半出勤で許されとった(笑)。

●本当は何時出勤なん？

○本当はな、九時に出勤でそのまま朝礼があるんやけど、私だけ遅刻するから、新人のくせにめっちゃ偉い人みたいに毎朝出勤しとった(笑)。

●ほんとや(笑)。それでその後はずっとその保育園で働いたん？

○いや、二三歳で辞めたよ。結婚したから。でもな、辞めた途端に知り合いづてにスカウトされたんよ。「新しく幼稚園作るからそこで働いてくれんか」って。悩んだんやけど結局そこで働くことになった。でな、そこからすごい大変やったの。

●どんな風に？

○まずな、理事長がおるようなすっごい規模の大きい幼稚園でな、当時はまだ小さかったけど、今では教諭が三〇人以上おって、スクールバスも何台もあるような幼稚園なん。そこの創設メンバーやったの私。

●え、すごい！ それは大変そうやな。

○本当に大変。特に開園する前が一番大変やった。創設メンバーは全部で五人おったんやけど、理事長と副理事長と、あとは私と新卒二人な。この五人の中で保育士の経験あるの、私と副理事長だけやったの。新卒二人はしょうがないとして、理事長は完全に経営の人でさ、だから開園前の教材集めとか、玩具の交渉とか、副理事長と二人だけで頑張ったのよ。その時私まだ二三歳やで？ よう頑張ったと思うわー(笑)。

●たしかにそれはすごい！ じゃあさ、開園してからも大変やったんちゃう？

○本当に大変やった。私以外新卒やから、必然的に私主任やる？ あとは新卒二人の教育もあつたし、もう子供どころじゃなかったわ(笑)。でもな、一九七五年の二

六歳のときに、子供が生まれたから退職したの。だから私の保育士としてのキャリアはたつた五年やな。でも主任まで経験したのすごいやろ(笑)。

●あそっか、五年か。めっちゃ濃い五年間やったな(笑)。

●その後はずっと専業主婦？

○いや、たしか三二歳のときやから一九八一年かな、子育ても落ち着いてきたから印刷工場でパートを一九年間やったよ。

現在

●すごい濃い人生やなー。興味深かったわ。今なんか趣味とかあるの？

○今はとにかく健康に生きる！ あとは孫五人の成長が楽しみ。

●そっか、たしかジム行つとるよな？

○そうそう。たくさん器具があつて、若い子たちばかりやけどみんな親切に教えてくれるからほとんど毎日通つとるよ。最近はおじいさん(祖父)も一緒に来てくれるから楽しい！

●ええ!? じいちゃんがジムは意外やわ(笑)。てかさ、そのジム代つてどうしとんの？ 年金だけじゃきつくない？

○本当に年金は毎年少なくなつとるからキツイわー。でもさ、家の裏に整形外科の駐車場があるやろ？ あそこは

私らの土地でさ、整形外科に貸し出しとるんやわ。

●え、そうなん？ てつきり売ったもんやと思つてた。

○まあ、その収入があつても生活キツイのには変わりないんやけどね。貯金も減つてく一方や！（笑）。

●そうなんや、でも老後幸せそうで羨ましいというか尊敬するわ。おばあちゃんの過去を知ると余計に。

○そやろー？ なんだかんだ今が一番幸せよ。孫五人に囲まれて。もういつ死んでも満足や（笑）。

●いやいや、長生きしてよ（笑）。ていうか、さつきから何食べとんの？

○あー、これ？ 私特製の甘酒！ 砂糖とか人工甘味料、一切入つてないの。自然の甘さで栄養満点やからまた今度あんたにも作つたげるわ。

聞き書きを終えて

実際に聞き書きをやつてみて、僕の弟が祖母の家を継ぐかもという話や、僕の母の幼い頃の話、近所の人の孫の話や愚痴、さらには祖父が最近ネットショッピングでやらかして同じ商品が一〇万円分届いた話など、とにかく話が脱線してばかりで、六時間を超える録音データを聞くはめになったのがとても大変だった。でも、久しぶりに祖母と二人きりで深い話ができ、その時間がとても楽しかったし、気持ちの良いものだった。だから、今回の聞き書きレポートは会話調にしてみた。大変だけど楽しい、そんな貴

重な体験ができてとても良かったと思う。

会話調にするにあたって、取材当時の雰囲気より具体的に再現したかったので、方言や言い回しはできるだけそのままにすることを意識した。そうすることで、個人的には納得のいくものができたのだが、読み物として客観的に見た時、読みにくさを感じる人がきつといるだろうなと感じた。今後またこのような機会があれば、伝え方をもっと工夫できればと思う。

今回の聞き書きの発表の段階で四日市ぜんそくとかかわりについて触れたほうが良いとの指摘をいただいたので、実際に祖母に聞いてみたところ、意外とあっさりしていて、思っていたような返事が一切なかったのが一番驚きだった。また機会があれば四日市ぜんそくと密接にかかわっていた人や、祖母と同年代の方からお話を聞いてその実情を知りたいという風に思った。

今回の聞き書き発表レジュメ作成から取材、レポート作成まで、とにかく時間をたくさん使つたなと思う。その中で得られるものもたくさんあった。中でも一番大きいのは調べる習慣がついたことだと思う。取材内容と事実の裏付けや、歴史的問題の背景など、聞き書きをより良いものにするために少しでも疑問に思ったことはすぐに調べてきた。今ではこれが習慣となつて身につけており、自分の成長を感じることができた。

注

- 1、ケンケンッパ…片足で二度前方へ跳び、両足で着地することの擬音。
- 2、ユニー…現在のジャスコやイオンの全身となったショッピングセンター。
- 3、四日市ぜんそく…四日市ぜんそくは、一九五〇年代末から一九七〇年代にかけて問題化した戦後日本の公害問題。大気汚染による集団喘息障害で、水俣病、イタイイタイ病、新潟水俣病とあわせて、四大公害病の一つである。
- 4、塩浜…四日市公害の原点である港町。
- 5、黄色いマスク…塩浜小学校の児童たちが着用していた活性炭入りの公害対策マスク。

〈寸評〉

担当教員…富田 啓介

例年、担当の教養セミナーIIでは、「聞き書き」を実施している。聞き書きは、相手とコミュニケーションをとりながら情報を引き出す技術、わかりやすく相手に伝えるように発表する技術、情報を整理してまとめる技術、そしてWordをはじめとするPCのソフトウェアを操作する技術などを総合的に学ぶためのよい手段となるからである。

佐藤竣星さんのレポートは、一九四九年生まれのお祖母さんに、その人生の道のりを取材したものである。三千字程度の内容は、実際には六時間にも及ぶ音源からまとめられたものだという。お祖母さんとのテンポの良い

やりとりからは、お二人の絆も垣間見え、読んでいても暖かな気持ちになった。また、お祖母さんが若くして保育園の重職を任される場面もよい。聞き手の佐藤さんは素直に驚き、その言葉からはお祖母さんへの尊敬の気持ちも読み取れる。

佐藤さんに限らず、多くの学生のインフォーマントは身近な父母や祖父母だった。普段はあまり聞くことのない、親族の努力の軌跡や苦労を知るきっかけになったのであれば嬉しいことである。

「音楽」の語義の問題点と対案

内 藤 萌々香

(歴史学科一年)

「音楽」という語には、「好きな音楽を聴く。」という文で用いられるような語義が存在する。本稿ではまず、この語義に関する、複数の国語辞典の語義の問題点を指摘し、その上で対案を示す。

まず『新明解国語辞典』第七版では「音楽」の語義として、「心の高揚・自然の風物などを音に託し、その強弱・長短・高低や音色の組合せによって聴者の感動を求める芸術。ミュージック」という語義を示している。また、この語義において用いられる例文として、「好きな音楽を聴きながら紅茶を味わう」を挙げている。

次に、『明鏡国語辞典』第二版では、「音楽」の「語義一」として、「音の高低・強弱・長短・音色などを組み合わせる人間の思想・感情などを表現する芸術。声楽と器楽がある。ミュージック」という語義を示している。また、この語義において用いられる例文として、「音楽を演奏する」、「音楽を聴く」を挙げている。

これらの辞書の語義には共通する問題点が二つある。一点目は音楽の目的を限定している点だ。『新明解国語辞

典』では音楽は聴者に感動を求める芸術、『明鏡国語辞典』では思想・感情を表現することと示しているが、音楽の目的はそれだけではない。例えば音楽ビジネスでは、音楽は商売道具となる。音楽を作ることによって利益を得る。他にも音楽療法では音楽を活用して、子供の発達や認知症の症状の緩和、リハビリテーションを行う。音楽には様々な効果や目的があることがわかる。したがって、「表現する・感動を求める」などの限定的な表現を変える必要がある。二点目は音楽が表現する対象を限定している点だ。『新明解国語辞典』では「心の高揚・自然の風物」、「明鏡国語辞典」では「人間の思想・感情」と音楽が表現するものを限定している。音楽が表現できるものは感情や自然だけではない。例えばアニメなどのキャラクターソングは、特定のキャラクターをイメージして作曲される。歌詞・作曲者の感情ではなく、キャラクターに沿った内容が表現される。キャラクター本人の感情や性格などを表現することが優先されるため、歌詞・作曲者の感情を表現することができない。したがって、音楽が表現できる対象は多様であることを表現するほうが良いと考える。

また、『新明解国語辞典』には問題点が一つ存在する。二つの辞書を比較すると『明鏡国語辞典』では音楽が声楽と器楽の二種類あることが書かれているが、『新明解国語辞典』では書かれていない。この点に関する付記が必要である。

最後に、まとめと今後の課題を示す。本稿では『新明解国語辞典』と『明鏡国語辞典』を取り上げ、「音楽」の語義の問題点を複数指摘した。これら全ての問題点を踏まえると、「音楽」の当該の語義は、〈音の強弱・長短・高低や音色などを組み合わせて、様々な対象を表現する芸術。また、感情などを表現するだけでなく、聴者を感じさせた、ビジネスや医療行為など多様な目的に利用される。声楽と器楽がある。〉と記述するのが妥当ではないかと考えられる。

なお、本稿では、「音楽」と強く関連している「声楽」と「器楽」の語義について論じることができなかった。この点に関する詳細な検討は、今後の課題としたい。

〔参考文献〕

『新明解国語辞典』第七版、三省堂

『明鏡国語辞典』第二版、大修館書店

〈寸評〉

担当教員・野田 大志
本セミナーでは、一年間を通して諸々のアカデミックスキルを提示すると共に、「適切で効果的な日本語コミュニケーションを目指そう!」というテーマの下、日常的な言語使用を多角的に捉え、批判的に検討する様々なタスクを扱った。春学期の最終レポートでは、その一環として、任意の単語を選び、国語辞典におけるその単

語の語義の問題点を指摘し、対案を提示してもらった。

さて、内藤さんは今回のレポートにおいて、一年間の教養セミナーⅠ・Ⅱへの取り組み方と同様、対象語の意味について広い視野で堅実に考察し、その結果を丁寧に言語化することができた。

特に評価できる点は、次の二点である。

一点目は、二冊の辞書の語義における共通点と相違点を丁寧に抽出し、端的に説明できていることである。思考が整理されていることが、文章にしっかりと表れている。

二点目は、「音楽」の目的（存在意義）の多様性について、社会・文化的な観点から詳細に指摘し、語義の対案に反映させられたことである。意味の記述においては、言語的な側面のみならず、その背景にある百科事典的知識にも十分目配りする必要がある。内藤さんはこれを一定程度、実現できた（なお、キャラクターソングに関する言及については、その根拠となる客観的な情報が引用できると、この考察の妥当性や意味記述の精度はさらに高まるだろう）。

内藤さんが今後も、このセミナーで学んだことを基盤として、幅広い学問領域に対して意欲的にアプローチしてくれること、そして、日本語運用能力にさらに磨きをかけてくれることを、強く願っている。

日本と海外におけるCMの違い

安田 明花

(英語英米文化学科一年)

CMは時代の映し鏡と言われるように、時代ごとに特徴や象徴するものは異なり、今日のテレビ業界に欠かせないものである。テレビCMは一日に約四三〇〇回超も放送され、企業の広告媒体の一つとしても大いに活用している。CMは日本と海外でプロモーションの仕方や広告の魅せ方に違いがあるのだ。本レポートでは、日本と海外(アメリカ)のCMの違いについて述べる。

そもそもCMとは「コマーシャルメッセージ」の頭文字を取ったものである。CMを通して企業イメージや商品イメージを消費者に訴え、興味や購買意欲を抱かせることを目的としている。では、いつから広告が始まったのだろうか。広告の起源には諸説あるが、現存する最古の広告としてエジプトの紀元前二五〇〇年前ごろに使われたパピルスのチラシが広告の始まりではないかと考えられている。「この化粧品を使えばどんな老人でも若くなる。百万回も実証済み」という文で、内容は現代の広告文句とあまり変わらないことがわかる。現代の方が広告に対するリテラシーは上がっているため、この表現で買う人はほとんどい

ないが、消費者が買う気を起こすような訴え方や数字を使って信頼性や信憑性を高める方法は現代とほとんど変わらないと言える。

まず、CMの始まりについて紹介する。初めて合法的に放送されたのは、一九四一年のニューヨークで設立された時計と宝石を取り扱う「BULOVA」が作成した時計の広告である。このCMは約一〇秒と短く、アメリカの地形に企業のロゴが書いてあるというシンブルなものだ。初めてのテレビCMのため、当時話題になったがテレビを持っていない人が少なかったため、あまり多くの人の目に届かなかったようである。しかし、結果としてはこのCMの放送を皮切りに、さまざまな企業がCMを作成・放送し始めるようになりCMは発展の道へと進んだ。

次に、日本のCMの始まりについて紹介する。日本で初めて放送されたCMは一九五三年の精工舎の時報である。ニワトリや顔の付いた時計などアニメーション調で描かれており、朝・昼・夕方方の時間を伝えるCMとなっている。このCMが作られたきっかけとしては、日本テレビが一九五三年に民放で初めて放送を開始したことから日本初のテレビCMも同日に流そうと決まったからである。その後、さまざまな企業がテレビCMを活用するようになり、カラーテレビの普及とともに、テレビCMは広告媒体の王様の存在として君臨するようになった。テレビCMから生まれたキャッチコピーが流行語となったほか、タレントや俳優

がCMからブレイクするなど企業の広告という枠を超えて、多くの人に親しまれるものとなったのだ。

続いては日本と海外の歴史を踏まえて、CMを比較していく。違いとしては、大きく二つに分かれる。一つ目は、比較表現を使うかどうかである。日本では、「競合商品の名前を出して」「あれに比べたらこっちの方が断然良い」というような表現はあまりしない。なぜなら、他のものを落として自身を上げるといった表現は消費者からの印象が悪くなるからだ。これは日本の文化的背景から言えることで、協調性を重んじる国民性が表れている。それに対して、特にアメリカでは比較表現がよく使われる。相手を落とす表現や比較をしても批判されず、受け入れられているのもアメリカの国民性であると言える。二つ目は、何を重視して作るかである。日本では企業の商品CMに一人のタレントを継続的に出演する方法がよくなされ、タレントイメージをそのまま商品イメージに投影するという目的がある。これは文化が割と単一化された日本ならではの宣伝方法だ。それに対して、海外では文化が単一ではなく人種も多様な為、タレントに商品やブランドのイメージを任せるのではなく、その商品が持つ魅力やそこに詰まったストーリーを引き出すCMを作るのが多い。日本とは違い、アイディアや映像の面白さで視聴者を引き付けて印象付けているのだ。つまり、日本と海外のCMに違いが生まれたのは国民性や文化的背景が影響しているからだと考えられる。

最後に、私はこのテーマを調べて普段何気なく見ているCMも国民性や文化的背景によって視聴者に何を伝えたいかという基準が異なることが分かった。また一見、異文化と関係ないように見えるCMが調べてみると関わりがあることを知り、私たちの身近なものに異文化は多くあることに気づいた。

参考文献

- ・ コマーシャル (ごまーしゃる) とは? 意味や使い方 | コトバンク (KOTOBANK.JP)
- ・ [HTTPS://NOTE.COM/SHIZUKA_M/N/N3CE6A32468B0](https://note.com/shizuka_m/n/n3ce6a32468b0)
- ・ 絶対見逃すな! これが世界で最初のテレビコマーシャルだ! : エンタメウス : エンタメウス (エンタメウス編集部) | ニコニコチャンネル : エンタメ (NICOVIDEO.JP)
- ・ [HTTPS://WWW2.NHK.OR.JP/ARCHIVES/ARTICLES/?ID=C0010534](https://www2.nhk.or.jp/archives/articles/?id=C0010534)
- ・ [HTTPS://WWW.HOMEMATE-RESEARCH-TV-STATION.COM/USEFUL/12303_FACIL_006/](https://www.homemate-research-tv-station.com/useful/12303_facil_006/)
- ・ [HTTPS://WWW.MUSASHINO-AD.CO.JP/COLUMN/JP-USA](https://www.musashino-ad.co.jp/column/jp-usa)
- ・ [HTTPS://PENCRE.COM/NIHONCM-KAIGAICM/](https://pencore.com/nihoncm-kaigai/cm/)
- ・ 違いが面白い! 日本企業による日本向け・海外向けコマーシャル比較 - VOOK (ブック)
- ・ [HTTPS://PENCRE.COM/TV-HOUSOUKIZYUN/](https://pencore.com/tv-housoukizyun/)

〈寸評〉

本レポートは、教養セミナーⅡの中で異文化をテーマ 担当教員：文 嬉 眞

に発表したものである。安田明花さんは、異文化の講義で培った知識と知力を十分に活かし、それを明瞭に言語化する表現方法を得ていると判断される。安田さんのレポートは、本人の旺盛な知的好奇心とも相まって、「CM (commercial)」に関する独創的な分析を試み、その中で特に日本と海外(アメリカ)とを比較分析するなど、大変に興味深い内容に仕上がっている。

安田さんは両国のCMを検討する際に、まずその比較対象となる両国におけるCMの起源に言及する。その上、彼女は両国におけるCMの有様を比較分析する際に、そのチームとして国民性と文化的な背景を用いて両国の違いを鮮明にし、読者の理解を高める手法を採っている。その傍ら、彼女は両国におけるCMの形成過程を説明する中で最初の段階こそ、その構成内容やTVの普及率の低さゆえに話題性が沸騰せず、人の目に届かなかったが、企業の参入によって発展の道を歩んだことも明らかにしている。

安田さんのレポートは、まさに広告の洪水の時代と言われる現在、そのCMの様態を日本と海外との比較・対照を基本とし、その両国の国民性と文化的背景を重視する点で特徴的である。その他に彼女は、CMに関する相違点を比較分析し、日本がタレント(個人)のイメージを重視するのに対して、アメリカは概ね商品の特徴を捉えて宣伝する手法を好む点を導き出している。彼女は両

国におけるCM手法の中にこそ異文化の要素(特徴)が存在することを発見する点で、今後の更なる探求心を期待させる。

「ビブリオバトル」の感想

佐藤 大和

(経営学科一年)

今回のビブリオバトルでは『不可能を可能にする大谷翔平120の思考』を選んだ。選んだ理由としては、私自身野球が好きであり、本の紹介をしていく中で取り組みやすく、さらに自分の好きなことや興味のあることに関する本を選んだ方が良いと思ったためである。また、大谷翔平選手は誰もが知っている人物であり、聞き手にも分かりやすく、内容を掴みやすいと考えたため、この本を選んだ。

発表内容を作るときには、様々なことに注意して作った。まず、あらかじめ発表のメモを作る際、発表する内容を全てメモせず、要点をまとめることを意識した。全てメモした場合、それを読むことが目的となってしまう、読むことに集中してしまうと考えたためである。そのため、話す要点をまとめ、要点に関して発表するという形で準備した。次に、発表の形としては、導入から始まり、自分が本を読んで伝えたポイントを三つ説明し、おすすすめポイント、そして、まとめといったビブリオバトルの発表の型に入れて内容をまとめた。そもそも、選んだ本のジャンルが説明文に近い文章であり、そして私自身、これまでにビブ

リオバトルをした経験がなかったため、型に入れた発表が最も説明しやすくと考え、このような形式の発表にした。

発表の前に、授業内で実際のビブリオバトルの動画を見た。その動画を見て何点か参考にしようと考えた。まず、多くの発表者は最初に会場に向けて質問を投げかけていた。最初に質問することによって、発表者により注目しにくくなると感じさせ、さらにはその後の発表が聞きやすくなっていると感じた。また、単に本のおすすすめポイントのみを発表するのではなく、さらに本を読んだ自分の感想を明確に伝えていく人は、説得力があった。そのため、私も実際に発表するときに、聞き手に質問を投げかけること、そして自分が本を読んだ感想を明確に伝え、発表に説得力を持たせることを意識した。さらに、多くの発表者たちは発表するときに聞き手側の方を見て発表していたが、その方が聞いていて印象が良いと感じた。これは今回に限らず、毎回意識していることでもあるが、私も発表する際には、なるべくメモに意識を向けずに、聞き手側の方を向いて話すように意識した。これは基本的なことではあるが、聞き手側の印象というのは、プレゼンにおいてかなり重要であると強く思っているため、今回のビブリオバトルでも意識して発表した。

実際に発表してみても、まず発表時に机に置いてあるタイマーを時々確認しながら発表したため、時間配分的にはしっかりと五分を使い切り、発表することができた。ま

た、伝えたい内容はしつかりと伝えることができたと思う。しかし、個人的には人前での発表はやはり緊張感が違うと感じた。私自身、緊張しやすいつタイプでもあるため、その点に関しては今後の課題でもある。

今回のビブリオバトルを通して、まずはプレゼンの技術について学べたと思う。プレゼンの上手な人は発表に説得力があり、実際にその本を読んでみたいと思える。私も今後、プレゼンをする機会は多いと思うので、プレゼンの実力を高めていきたいと感じた。一方で、私が実際に発表して、プレゼンの良い経験になったとも考えている。プレゼンは今後の大学生活や将来でも関わることが多いと思うため、そのときには今回のビブリオバトルでの経験を活かしていきたい。また、発表するだけでなく、他の人の発表を聞くことによつて、自分の知らない本でも実際に読んでみたいと思い、本に対する新しい発見もあった。私はこれまで、あまり本を読む習慣がなかったが、この活動を通して、そして教養セミナーを通して、本の良さについて学び、本に興味を持ったため、今後は積極的に本を読んでいきたい。

・大谷翔平『不可能を可能にする大谷翔平120の思考』ぴあ・
二〇一七年

〈寸評〉

担当教員・菅原 研州

今年度の教養セミナーⅡは、ビブリオバトルを行いながら、受講者全体の読書習慣の確立、あるいは、読書量の増加を目指した。

ここ数年ビブリオバトルを行う前に受講者の読書実施状況も調べているが、年々読書量は下がる傾向である。ただし、「活字離れ」ではあるかもしれないが、ネット上の記事は読まれており、「文字離れ」や、各種動画などを通した「音声離れ」とは言えない。よつて、この辺は情報の収集方法という観点で再度見直す必要がある。

さて、佐藤大和さんは、それまで読書は熱心な方では無かつたが、今回は自分の興味関心に基づいた書籍を選び、充実した発表を行つてくれた。

なお、本書の選定方法や、事前の準備などを書いたレポートからは、ビブリオバトルの映像から学び、自分で考えて用意した様子が見えた。特に、ビブリオバトルはプレゼンテーションの修得という一面を持つが、佐藤さんはそれをしつかりと認識した上で準備を進めている。また、人前で発表する経験はまだ多くないようだが、当日は堂々と発表していた。それは、事前の準備があつたからこそであり、好評価に繋がっている。

佐藤さんには今回の経験を活かし、今後も大学での学びを熱心に進めて欲しい。

美のアイデアを用いて愛犬二匹の どちらがより美形か検証する

篠田沙季

(経営学科一年)

私は、哲学の授業で美のアイデアを学習した。それを用いて、私の愛犬であるブラックタンのチワワの「ぴの」と、クリームセーブルのポメラニアンの「ぼん」のどちらがより美形であるか検証を行う。もちろん、飼い主の私にとって二匹とも同等に美形と感じており、同等の愛情を持っていることは大前提である。

プラトンが説いたアイデア論には美学にも通じるものがある。そもそもアイデア論とは、「この世に実在するあらゆるものの本質はアイデアである」とする考えのことである。たとえば、私たちは「完璧な三角形を描け」といわれたときに、小さきままであつてもすべての人の共通認識である三角形を描くことができるはずだ。それは一見完璧な三角形に見えるが、原子レベルで拡大してみると線は点の集まりであり、丸みがある。つまりこの現実世界には「完全な三角形」は存在しないということになる。だが私たちは、完璧な三角形と完璧でない三角形を区別することができる。これは私たちが完璧な三角形を知っていることが前提

となつている。プラトンは私たちが生きている現実世界とは超越したところに存在する、そのものの根拠であり本質があると考え、アイデアと名付けた。そして、それは美学においても同様である。私たちが花や星空を見て美しいと感じても、それは完璧な花や星空ではない。それにもかかわらず私たちはそのものを美しいと感じる。ゆえにプラトンは、美にもアイデアという本質が存在すると考えたのだ。

犬の容姿を評価する手段のひとつとしてスタンダードがあり、それぞれの犬種ごとの標準的な見た目を定めた基準のことである。スタンダードは、犬種ごとの特徴を細かく分類して規定するために定められている。それゆえに、純血種の理想的な姿を示していると言える。例えば、私たちがテレビに映るダックスフンドを見てダックスフンドと認識できることも、この犬種ごとの特徴が明確に規定されているためである。犬のスタンダードがない場合、犬を正確に分類する手段はなくなつてしまふのだ。ただし、スタンダードは同じ犬種であつても、国や団体によつても基準が微妙に異なることがある。

まず、チワワのスタンダードは、「トップラインが水平であること、キ甲（首の付け根にある膨らんだ部分）がほとんど目立たないこと、おしりがほとんどフラットであるかもししくはわずかに傾斜していること、目は決して出目で

は全く色は完全にダークである、耳は大きく直立しており付け根は幅広くわずかに丸みをもった先端に向かって徐々に先細ること、五〇〇グラム〜三キログラムの間であること」が挙げられている。チワワの「ぴの」は、トップライオンがほぼ水平で、キ甲はほとんど目立たず、おしりはわずかに傾斜しており、目は出目でなく色はダークであり、耳は大きく付け根は幅広くわずかに丸みをもった先端に向かって徐々に先細り、五キログラムである。概ねスタンダード基準と違いはないが、体重はかなりスタンダードで定められた範囲から離れていることがわかる。

次いで、ポメラニアンのレストランダードは、「後頭部が最も幅広く鼻先に向かって先細っていること、高いキ甲は背に向かって僅かに下降すること、尾は上方に伸び尾の根元から真っ直ぐに背上当りに向かってカーブしていること、ポデいに密着し、しわがない毛であること、目はアーモンド形で色はダークブラウンであること、耳は小さく耳間は比較的狭く三角形で尖っていて常に直立した状態を保っていること、サイズは二センチメートル±三センチメートルであること」が挙げられている。ポメラニアンの「ぼん」は、頭部が最も幅広く鼻先に向かって先細っており、高いキ甲は背に向かって下降し、尾は根元からまっすぐ背上当りに向かってカーブをし、毛はポデいに密着し、しわはなく、目はやや丸形で色はダークブラウン、耳は大きく耳間も広めであり、サイズは四〇センチメートル近くある。「ぼ

ん」は目や耳の形・大きさや、身体のサイズが非常にスタンダードから離れている。

以上のことから、チワワの「ぴの」がスタンダード基準に近く、より美形であることがわかる。だがそれは万人共通の認識なのだろうか。美のアイデアが存在するのであれば、美しいと感じるものはすべて同じであるはずだ。

そこで、私は知人三人に「二匹の犬のうちどちらがより美しいと感じられるか」というアンケートをとった。その結果、二人がポメラニアンの「ぼん」をより美しい顔と感じると回答したのだ。先ほどの犬のレストランダードの基準と照らし合わせると、チワワの「ぴの」の方がより美しいという結果が出たが、実際に美しいと感じるのはポメラニアンの「ぼん」だという。

このことから、美の基準に基づいて美しいという結果が出たとしても、私たちが実際に美しいと感じるかは別であり、美しさに本質や根拠はないことが主張できる。スタンダードの基準に近いチワワの「ぴの」も、多くの人がより美しいと感じた。ポメラニアンの「ぼん」も、二匹は比較のしようがない部分にそれぞれ魅力があり、そこに数値や基準は存在しない。現代社会で性や働き方などの多様化が認められているように、美しさも多様化しているのだ。

参考文献

ジャパンケネルクラブ

<https://www.jkc.or.jp/archives/world>

〈寸評〉

担当教員…鷺嶽 正道

「教養セミナー・II」では、考える、調べる、仲間と協力する、発表するといったアカデミックスキルを、授業での経験を通して身につける授業を行なっています。学生たちは、自分たちの成功や失敗のみならず、他の学生のプレゼンやレポートの成果を通して、これらのスキルを向上させました。授業の最終課題は「大学で学んだことで自分の好きなものを分析する」で、学生たちはプレゼン・レポートの両方の形式で発表をしています。

その中で、篠田さんは哲学で学んだことを利用して、愛犬の美しさを分析しました。単なる分析にとどまらず、実際に美しいと感じられるのはどちらかを検証している点は特筆に値します。

篠田さんの、広く物事を学ぼうとする姿勢や深く考え、調べる能力は、これから入学する学生たちへの模範になると考え、本稿を推薦しました。篠田さんのますますの活躍を期待しています。

スターバックスコーヒーは

なぜ人気なのか

福田 七々

(経営学科一年)

私のアルバイト先であるスターバックスコーヒーは全国的に人気である。実際に新作が発売する日や土日祝日は毎度席が足りなくなるほどの客が来店している。コーヒーを飲みただけならばスーパリーやコンビニエンスストア、自分で淹れることも可能だ。なぜ人々はスターバックスコーヒーを選ぶのであろうか。専門科目の「経営入門」でも触れていたこの事例について、実際の経験を加えて分析していく。

スターバックスコーヒーが人気なのはなぜだろうか。私はその理由の一つに特別感があると考え、「経営入門」の授業では、競争戦略について、スターバックスを含めた大手コーヒーチェーン店の競争の仕方が取り上げられた。コストリーダーシップ戦略、差別化戦略、集中戦略の三つに当てはめると、スターバックスコーヒーは差別化集中戦略に該当する。なぜなら、販売しているコアドリンクの中で一番安いのはショートサイズのドリップコーヒー（ホット、アイス問わず同価格）三五〇円であるからだ。同じ

コーヒーチェーン店のドトールはブレンドコーヒー、アメリカンコーヒーがSサイズ二五〇円である。容量の違いがあるため、単純な値段の比較は難しいが、入店の最低ラインととらえるならばスターバックスコーヒーのほうがいささか敷居は高いといえる。これが特別感につながる差別化である。

差別化という点では、上記の値段の差以外にも差別化できるポイントがある。それはサイズ表記である。ドトールやコマダ珈琲、タリーズのサイズ表記はいずれもS、M、Lであるのが、スターバックスコーヒーのサイズ表記は「Short、Tall、Grande、Venti」である。実際に働いているときも、「Sサイズのくを」といったようにスターバックスコーヒーのサイズ表記が他と異なることを知らない客が来店することがある。その際に、私や他の店員はサイズ見本を見せながら「スタバのサイズになっていきますよね」と小さいほうからこちらのサイズになっています。本日はどのサイズにしますか?」といったようにコミュニケーションをとっている。他社と違ったサイズ表記だからこそ、説明というワンクッションを挟むことができ、そこで店員と客とで関わりを持つことができている。もちろんサイズ表記が違うのは発祥であるシアトルに合わせていることなど、他にも理由はあろう。しかし、主に私の働く店舗では関わりを持つ一つの機会であると考えられている。

これが私の考える第二の理由である。特別感と重なる部

分ではあるが、店員と客との関わりをスターバックスコーヒーは重要視している。実際に働いている時に他の店員からよく言われる言葉が「お客さんがたくさん来て焦っちゃうけど、一人ひとり目の前にいるお客さんを第一にがんばろうね」である。店舗としての売り上げ、回転効率を考えるよりも先に一人ひとりの顧客の満足度を大事にしているのだ。第一の居場所を自宅、第二の居場所を会社とすると、第三の居心地のいい場所としてスターバックスコーヒーでの店舗体験を提供できるようにしているのだ。これがスターバックスの「サードプレイス」である。

他のコーヒーチェーンも同じように居心地のいい環境を作り上げようとしているが、私個人が行った様々なコーヒーチェーンの中では、スターバックスコーヒーが圧倒的に居心地のいい環境づくりを達成していた。特に、大学受験の勉強の際、「お勉強ですか?がんばってくださいね」とスターバックスコーヒーで言われた一言が忘れられない。そんな一言をかけてくれたのはスターバックスコーヒーだけである。同様のことを他店でも行なっていて、私がこういった声をかけられなかっただけの可能性もあるが、Webサイトへ「顧客満足度が高いカフェチェーン店」ランキング! 2位「コマダ珈琲店」、1位は?【2022年】によると、コーヒーチェーン全体の顧客満足度はスターバックスコーヒーが一位である。

コマダ珈琲と僅差であるが、それはコマダ珈琲も同じく

第三の居場所としての場を提供しているため似たような結果になったと言える。つまり、コーヒー提供だけでなく、その場自体が価値を持つため、人々はスターバックスコーヒーを利用するのである。

場としてのスターバックスコーヒーの価値はスターバックスコーヒーの歴史からも見て取れる。スターバックスコーヒーは一九九四年頃、コーヒーの販売に加えてフラペチーノの販売も始めた。これは当時フラペチーノが流行し、顧客の需要に答えた結果である。スターバックスコーヒーは顧客の需要に合わせて常に変化していく会社なのである。現在も月に一度程度新作と称した期間限定のドリンクやグッズが販売されており、常に顧客に対して新しい刺激をも提供している。

以上のことから、スターバックスコーヒーは他のコーヒーチェーンとは違う、様々な差別化戦略を行い、顧客に選ばれる理由を作っている。その理由で最も重要なのが顧客が居心地の良い時間を過ごせることである。そのために常に進化し続けている会社であるから、人々は飽きることなくスターバックスコーヒーを選び続けているのだと言える。

参考資料

『はじめて出会う経営入門〈第2版〉』中央経済社出版 内藤勲著
「顧客満足度が高いカフェチェーン店」ランキンング！ 2位「コ

メタ珈琲店」1位は？【2022年】 斎藤雄二著
<https://news.allabout.co.jp/articles/0/49369/>

〈寸評〉

担当教員・鷲嶽 正道

「教養セミナー・II」では、考える、調べる、仲間と協力する、発表するといったアカデミックスキルを、授業での経験を通して身につける授業を行なっています。学生たちは、自分たちの成功や失敗のみならず、他の学生のプレゼンやレポートの成果を通して、これらのスキルを向上させました。授業の最終課題は「大学で学んだことで自分の好きなものを分析する」で、学生たちはプレゼン・レポートの両方の形式で発表をしています。

その中で、福田さんは経営学部の専門科目である「経営入門」で学んだことを利用して、自分のアルバイト先であるスターバックスコーヒーの魅力を分析しました。本稿では、福田さんの実体験と大学で学んだことを共に生かした、説得力のある議論が展開されています。

福田さんは授業でもリーダーシップを発揮し、グループプレゼン等の活動でも授業に大きく貢献しました。福田さんの積極的な学びへの姿勢は、これから入学する学生たちへの模範になると考え、本稿を推薦しました。福田さんのますますの活躍を期待しています。

『鬼滅の刃』の人氣と魅力

—世界中に愛される作品となった

三つの外的要因—

大田 実 空

(法律学科一年)

「アニメ」は現代の日本が世界に誇る文化の一つである。日本で制作され、公開されたアニメのなかには、日本だけでなく、世界中で高い評価を受けているアニメ作品が数多く存在する。そういったアニメ作品の中でも、国や年齢に関係なく愛され一種の社会現象にさえなったアニメ作品がある。それは『鬼滅の刃』だ。アンケートパネル「オリコン・モニターサーチ」が一〇代から六〇代までの男女三、八四八名に『鬼滅の刃』の認知率¹⁾を測るための質問を行ったところ、合計で九七・八%が『鬼滅の刃』を知っている」と答え、世代の垣根を越えて認知率が九割を超えたというデータがある。しかし、なぜ『鬼滅の刃』は国境や世代を超え、社会現象になるほどの人氣を博すことになったのだろうか。

はじめに、『鬼滅の刃』とは吾峠呼世晴により『週刊少年ジャンプ』(集英社)にて二〇一六年一月号から二〇二〇年二四号まで連載されていた作品である。この作品の舞

台は大正時代、家族を人喰い鬼に殺されてしまった少年・竈門炭治郎が、唯一生き残るも鬼となってしまった妹・禰豆子を人間に戻す方法を探すため、鬼殺隊員として鬼と戦うという物語である。二〇一九年には *utotable* 制作によりテレビアニメ化され、TOKYO MX、BS11ほか全国二〇局の深夜放送枠でアニメ放映されるなか、在庫切れの書店も出るほどの人気作となった。さらに、二〇二一年には物語の中盤を描く劇場アニメ『無限列車編』が公開された。同作品の日本国内での興行収入は四〇四・三億円にも達し、日本歴代興行収入第一位となった。二〇一六年二月に原作の連載が始まり、社会現象にもなった鬼滅ブームはその三年後、二〇一九年ごろに始まり二〇二〇年にかけて大きくなっていった。とはいえ、人氣の爆発はあくまでアニメ放送以降であるというだけで、それ以前からも人氣作と呼ばれる位置づけではあった。ではなぜ、『鬼滅の刃』は未聞のブームを生み出し、世界中に愛される作品となったのか。作品自体がもつ魅力は当然として、そこにはさらに三つの外的要因が、偶然的に重なり合いつつ関与していたと考えられる。

第一の外的要因は、「配信環境の充実が上手く機能したこと」である。アニメ化されたことにより、既に一定数のファンはいたものの、それまで『鬼滅の刃』を知らなかった人々にまで、作品の存在と面白さを知らしめるきっかけとなった。ただし、実際のアニメの盛り上がりは当初は規

模が狭かった。ところが、映像美やその後の展開が話題となり、最終話にかけてその盛り上がりはどんどん大きくなっていった。こうした盛り上がりの上昇が可能になったのは、放送中に行われていた一挙配信サービス、AmazonプライムやNetflixなどの定額見放題、といった配信環境の充実が、上手く機能したからだといえる。近年の新作アニメは本数が多く、いくらアニメファンとはいえ全ての作品をチェックすることは難しい。そのため、視聴者を増やすにはSNSでの評判や、評判を聞きつけた人々の後追い視聴が可能な配信環境であることが重要なのだ。

第二の外的要因は、「ファン層が上手く拡大していったこと」である。『鬼滅の刃』は、アニメ化以降も新規のファンが参入し続けたことで、その人気がどんどん拡大していった。アニメが放送されるなか、まずはアニメ・漫画ファン層がSNS上で口コミを行い、次いでそれを見たユーザーや友人が、作品は知らないがアニメは好きといった一般層にそれを伝え、その彼らがさらに幅広い一般層に作品を勧めることで、ネズミ算式に視聴が拡大する、という流れが生まれた。さらに、このような人気の拡大からメディアが作品を大きく取り上げ出すと、普段アニメに触れることのない無関心層にまで魅力が伝わり、どんどんブームが拡大していったのである。

第三の外的要因は、「令和の時代背景が上手く作用したこと」である。平成から令和へと時代が進むにつれて、オ

ンライン文化の成熟といった技術的土壌がますます確立されていった。前述したように、鬼滅ブームの拡大においてはSNSでの反響が必要不可欠であった。さらには、深夜アニメや後追い視聴のための配信プラットフォームでの視聴が習慣として定着していたことなど、この令和の時代だからこそ外的条件が、鬼滅ブームのようなタイプの盛り上がり方を可能にしたのだ。また、令和を語る上で欠かせない「コロナ禍」も、鬼滅ブームにとっては絶好の追い風となった。自粛期間中に、アニメや漫画に触れる機会が増えたことはもちろん、それ以外にも新しい動きが多数生まれたことにより、鬼滅ブームにポジティブな影響を与えたのである。例えば、アニメ主題歌である「紅蓮華」をカバーしたり、人気キャラクターのコスプレをしたりと、コロナ禍でも可能な活動がYouTubeやTwitterに投稿されることで、『鬼滅の刃』という作品の知名度はどんどん高まっていき、鬼滅ブームはさらに加速していったのである。

以上の三つの外的要因が互いに重なり合うことにより、鬼滅ブームはどんどん拡大し、ついには社会現象になるまでの大ヒットを記録したのである。物語の内容自体も、大正時代の日本という舞台設定に和名の登場人物といったように、特殊すぎる設定や描写がないため、普段アニメや漫画に触れることのない人々にとっても入りやすい、という魅力がある。このような魅力にプラスして、配信環境の充実、ファン層の拡大、令和の時代背景という三つの外的要

因が上手く作用したことによって、『鬼滅の刃』は老若男女問わず多くの人々に愛される作品になったのだ。ということは、もしかりにこのような外的要因が重なり合って作用すれば、数多くの新作アニメに埋もれてしまっている他の作品もまた、社会現象を巻き起こすような大人気作品になりうるかもしれない、ということではないだろうか。

注

- 1 オリコンリサーチ (二〇二〇) 『鬼滅の刃』アンケート調査で、認知率9割超、世代の垣根なく「家族、同僚と会話が增えた」 <https://www.oricon.co.jp/news/2179073/full/>
- 2 一条真也 (二〇二二) 『鬼滅の刃』に学ぶ『現代書林』、四五一頁
- 3 小新井涼 (二〇二二) 『鬼滅ファイバーはなぜ起こったか?』、株式会社ICE、三〇頁
- 4 同、九七―九九頁
- 5 同、一一三―一二三頁
- 6 同、一二四―一三四頁

〈寸評〉

担当教員：岩佐 宣明

例年どおり、自分の考えを論理的に表現する力を身につけることを目標に授業に取り組んだ。春学期は『教養セミナーハンドブックII 日本語表現法』を用いて日本語表現の基礎を学び、秋学期はそれを踏まえ自由テーマで学術レポートの作成に挑戦した。真剣に取り組んだ学生

については、全員が一定水準のレポートを完成することができたと思う。大田さんのレポートはその中でも、議論の構成、文献の選定、表現の明確さ、等々の点において、とくに優れていたものの一つである。ある特定の対象の人気の秘密を探るという切り口のレポートは例年一定数提出されるが、対象そのものもつ内在的な特徴よりも、それを取り巻く外的な環境要因に着目して分析が展開される点、事態を複眼的に捉えようとする視点がおもしろい。文献を援用する際、それに完全には回収されない自説のオリジナリティといった部分も、もう少し表に出すことができればなおよかったか。

台湾有事における日本の課題

浅井 慎一郎

(現代社会学科一年)

はじめに

本稿では近年、国際社会で懸念されている中国の台湾侵攻について日本の立場から論述する。中国の習近平国家主席は長期的な独裁へ突き進んでいる。中国と日本は経済的、国際的な立場からも関係性は重要視されている。しかしながら台湾有事に関する問題や尖閣諸島の問題など、日本として看過できない問題を抱えている。これを受け岸田文雄内閣は向こう五年間で防衛費を倍増させNATO基準のGDP比二パーセント台を目指す方針を決定した。中国の台湾侵攻をどのように防ぐのか。日本は中国の台湾侵攻を西側諸国の一員としてどのように防ぐのだろうか。

軍事的活動を活性化させる中国と警戒感を強める台湾

中国は台湾に対して様々な軍事的圧力を強めている。

『君たち中国に勝てるのか』(岩田清文・尾上定正・武居智久・兼原信克、産経新聞出版、二〇二三、二八頁)では、「中国軍は台湾海峡の中間線を越えてどんどん出てくるようになってきました。これに対抗するため、常に即応態勢を強

いられている台湾は体力を消耗し、越境に慣れて抵抗を諦めたりするような事態が起きるかもしれません。習近平氏が、経済成長が鈍化している苦しい状況を乗り切るために、台湾に対する圧力を強めて、三期目の基盤を整えようという意図も働くだろうと思われまます」と述べている。このように中国は国際社会からの監視を受けながらも台湾に対して徐々に圧力を強めているのである。このような中国の行動に対して、台湾は兵役の年数を一年に延長し、義務教育の一環としてライフルの使い方をはじめとする様々な軍事的訓練を実施している。また、台湾海峡に向けてミサイルを配備するなど中国に対しての警戒感を強めている。このような緊張状態は偶発的な軍事衝突が発生する危険性も考えられる。

日本の軍事的課題

次に、日本の軍事的課題に注目する。日本はサイバー防衛の分野において大きな欠陥がある。

『君たち中国に勝てるのか』一一〇頁)「では、内閣サイバーセキュリティセンター一〇〇人くらいの優秀な人材がいますが、そんな規模では戦争は戦えないのです。中国など、普通の国のサイバー軍にはハッカー部門だけで、五〇〇〇人から数万人以上います」と述べている。近代の戦争はサイバー部隊の活動が重視されている。敵の軍事情報を探ることやリアルタイムでミサイルの着弾地を予想する

など役割は多種多様である。つまり、近代におけるサイバー部隊の充実とは現代の国防上必要な分野であり、日本の軍事的課題である。さらに、台湾総統選においても中国はSNSを活用し台湾に関与した。このような事実からも、有事の際に企業や学校などがサイバー攻撃の対象になることが予測される。中国の脅威に立ち向かうにはサイバー分野の技術力を高める必要がある。

台湾有事における日本の立場について

では、中国が台湾に軍事侵攻した場合、日本はどのような国際的立場を取るのだろうか。まず、自衛隊は間違いなく戦闘に関わることになる。台湾を軍事的に支援すると公言しているアメリカに先駆けて自衛隊は軍事的役割を担うと予想される。なぜなら、米軍本体の到着には時間がかかる。それまでは在日米軍や在韓米軍と共に自衛隊は軍事的役割を担うだろう。米軍の体制を整えば、日本は後方支援にまわると予想される。ここで言う後方支援とは米軍機に對しての給油や航空基地での戦闘機整備などである。また、戦争が発生した場合、日本国内の自衛隊基地も攻撃対象になる可能性がある。そうなれば、中国軍からの直接的なミサイル攻撃などが予想される。沖縄をはじめとする日本国内にも甚大な被害が発生する可能性がある。このようなミサイル攻撃からどのように一般市民の生命を守るのか。沖縄をはじめとする米軍基地の周辺には住民が避難で

きるシェルターなどを備える必要がある。しかし、現状では国民を守るための施設が十分に整えられていない。

また、台湾や日本に国際的な支援が行き届かなくなる可能性もある。ウクライナ戦争を例にする。ウクライナは隣国であるポーランドを中心とするヨーロッパ諸国から難民の受け入れや、食料の供給など様々な支援を受けている。しかし、日本にはウクライナのように国際社会からの手厚い支援が届かない。なぜなら台湾有事の戦場は海である。戦争による中国軍の海上閉鎖などにより十分な海上輸送を行えない可能性があるのだ。国民の生命を守るための施設の拡充や、同盟国や近隣諸国との連携強化に向けて迅速に取り組む必要がある。

台湾侵攻を防ぐために

このように、中国と台湾の関係は国際社会全体を巻き込む問題である。日本やアメリカをはじめとする西側諸国はどのようにすれば中国の台湾侵攻を防ぐことができるのだろうか。

『君たち中国に勝てるのか』(二三〇頁)では、「日本が相対的な緊張感をもって、アメリカを引き込んで構えないと、戦争が本当に始まってしまいます。しかし、日米が準備してしっかり構えていけば戦争は始まりません。もし始まったとしても、最小限の被害で勝てます。習近平主席にして、戦争をして負けると思えば、手出しをしません」と述

べている。つまり、台湾有事に対して日本は強い緊張感を持ち軍事的課題を早急に改善する必要があると考えられる。さらには、米国をはじめとする西側諸国の軍事的・経済的な連携の強化が中国の台湾侵攻を抑止するために必要であろう。

参考文献

- 岩田清文・尾上定正・武居智久・兼原信克『君たち中国に勝てるのか』（産経新聞出版 二〇二二）
林望『習近平の中国―百年の夢と現実』（岩波新書 二〇一七）

〈寸評〉

担当教員…河合 泰弘

私の教養セミナーのキャッチフレーズは、「趣味から始める学問入門」であり、各学生が自己の趣味や関心事をより深く探究し、春学期にはそれをレポートにまとめ、秋学期には春学期にまとめたレポートをもとに口頭発表をすることを課した。

浅井さんは、中国による台湾への軍事侵攻の危機が迫っていることが叫ばれる中、それが勃発した場合を想定して、日本にできる防衛策をシュミレーションして、レポートにまとめプレゼンしてくれた。微妙かつ難しい問題であるがゆえに、聴いていた学生の反応は必ずしも芳しいものではなかったが、台湾有事への関心を抱かせるには充分であった。物事を解決するには、問題の所在

や物事の因果関係を探ることが重要である。そのような視点に立った彼の論考には、すぐれたものを感じる。これからの飛躍を期待する。

ミッフィーについて

〜作者ディック・ブルーナから学ぶこと〜

渡部 希 咲

(現代社会法学科一年)

はじめに

私は、幼いときからミッフィーが好きだった。二〇二二年に名古屋松坂屋にて開催されていたミッフィー展に行つたところ、作品の奥深さと作者ディック・ブルーナについて詳しく知り、さらに好きになった。今では、ミッフィーのイベントに行つたり、グッズを集めたりなど、趣味として楽しんでいる。そこで、趣味だけにとどまらず、作者ディック・ブルーナから学ぶこと、またミッフィーをより知ってもらうために、改めて作品について追究していきたいと思う。

ミッフィーとは

ミッフィーはオランダで生まれた。オランダのユトレヒトの出身の作者ディック・ブルーナが白いうさぎを見つけ、息子にうさぎの絵を描いたことが、ミッフィーのはじまりといわれている。驚きなのは、ミッフィーの本名である。オランダ語でニンチェという。ミッフィーが生まれ

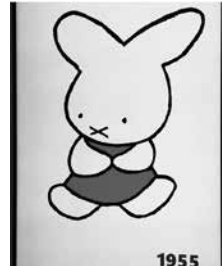
た時につけられたのは、ニンチェというオランダ語の名前であり、ニンチェとは、「小さい」や「かわいい」という意味である。ミッフィーの誕生日は、一九五五年六月二一日で、オランダでミッフィーの初めての絵本『ニンチェ』が出版されたことに由来している。ミッフィーの性別は、女の子であると言われている。実際にはうさぎの子供のキャラクターということだけで、性別はなかったが、後に、花柄のワンピースを描いたため、女の子のキャラクターとして知られていったという経緯がある。

ミッフィーの歴史

誕生から現在までの絵本のシリーズから、ミッフィーの顔の変化を見ていく。一九五五年代の生まれた当時と今では大きく印象が異なる。顔は徐々に変化し、大きさ、形、目の位置、線の太さなど、歴代ミッフィーを見てみるとその変化の歴史がよく分かる。そこには、作者ブルーナのこだわりが詰まっている。

絵本初代の『ニンチェ』のミッフィーの姿は今とは大きく異なっている。初期のオランダ時代のミッフィーの耳は横に伸びており、顔も下に寄った顔をしていた。また、手足に動きがある点で、現在とは大きな違いがある。一九八〇年代に入ると、それまでのミッフィーの顔から変化が見られる。一九五五年と比べて、耳の形が角ばり、顔が小さくなった。

八〇年代から九〇年代にかけても少し変化していることが分かる。耳は丸くなり、顔と体のバランスが、現在に近づいている。二〇〇〇年に入り、ミッフィーの作品としての種類が増えていった。



1955年



1983年



1991年



2007年

<http://www.dickbruna.jp> (日本のミッフィー情報サイト) より

一九五五年から変化を続けてきたミッフィーの顔だったが、作者のディック・ブルーナが二〇〇七年に亡くなったことから、二〇二〇年のミッフィーを見てみても今後は変化しないものと思われる。このことから、今では世代を超えて愛されるミッフィーだが、その懐かしい顔は、世代ご

とにそれぞれ違うと考える。

ミッフィーの秘密



2020年 (同上)

えようとする気持ちには、ブルーナが、ミッフィーを描くにあたっていつも子供たちのことを考え、試行錯誤したことがよく分かる。

また、ミッフィーの口はとても特徴的である。ブルーナには、うさぎの口が×に見えたという理由で、ミッフィーの口は、×で描かれている。お父さんやお母さんの顔には、×に一本横棒が加わって描かれているが、これは「しわ」を表現したもので、区別しやすいという特徴がある。

さらに、ミッフィーの作品がシンプルである理由として、作品ブルーナの絵本のスタイルが関係している。ブルーナのスタイルは、シンプルで余白を生かし、文は短く響きのある言葉としていた。そして、使用する色はすべて、赤、青、黄、緑、黒と限定して描かれている。このようなスタイルによって、作品そのものの本質や感情が伝わる工夫をし、デザインの美しさだけでなく、読み手の想像

力を大切にしている。

ミッフィーの絵本の内容と特徴

ミッフィーの絵本は一九五五年に誕生した。絵本は家族や仲間達と繰り広げるあたたかい物語で、ミッフィーの誕生の話から、学校に行く、お姉さんになるなどの何気ない日常がテーマとなっていて、物語に共感性が高く全てハッピーエンドで終わっている。次に絵本の特徴としては、すべて正方形型で子供が手に取りやすい形になっている。絵本の文は短く、余白がたくさんあることで、見る人に楽しみを与える工夫がされている。

作者ディック・ブルーナ

作者ブルーナは、絵を描くことを楽しみ、その喜びの想いを作品に乗せ、いつも好きなことを見つめ続けていた。両親の反対もあったものの、そこには作品をつくることへの強い信念が表われ、たくさんの人に認められていくようになった。昨日よりもっと頑張ろうと思う熱い気持ちの継続は、非常に難しいことである。ブルーナの名言として、「いつでも今やっているものがいちばんいいものになるように、それに集中してやってきました^[1]」という言葉がある。その信念こそが、ミッフィーの作品をよりよいものとして作り上げようとする原動力となった。どんなときでも誠実に取り組むことは、私たちにとって見習うべき信

念であると考えられる。作者ブルーナの考えのうち、好きなことを続けること、強い気持ちをもつこと、楽しみ喜びを感じることは、これからの自己の人生において重要であると考えられる。毎日今が一番よいように努力するのは難しいことだが、今が一番になるように日々の積み重ねをし、集中する気持ちでいることは非常に大切である。

おわりに

作者ブルーナの考え方には、夢をもつて生きることの素晴らしさを痛感させられる。ミッフィーの作品の面白さには、このような作品の強い思いが込められており、その力強さを自分なりに置き換えることで、頑張っている全ての人の生きる糧となる。ミッフィーの作品の面白さはもちろん、作者ブルーナの生き方から、私たちが考えることはたくさんあるということをぜひ知ってもらいたい。

注

(1) ディック・ブルーナ『ミッフィーからの贈り物』一八〇頁
(講談社文庫、二〇一五年四月)

参考文献

・森本俊司『ディック・ブルーナ…ミッフィーと歩いた60年』
(文春文庫 二〇一九年)

〈寸評〉

担当教員・河合 泰弘

学問も趣味も、深い関心をもってとことん追究する点では共通する。このような意味で、趣味の世界も学問の世界に通ずるところがある。そこで、私の教養セミナーでは、「趣味から始める学問入門」をキャッチフレーズに、各学生が自己の趣味や関心事の中からテーマを選び、それをレポートにまとめ、さらにはその内容をプレゼンするという手順で授業を進めていった。

渡部さんは、幼いころからミッフィー作品を親しむ中で、作者ディック・ブルーナから好きなことを続ける大切さや、夢をもって生きることのすばらしさなどを学んだようである。それは、彼女の熱心な受講態度や努力を惜しまない普段の姿勢にも表れているようである。ブルーナから学んだことを忘れずにこれからの人生に生かしていただきたいと切に願う。

オービスの使い方

森 大青

（法律学科一年）

一、オービスとは

オービスとは、速度違反自動取締装置の通称である。スピード測定器とカメラを組み合わせた装置で、車両の制限速度超過の取締りに使われている。装置は、違反車両が反応すると、カメラで車両を撮影する。そして後日、違反車両の所有者に対し、出頭通知書が郵送される。警察官が現場で速度を測定し、その場で手続きをする定置式取締りを補うことを目的に、導入されてきた。定置式取締りは、現場で警察官が、道路を走行する車両の速度を測定し、違反車両を発見した場合には、車両を停止させ、現場で取り調べ等を行う。一定の人員、及び違反車両を引き込むためのスペースが必要などのデメリットがある。オービス導入により、警察官の受傷事故の危険性がない、人員・場所・時間・天候に左右されない、などの導入効果が出ている。大きく分けて、固定式と可搬式の二種類があり、高速道路や交通事故が多発している区間、可搬式オービスは、狭い通学路などにも設置されている。

二、ダミーオービス

ダミーオービスとは、実際には、車両の速度計測を行なっていないオービスである。奈良県警察が二〇二三年七月から、北海道警察が一二月一四日からダミーの可搬式オービスを運用している。

奈良県警察のダミーオービスは、奈良県吉野警察署で運用されている。二〇二三年春、同署の若手交通課員二人が、本物そっくりの偽物のオービスを使うことを提案。狙いは、可搬式オービスを置くことで得られる速度抑制効果であった。

提案者の一人が手作りした。制作期間は三ヶ月間で、費用はゼロ円。ボディは、署内にあった厚紙をラミネート加工して作成、ストロボは、カップ麺の空き容器を黒色に塗装して作成されている。モデルとなったのは、東京航空計器が製造するLSM-300で、同社の許可も取っている。重量は、片手で持ち上げられるほどであることから、一人でも対応可能である。

実際にダミーオービスを運用したところ、その地域を管轄する駐在所に、「通行車両のスピードが落ちた」という市民の声が届いており、効果が出ている。

奈良県警察では、二〇一九年一月から可搬式オービスを導入しており、現在の保有台数は三台である。二〇二三年は、六月末までに可搬式オービスによる二〇五回の取締り、五五七件の違反車両を撮影し、検挙対象とした。可搬

式オービスは、LSM-300の場合、一台約一一〇万円と高価であり、台数を増やすことは容易ではない。現状、三台のオービスを一二署で運用しており、各署が使用できるのは、二、三カ月に一度ほどである。通常の取締りでは四〜五人の署員が必要であったため、はりばてオービスは、突破口となりそうだ。吉野警察署は今後も、実物のオービスとダミーオービスを併用していく。

北海道警察でもダミーオービスが活躍している。交通指導課の二〇代巡查長が、職場にあった消毒用アルコールの一斗缶と可搬式オービスの形が似ていることに注目し、模造品を作ることを発案した。ボディは、カラスプレーで白色に塗装した一斗缶、ストロボは、反射材でできている。高さ二五センチメートル、幅二五センチメートル、奥行き四〇センチメートルで、実物とほぼ同じサイズである。実物一台約一〇〇万円に対し、道警製作のダミーオービスは、一台一〇〇〇円の材料費で製作可能。

道警でも二〇一九年から可搬式オービスを導入しており、現在は七台を保有。老朽化により、道内の一般道の固定式オービスは、二〇二二年末までに全て撤去している。交通指導課長は、ダミーオービスを増やしていきたいとしている。

三、Xで取締り情報を投稿

基本的に可搬式オービスによる取締りは非公表で実施さ

れている。しかし、愛知県警察では従来の非公表の取締りに加えて、Xに取締り現場の具体的な住所や写真を公表する取締りを実施することがある。二〇二二年一〇月二〇日から実施されている。現場を公表することで、取締り現場だけでなく、現場付近を走行する車両のドライバーにも緊張感をもってもらうことが目的だという。

四、感想

各都道府県警察が様々な工夫がこらしており、面白いと思った。

可搬式オービスは、神出鬼没であるため、あそこに設置されるオービスは本物で、向こうに設置されるオービスは偽物である、といった具合に、見抜かれることを防げる。可搬式オービスの特性を生かしており、良いと思った。

愛知県警察の、オービスによる取締り現場を公表する投稿を実際に見てみた。住所を公表する日、市町村名と実施する道路(例・刈谷市、岡崎市、豊田市の国道一五五号)を公表する日などがあり、実施現場に合わせて公表情報を投稿している点が良いと思った。

参考文献

警察庁交通局企画課・交通指導課・「速度違反自動取締装置について」・警察庁・https://www.npa.go.jp/policies/budget/review/h29/sokudo_siryou.pdf (二〇二四年一月一八日)

Ignos ~ jawiki (二〇二四年一月二二日)・「速度違反自動取締装置」・ウィキペディア・<https://ja.m.wikipedia.org/wiki/速度違反自動取締装置> (二〇二四年一月一八日)

井口豪 (二〇二三年一〇月二五日)・「オービスとは？ 光り方、違反した場合の罰金・罰則、手続きの流れについて解説・教えて！ おとなの自動車保険」・<https://www.ins-saison.co.jp/otona/oshiete/car/orvis.html#top> (二〇二四年一月一八日)

大隅愛友 (二〇二三年一一・一〇)・「オービスとは？種類や反応速度、光った後の流れや対策まで詳しく解説」・弁護士法人ペストロイヤーズ法律事務所・https://www.bestlawyers.jp/blog/news/post_123.html (二〇二四年一月一八日)

くるまのニュース編集部 (二〇二二年一一月一六日)・「オービス設置費用は3000万円超え!? 撮れない速度ある？ さまざまな「噂」の真相を専門家に聞いてみた！」・くるまのニュース・<https://kuruma-news.jp/post/590665> (二〇二四年一月一八日)

遠藤絢子 (二〇二三年八月三二日)・「このオービス、実は『ハリポテ』です…『通行車の速度落ちた』と好評」・読売新聞オンライン・<https://www.yomiuri.co.jp/national/20230831-0YT1750081/2/> (二〇二四年一月一七日)

FRI DAY デジタル (二〇二三年一一月二二日)・「ストロボ部分はカップ麺の容器」奈良県警が導入した「はりばてオービス」は効果はあるのか?」・Yahoo! ニュース・<https://news.yahoo.co.jp/articles/e862a09fe7e84f3d8a1791b6438b2ee0845f7c81> (二〇二四年一月一七日)

青田海 (二〇二三年九月二一日)・「神出鬼没な『移動式オービス』にまさかの『ダミー』存在!? 導入費用は〇円!」奈良県の警察署に「導入経緯」と「結果」を聞いた」・くるまの

ニュース・<https://kuruma-news.jp/post/686704> (二〇二四年一月一七日)

青田 海 (二〇二三年十一月一四日)・「スピード違反への秘密兵器は一斗缶、スプレー塗装で『ダミーオービス』に変身：材料費は1万個で実物1個分」・読売新聞オンライン・<https://www.yomiuri.co.jp/national/20231114-OYT1T50135/> (二〇二四年一月一七日)

林麟太郎 (二〇二二年二月一七日)・「北海道の一般道、『固定式』オービス全て撤去…神出鬼没の『移動式』で速度抑止へ」・読売新聞オンライン・<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/-/183685?display=1> (二〇二四年一月一八日)

CBCテレビ (二〇二二年一月二〇日)・「愛知県警『可搬式オービス』でのスピード違反の取り締まり場所をTwitterに投稿『緊張感をもってハンドルを握ってもらえたら』」TBS NEWS DIG・<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/-/183685?display=1> (二〇二四年一月一八日)

〈寸評〉

担当教員..柴田 哲雄

教養セミナーⅡは「キャリアの基礎を固めよう！」をテーマにして、公務員試験の問題やSPIの問題、秘書検定などの問題に取り組み傍ら、授業の後半では新聞記事の輪読を行い、受講生全員が記事に基づく感想を述べ合っていました。期末には定期試験、及び「興味のある時事問題」というテーマでレポートを課しました。

森さんは将来、警察官を志望しており、授業に積極的

に取り組んでいました。本レポートは、時事問題を扱いながらも、森さんの将来の志望に沿った内容となっております。私は「オービス」という言葉を本レポートで初めて知りましたが、詳しく調べ上げており、森さんの意気込みを感じさせられます。また注もしっかり付記されており、レポートの形式としても、言うことありません。森さんを含む受講生の皆さんには、今後も志望の職業に就くことができるように精進していただきたいと思っています。

韓流ブームが与えた

日本への影響

林 留 菜

(法律学科一年)

一、はじめに

近年韓国ドラマやK-POPをはじめ、様々な韓国の大衆文化が日本で流行している。韓国は日本人の海外旅行先としても人気があり、日本語と韓国語は文法や単語の発音が似ていることから若い世代を中心に韓国語を学ぶ人も増えている。日本をはじめ世界的に韓国文化が人気を博している中、韓流ブームは日本にどのような影響を与えたのか。本稿では韓流ブームの実態について明らかにする。

二、韓流とは

「韓流」という言葉の起源については確実な根拠がないほど様々な意見がある。その中でも一番有力な説として、一九九七年の夏から中国で放送され始めた「ソウル音楽室」というラジオプログラムで「韓流」と言うのは新しい流行という意味の中国語「寒流」を変えて使った言葉として初めて使われたことと、一九九九年には韓国の文化観光庁で製作された「韓流」という題名の韓国の大衆音楽の広

告用CDが中国で流通し始めたことが挙げられる。「韓流」という言葉が使われ始めた当時は韓国の大衆文化に熱中している若者達の流行を警戒する意味が含まれていた。しかし、現在は「韓流」というと主に映画やドラマ、歌の三ジャンルを中心とした「韓国の大衆文化が日本や中国、東南アジアで大きな人気を得ている状況」のことを指す。さらに国際関係や政治、経済やメディア、学術シンポジウムまでも含む多様な方面から用いられ、ソフト・パワー論やコンテンツ振興政策といった分野でも応用されるようになった。

三、日本での韓流ブームのきっかけ

日本で韓国の大衆文化が流行したのは一九九八年の日本大衆文化開放と二〇〇二年の日韓ワールドカップ共同開催がきっかけであり、これらを足掛かりにして新しい日韓大衆文化の交流が試みられたのが日本の韓流ブームの大きな要因の一つであると言われている。ここで言う新しい文化の交流とは、非政治的な領域を通しての自発的な相互交流を言う。韓流現象は、地域的に近い隣国でありながら互いに対する関心と理解が不足していた両国の間に多様な文化コンテンツを消費しながら非政治的な領域を通して自発的な相互交流が可能になるきっかけとなった新しい文化交流である。さらに日本での韓流ブームを確実なものとしたのは二〇〇三年四月にNHK衛星第2で放送された『冬のソ

ナタ』というドラマである。『冬のソナタ』はその後NHK総合テレビなどでも再放送され韓国ドラマとしては異例の高視聴率を記録し、「冬ソナ」や「ヨン様」が流行語となるなど社会現象を巻き起こした。さらにNHKのみならず民放でも次々と韓国ドラマが放送され、韓国からの芸能人の訪日が各種メディアで大きく取り上げられるなど、かつてないほど韓国人気が高まり「韓流ブーム」と呼ばれるようになったのである。

四、韓流ブームの歴史

現在日本では第五次韓流ブームが到来していると言われている。ここでこれまでの第一次から第四次までの韓流ブームの歴史について振り返る。

第一次韓流ブームは二〇〇三年頃から二〇一〇年頃である。二〇〇三年に放送されたドラマ『冬のソナタ』が大ヒットして始まり、その後も『天国の階段』や『春のワルツ』などの純愛ものが流行した。このようなドラマは主に四〇代以上の女性といった比較的高い年齢層に大流行していたが、二〇〇五年に『宮廷女官チャングムの誓い』がNHK総合で放送されると視聴者層が男性にも広がった。音楽面ではこの時期より少し早い二〇〇一年のBoAが韓流ブームの第一号であるという説もある。BoAはキレのあるダンスと圧倒的な歌唱力で当時の若者を男女問わず魅了した歌手である。そしてK-POPグループの「東方神

起」が日本で活動を始めたのも第一次韓流ブームの頃である。この時期に韓国自体に興味を持つ人が増え、韓国が一気に身近な存在となっていたのである。

第二次韓流ブームは二〇一〇年頃から二〇一一年頃である。これまでの韓流ブームは主にドラマや映画であったが、この時期からはK-POPが主流となり、特に韓国人アイドルが人気を博した。[KARA]や「少女時代」、[BIGBANG]などの人気グループが日本のメディアに出演するようになり、K-POPが大衆化し始めた。また、チャン・グンソク主演のドラマ『美男（イケメン）』ですね』などをきっかけに韓国ドラマが再び注目された。

第三次韓流ブームは二〇一六年頃から二〇一七年頃である。この時期は音楽やドラマのみならずファッションやメイク、グルメなど多岐にわたって韓流ブームが起こった。音楽面では[BTS]や[TWICE]、[BLACK PINK]が日本でも人気が出始め一躍有名となった。そしてSNSで「オルチャンメイク」と呼ばれる韓国風メイクが広まり、韓国コスメなども注目されるようになった。さらに「チーズタルビ」や「チーズハットグ」などの韓国グルメも流行した。第三次韓流ブームは比較的一〇代から二〇代の若者の間で巻き起こった。

第四次韓流ブームは新型コロナウイルスが急拡大した二〇二〇年である。コロナ禍によりステイホームが余儀なくされ、自宅で楽しめる動画配信サービスの需要が高まった

ことにより、『愛の不時着』や『梨泰院クラス』などの韓国ドラマが大流行した。また『パラサイト』という映画も日本で大ヒットし、幅広い年代に影響を与えた。さらに自宅で「タルゴナコーヒー」や「韓国ラーメン」を作って楽しむなど、韓国グルメも流行した。

五、韓流ブームが日本に与えた影響

韓流ブームはドラマや音楽、グルメなど様々な分野で日本人の心を掴んだ。韓国経済研究院は二〇二三年七月一日に、二〇一七年から二〇二一年の世界的な韓流ブームを背景とした輸出増加に伴う経済効果（生産誘発額）が約四兆三八〇億円に上るとの報告書を発表した。韓国文化が世界的に大きな影響力を持つ中、日本人は韓流ブームを通してどのような影響を受けたのだろうか。韓流ブームが与えた影響の一つに、日本人の韓国に対するイメージの変化が挙げられる。日本で韓流ブームが起こる前、歴史や政治的背景から韓国に対して批判的な立場を取ったり、不信感を抱いたりなど「反韓」や「嫌韓」と呼ばれる感情を持つ日本人が多かった。しかし、韓流ブームが起き韓国の大衆文化が身近になったことで、韓国文化を通して韓国に対する見方が良くなったり、興味が増大したりした人が増えたというデータがある（斉藤・李・有馬・向田・日吉、二〇〇七）。こうしたイメージの改善や関心の増大は表層的なものにすぎないかもしれないが、韓流ブームによって日韓の

文化が交流し、お互いが高め合うきっかけとなり、経済や文化の発展に影響をもたらしたことは日韓関係において大きな一歩であると考ええる。

六、まとめ

韓流ブームは日本で二〇〇三年頃から始まり、現在に至るまでドラマや音楽、ファッションやグルメなど幅広い分野において流行をもたらしたことが分かった。また、世界的に見ても韓流ブームは大きな経済効果を生み出しており、K-POPをはじめとする韓国大衆文化は世界に認められている文化であることが分かった。日韓関係は複雑な問題ではあるが、互いに異なる背景を持つ人々や文化の交流を通して生まれる相互理解は、国同士や人同士の信頼関係を育み、友好関係を築いていく中で不可欠の要素である。今後も文化交流を通して両国に良い影響をもたらさし続けることが大切であると考ええる。

参考文献

- 安 貞美（二〇〇八）『日本における韓国大衆文化受容―冬のソナタを中心に―』千葉大学人文社会科学研究所』一六巻、一九六―二一〇頁
- 斉藤慎一・李津娥・有馬明恵・向田久美子・日吉昭彦（二〇〇一）『韓流ブームと対韓意識 ―韓流との関連で見た韓国・韓国イメージおよび日韓関係に対する認識―』『東京女子大学比較文化研究所』七一巻、一一―三二頁

鄭 榮蘭(二〇一七)「政治的対立と文化交流による日韓相互認識の変遷——日韓の文化受容(韓流・日流)が国民意識の変化に与える影響——『プロジェクト研究』一二巻、八五—一〇一頁

〈寸評〉

担当教員・中村 綾

本稿は韓流ブームについて考察を行ったレポートである。一九九八年の日本大衆文化開放と二〇〇二年の日韓ワールドカップ共同開催以降、日本で続いている韓流ブームについて、詳しい歴史や経済効果をまとめているが、それだけでなく、「韓流」という言葉の起源に触れたり、最後には日韓のこれからの両国関係に論を及ぼしている。

日本での韓流ブームについて非常に整理され、分かりやすい文章で説明されていること、そして文化交流で話を終わらせず、日本と韓国の両国関係を築いていくために何が大事であるかを結論としていることが本レポートの大変優れた点であろう。

教養養セミナリーの授業では、一年間を通して文章を書く練習を行ってきた。その中で繰り返し伝えてきたことは「初めて読む人が分かりやすいように丁寧に説明すること」と、レポートにはデータや資料を示すことで客観的な証拠を提示すること、他者の参考文献を引用する際には出典を明記することである。

林さんのレポートは、複数の論文を集め、それらに書かれていることをきちんと把握し、非常に分かりやすく自分の言葉で説明した上で、自分の考えを明確に述べることができている。林さんは教養セミナリーの授業内課題で初めて書いた文章でも優秀な作品を仕上げているが、教養セミナリーで習ったことを十二分に自分のものとすることができたことを大変嬉しく思う。どんな課題にも一生懸命取り組む林さんが、これからもたくさんの方を学んで自分の人生を充実させてくれるよう願っている。

死刑制度のあり方

津 口 結 依

(法律学科一年)

二〇一九年七月一八日に京都府京都市伏見区で発生した京都アニメーション放火殺人事件の裁判員裁判が行われていたが、被告の死刑判決が確定したと報道された。この事件は、アニメーション制作会社「京都アニメーション」の第一スタジオに男性が侵入し、ガソリンを撒いて放火したことで、犯人の男性を含む七〇人が死傷した事件である。

一月二七日の裁判からは、被告の量刑（刑の重さのこと）について審理が始まった。その裁判の中で、弁護側の陳述では、「この事件によつて被告自身も重傷を負っている状態で死刑を科すことは、被告にとって残虐な刑罰に当たらないか。人を殺すことは悪いことなのに、死刑が正当化されることが許されるのか考えてほしい」と述べておりこの裁判内で、死刑制度に関しての議論が行われていると産経新聞は報じている。

そこで、日本が採用している死刑制度について私なりに考察していこうと思う。

日本では、絞首刑での死刑制度を採用している。だが、世界においては死刑制度の廃止が進んでおり、現在では一

二カ国の国で死刑制度が廃止されている。そのため、日本の学者たちの間でも死刑制度存置派と死刑制度廃止派に分かれて議論が対立している。

まず、死刑存置派について、橋本氏は、

死刑廃止論の高まりのゆえに死刑相当犯罪の行為者が死刑ではなく無期懲役とされ、再度の死刑相当犯罪を犯したとしたら、死刑廃止論者はこの再度の死刑相当犯罪の被害者に責任があるとみてよい。この再度の死刑相当犯罪の被害者は、いわば死刑廃止論者の被害者とはいえないだろうか。かつての死刑相当犯罪の行為者に死刑を科すことは、この意味で現実的・具体的犯罪抑止効がある。このことを忘れてはならない。

と述べている。また、

いま、死刑を廃止しても、その効果が発生するのはいまではなく将来である。その、将来に死刑廃止論から生じる未知の不幸な結果が生じた場合に今生きるわれわれは責任を持てるのだろうか。（中略）未知の社会現象に対して、責任が持てないという宿命を自覚し、今を生きるわれわれは安易な法改正を行うべきではない。

とも述べている。このことから、現実的・具体的犯罪抑止の効果がある死刑を廃止することによって、将来の日本が現在よりも死刑相当犯罪起きてしまう可能性があるため、安易な法改正はできないということが分かる。もし、死刑

制度を廃止したことにより、犯罪件数が減少するのではなく、増加していたら、きっと多くの人々が「死刑制度を廃止しないほうがよかった」といい、死刑制度の復活を求めよう。そうなると、また法改正の議論が始まってしまい、日本中が混乱してしまう恐れがあるのではないかと思う。それを死刑制度存置派は阻止しようとしているのではないかと考えている。

反対に死刑制度廃止派の意見である。秋元氏は、

死刑制度があることによって、自分では死ねないから死刑にしてくれと、あえて殺人を犯す、そういうことが東京秋葉原でもあった。死刑がなければ、そういうものが起こらないとも言える。

と述べている。また、誤審やミスジャッジによって、冤罪で死刑になった人が過去に多くいたのではないかという点とも述べていた。私は、秋元氏が述べた二点はとても重要な問題ではないかと考える。なぜなら、この二点はどちらも死刑があることによって無駄な被害者が出ているといえるからである。前者は、死刑になりたかかった被告人に殺害された被害者のことであり、後者は、冤罪で死刑にされた人のことである。

私は死刑廃止派の立場のほうが良いのではないかと考える。上記の死刑制度廃止派のところでも述べたように、死刑制度があることによって殺人が起きてしまうことや、冤罪で死刑になってしまうなど罪がないのに殺害されてしま

うことが起こってしまうと、罪を犯した人にその人自身の命をもって償わせるという死刑制度を採用する意味がなくなってしまうのではないかと考えるからである。

また、死刑制度は、日本では一番重い刑罰であるとされており、死刑判決を受けてから六カ月以内に行使されるものとなっている。つまり、最初に述べた京都アニメーションの事件においても、被告は確定判決を受けてから六カ月以内には死刑が実行されることになっている。私は、死刑よりも無期懲役のほうが重い刑なのではないかと思う。無期懲役とは、懲役の期間を決めずに刑務所に服役させることである。そのため、六カ月間、自分の刑の執行の時を待つことよりも、いつまでも自分の犯した罪を背負いながら刑務所で過ごすほうが重く、罪の償いになるのではないかと考える。このことも、私が死刑廃止派の立場をとる理由の一つである。

だがしかし、死刑存置派の主張にも納得できる点があり、安易に法改正はできないため慎重な判断が必要であると考えている。

ここまで自分なりの考えを示してきたが、この両者の対立はどちらの方がいいものなのか一概に決めつけることはできないであろう。そして、死刑制度は人の命を扱う重要な問題である。そのため、今後の日本のことなどについてもしつかり考慮し、死刑制度をそのまま取り続けるのか廃止するのかの議論を行う必要があると思う。また、死刑制

教養セミナーの授業では、一年間を通して文章を書く練習を行ってきた。その中で繰り返し伝えてきたことは「初めて読む人が分かりやすいように丁寧に説明すること」と、レポートにはデータや資料を示すことで客観的な証拠を提示すること、他者の参考文献を引用する際には出典を明記することである。データや資料の示し方は、こちらは時間不足を感じながらの授業であったが、津口さんがしっかりと汲み取って、このレポートに生かしてくれたことを大変嬉しく思う。

津口さんは理解力もよく、また、文章にまとめる際にも時間をかけて的確に仕上げていた。津口さんが、これから法学の専門的なことを学び、自分の人生に役立てていくことを願っている。

一人称代名詞の違い

田中里奈

(法律学科一年)

一人称代名詞として英語は「I」、中国語だと「我」がある。これらには性別による使い分けがない。しかし、日本には男性なら「ボク、オレ」、女性なら「ワタシ」など既に三種類もの一人称代名詞があるのに加え、他にもアタシ、ウチ、ワシなどや自分の苗字や名前を一人称代名詞として使う人もいる。そうなると、人の数だけ一人称代名詞は存在しているといっても過言ではなく、正確な数を数えることはできない。ではなぜ日本には数多くの一人称代名詞が存在しているのか。また、その一人称代名詞によってどのような違いがあるのか。本稿ではこれらのことについて考察する。

まず、一人称代名詞とは、一人称すなわち話し手を指す代名詞である。また、一人称代名詞は、自称詞と呼ばれることもある。Hiizuは言語における一人称も名乗ってしまえばそれが一人称であり、一人称は一つだと限定されることなく広がり定着していき、自分をオレと名乗ろうが、私と名乗ろうが、本人がそう名乗るのだから、それ以外に言いようがなくて、否定する必要もなく、それが残って

いったに過ぎないと述べている。このことから、日本の宗教が関係しているのではないかと考える。日本には、「神道」と呼ばれる森羅万象のありとあらゆるものに神が宿るという思想に基づいた宗教があり、この神道から、あらゆる存在を否定することなく認めるという考え方が生まれ、誰がどんな一人称代名詞を使ったとしても受け入れたため、数多くの一人称代名詞があると考えられる。佐藤（二〇二三）は、一人称とは、一人称ひとつで、自分の印象や社会的地位、相手との距離感などさまざまな要素を定義できてしまう日本語であり、近代以前の日本にはたぐさんの一人称が存在していたと述べている。また、文明開化によって本格的に西洋の文化の洗礼を受け、日本人は初めて「個人」という概念を知り、「そのときどきの自分」に合わせて一人称を変える必要がなくなり、一人称のバリエーションが減っていき、自己同一性の統合が進んだとも述べている。以上のことから、日本に数多くの一人称代名詞が存在しているのは、文明開化によって広まった個人の概念から一人称は一つだと限定されることなく広がり定着している、誰がどんな一人称代名詞を使ったとしても受け入れてきたためだと考えられる。

次に考えるのは、その一人称代名詞によってどのような違いが生まれるのかについてである。西澤（二〇二二）は、「日本語の自称詞には男性語、女性語とされる語があり、特定の自称詞を用いた発話は特定の性別の人物像と結

びつく」と述べており、これには役割語が関係していると述べている。役割語とは、一人称が「わし」や語尾に「じゃ」がつくと老人、「アルヨ」や「ヨロシ」を使えば中国人などという年齢、性別、職業など話者の特定の人物像を想起させる特定の言葉遣いである。まず「ボク」と「オレ」で考える。「ボク」は丁寧な言葉なのに対し、「オレ」は力強く、カジュアルな言葉である。文章で考えてみても「ボクは強い」と「オレは強い」とではやはりボクよりオレの方が力強さを感じる。次に「ワタシ」と「アタシ」で考える。「ワタシ」はフォーマルな時にも使われる言葉でもあるから固い表現であるのに対し、「アタシ」はくだけた表現であり、堅苦しさのない、より自然体の女性像や幼さなどがイメージされる。こちらも文章で考えると、「ワタシ、お腹空いた」と「アタシ、お腹空いた」ではワタシよりアタシの方が幼さが残る。これらのことから、「オレ」が強い男性性を帯びる一方で、「ボク」は相対的に弱い男性性を示し、「ワタシ」はフォーマルで丁寧であるが女性性は弱く、「アタシ」はくだけた、幼い表現であるが女性性が強いということがわかる。このことについて西澤（二〇二二）は、

使用する自称詞が男性語（女性語）でも、他に使用している言語要素が女性語（男性語）の自称詞使用者と類似するか相違するかにより、その自称詞を含む発話全体があるレベルの女性性（男性性）を帯びる。こ

うして同じ男性語や女性語の自称詞でも、語によって結びつく人物像の男性性、女性性に差が生まれる。さらに、同じ自称詞を使用しながら特定の言語要素が繰り返して使われることで、一時的な事例は一傾向（あるいはイデオロギー）となり、その言語要素を使用していない場面でも、特定の自称詞が特定のレベルの男性性や女性性と結びつくようになると思われる。

と述べている。以上のことから、男性語、女性語の中にも強い男性性、女性性があり、反対に弱い男性性、女性性もある。同じ男性語や女性語の自称詞でも、語によって結びつく人物像の男性性、女性性に差が生まれるという違いがある。

以上に述べたことから、日本の宗教である神道という考え方からあらゆる存在を否定することなく認めたという背景から、どのような一人称代名詞でも受け入れられたと考えられるため、数え切れないほどの一人称代名詞が存在しており、英語や中国語などにはない性別による使い分けがあることがわかる。また、性別の中にも男性性、女性性があり、それぞれに強い、弱いという男性性、女性性の強弱があるということも考えられる。

参考文献

西澤明希『自称詞と結びつく人物像の男性性、女性性―少年マンガの《オレ》《ボク》《ワタシ》《アタシ》―』（現代日本語研究

会、二〇二二）

Hizuki「どうして日本語には一人称の呼び方がたくさんあるのか」(Rayfield、<https://essence-life.jp/>)

佐藤ちひろ、「僕、私、当方、小職、拙者、朕…日本語の一人称はいつたいくつある？そしてなんでこうなった？」(二〇二三年五月二日更新)、「データのかん データで越境者に寄り添うメディア データのかん」(wingarc.com)

神道、Wikipedia、<https://ja.m.wikipedia.org/wiki/> (二〇二四年一月二九日)

役割語、Wikipedia、<https://ja.m.wikipedia.org/wiki/> (二〇二四年一月二九日)

〈寸評〉

担当教員…中村 綾

本稿は一人称代名詞についてのレポートである。日本語の人称代名詞は他言語に比べ、バリエーションが非常に豊富にあることから、その理由を探り、どのような特性を生み出しているかについて考察したものである。

教養セミナーの授業では金水敏氏の「役割語」というテーマを取り上げ、これに関する文章トレニングを行ったが、代名詞は授業では取り上げなかったテーマであり、田中さんの着眼点によるものである。授業で触れた内容から一人称代名詞と役割語の関わりに興味を持ってくれたのであれば大変嬉しく思うのと同時に、役割語以外の方面を自分で調査したことを評価したいと思います。

田中さんは授業中の文章作成の際にも、レポート中の

データの示し方や要約の仕方などについて鋭い質問を投げかけてくる学生であった。そして、教わったことはじっくり時間をかけて自分の作品に反映させ、自分の言葉で明確にまとめたレポートを仕上げている。今後もこの姿勢を大事にし、大学生活を実りあるものにしてほしいと思う。

教養セミナーの授業では、一年間を通して文章を書く練習を行ってきた。その中で繰り返し伝えてきたことは「初めて読む人が分かりやすいように丁寧に説明すること」と、レポートにはデータや資料を示すことで客観的な証拠を提示すること、他者の参考文献を引用する際には出典を明記することである。

この学期末レポートを書く際にも論文か学術書を一点以上参照することを条件に付したが、齋藤君のレポートは複数の論説をきちんと読み込んだからこそ、上記のような広い視野からの論考が生まれたものと思われる。

こころに残った絵本

—SDGsを考える

「貧困がもたらす苦しみ」

西脇 陸人

(商学科一年)

私が選んだ絵本は『みんなはアイスをなめている』という作品だ。この絵本はSDGs項目一の「貧困をなくそう」をもとに作られている。この絵本を選んだ動機はSDGsのさまざまな項目について調べた中で今一番の課題がこの「貧困」だと感じたからだ。また日本のほとんどの人がこの「貧困」とはかけ離れた暮らしをしていると感じたため、知らないことが多いのではないかと思いこのテーマに関する絵本を選んだ。

この絵本は小学生の兄弟と介護職の母親の家庭事情を描いたお話だ。主人公の小学六年生の兄である陸と小学三年生の妹の美波は学校から帰宅すると洗濯や掃除など家事などをこなし、母親が置いていく五〇〇円で二人分の夕食をスーパーに買いに出かけるという毎日を送っている。一人当たり二五〇円という厳しい生活で陸が電卓を持ち歩き慎重に惣菜を選んでいる描写や、まだ小さい偏食の妹に根負けしてチョコプレートを購入し頭を抱えている陸にとても胸

を痛めた。家へ帰ってきて貧乏くさいメニューだと呟いた陸に対し、世界の貧困者というテレビ番組のナレーションを聞いた美波が反論する。世界の貧困者たちは、一日二〇〇円以下で暮らしている。そう聞いた美波は「うちは貧乏じゃないね!」と無邪気に言った。この美波の発言を聞いた陸はさぞつらかったと思う。二人の母親は介護職だったが、腰を痛めてしまい正社員からパートになってしまった。そんな中で夕飯のすすまない美波を陸が調べると虫歯が進行して歯に穴が開いていた。どれだけ痛くても医療費のことを考えると言い出せなかったのだと私は思う。私はまだ小学三年生の美波が気を使っているのと我慢していたと考えたと、本当に自分は恵まれているかと再認識できた。陸が無理やり美波を歯医者に連れて行くと治療費でお金を使ってしまったため夕飯が買えなくなってしまう。帰宅した母親は仕事で疲れきっており、兄弟の様子やおかずが何もない健気な食卓に気づくこともできなかった。最後のシーンは「ひとり親医療費助成制度」というものがあるという少し明るい展開になっている。だが、とてもハッピーエンドではないと感じた。

二人が学校に通う中で私が一番つらいだろうと感じた点は、ほかの人のあたりまえが自分にとつてのあたりまえではないという点だ。もしみんなが同じ境遇で苦しんでいたらみんなも大変だからとまだ耐えられると思うが、自分だ

けみじめだということを必死に気付かないようにして生活しなければならぬのは本当に大変なことだと思う。またこの絵本を通して日本は先進諸国に比べ生活保護利用率が異様に低いということが分かった。例えばドイツは利用率九・七パーセント、イギリスは九・二七パーセントであるのに対し日本は一・六パーセントととても低いことが分かった。これは生活保護対象の人の割合のため日本は深刻な状況にあると考えられる。申請して却下された場合もあると思うが、そもそもこの制度の存在について知らないという人も一定数いると思う。もつとこの制度について広めることが大切だと強く思った。

最後に私は「貧困」とは自分の人生の選択肢が狭まることだと感じた。子どものうちから我慢や諦めることが多く、自分の努力ではどうにもならないことだらげだと思ふ。そして陸のようにそれが当たり前だと思ってしまう、苦しむことになってしまうと感じる。「貧困」という課題の本当の恐ろしさは経済面や生活面だけではなく、精神的な面や心の中にあると感じた。自分の家庭環境に感謝し、毎日を大切に生きていこうと強く感じた。

参照文献

『みんなはアイスをなめている』安田夏菜(作)・黒須高嶺(絵)、講談社、二〇二〇年

〔寸評〕

担当教員・岡島 秀隆

レポート作成にあたっては、学生にいくつかの条件を伝えた。共通テーマは「ここに残った絵本―SDGsを考える」とした。参照文献やインターネット上の参照ページを明示するように指示した。

文体は「だ・である調」に統一し、読み手を意識して分かりやすい表現を心がけるように求めた。

西脇陸人くんは『みんなはアイスをなめている』という本を取り上げた。ケイト・ミルナーの『きょうはおかねがないひ』を思い起こさせる日常の中に潜む貧困の痛さを描いた作品である。西脇くんはこの作品中の印象的なストーリーを抽出して、うまく解説を加えている。後半では、「ひとり親医療費助成制度」や生活保護使用率に触れて現実社会の貧困問題に言及し、更に終盤では貧困問題の核心に心の問題があることを指摘している。これからも様々な社会問題から目を逸らさず、率直さと広い視野を持って人生を歩んでほしい。

ここに残った絵本

―SDGsを考える

LIU ZIXI

(商学科一年)

私が読んだ絵本の中で、心に残った絵本は『もったいないばあさん』だ。小さな子供が食べ物を残したり、まだ使えるものを捨てようとする、「もったいない!」と言っておばあさんが現れ、知恵を授けてくれる――そんな絵本が『もったいないばあさん』である。この絵本は、男の子に「もったいないばあさん」の中で、印象的な言葉は「お

やおや なみだが もったいないよ」だ。男の子に向けた、もったいないばあさんの言葉だ。男の子がおばあさんの気迫に圧倒され泣いていると、おばあさんはこう声をかける。頑固なおばあさんだが、このように優しい面もあるのだ。

昔ながらの頑固なおばあさんのキャラクターが、ユーモラスに描かれている。おばあさんはただうるさいだけでなく、生活の知恵を男の子に教えてくれる。例えば、紙くずを怪獣スーツに作り変えてくれたり、短くなった色鉛筆をまとめて虹色鉛筆にしてくれる。それは、おばあさんが長

い人生の中で培った生きて知恵だ。最初は嫌がっていた男の子も、段々とおばあさんの行動や知恵を受け入れ、「もつたいたい」の精神が伝えられていく。現代ではあまり見られなくなってしまう習慣や知恵が、そこにはある。

もつたいたいばあさんは、もしかしたら煙たがられる存在かもしれない。しかし、現代人が忘れかけている、昔ながらの知恵を伝えてくれる貴重な存在でもある。使ったものを再利用し、辺りが暗くなったら寝る、というシンプルなものもないばあさんの暮らしは、実は現代人が見習いたい暮らしでもあるのだ。もつたいたいばあさんの、もつたいたい精神が詰まった一冊だ。もつたいたいばあさんの言動は、若い人にとっては口うるさく感じてしまうかもしれない。しかし、そこには普遍的な生きる知恵がある。

環境省環境再生・資源循環局総務課の土居健太郎氏は、「絵本『もつたいたいばあさん』は、親しみやすく、分かりやすいお話でありながら、限りある資源の大切さ、豊かな環境の尊さを伝えていきます」と述べている。

著者の真珠まりこ氏は「もつたいたい」という言葉には、ただ無駄なことをしないというだけでなく、自然の恵み、いただく命、作ってくれた人に感謝する気持ち、他の人や物を大切に思う思いやりがこめられていると考えているようだ。それを一言でいうと、敬う心である。

物があふれているこの時代に、多くの人が浪費し始めたのは正しくない自分を反省すべき行為だ。すべては苦勞し

て勝ち取ったものであり、それを大切に、無駄にしないでほしい。そのためには、私たち一人一人ができることをやらなければならない。例えば生活の中で、充電後、時間内に充電器のプラグを抜いて電力の無駄を減らす。省エネランプを使用し、夏はエアコンを摂氏二六度に調整すると、エネルギーを大幅に節約できる。歯を磨いたあとは蛇口を閉める。たとえそれがわずかな漏れであっても、一日もすれば大量の水を無駄使用することになる。食料品を買う時は、自身の野菜のバスケットか布袋を使うようにする。使い捨て可能なポリ袋は腐敗するのに六〇〇年かかる。出来ることは少しでもやってみる。

私は『もつたいたいばあさん』とSDGsは共通している部分があると思う。SDGsとは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称で、目標の一つは飢餓をなくすことだ。飢餓をなくすには、まず食糧の損失と浪費の問題を重視しなければならない。「国連食糧農業機関は、毎年全世界の人間が消費する食品の三分の一が損失や浪費され、約一三億トン、七五〇〇億ドルの価値があると推定しています。もし私たちが損失と浪費をゼロに減らすなら、節約した食糧は二〇億人をもっと養うことができる」とグラツイアノー・ダ・シルバは言った。グローバルグリーン成長フォーラムで、国連食糧農業機関事務局長のジョゼ・グラツイアノー・ダ・シルバは参加者に、「食糧損失と浪費状況をタイムリーに把握することは、世界の飢

餓撲滅を加速させることに特別な意味がある」と述べた。

現在、国際社会で「発展」という言葉は、人類が数千年にわたって執拗に追求してきた最も基本的で崇高で普遍的な目標であり、同時に全世界で広く注目されている重要な命題だ。発展の過程で、人類は前例のない輝かしい成績を取め、無数の自然界の冷酷な罰と報復を受けた。それが重要な理由は、各国、各地域、各民族の身近な利益に関わり、未来世界の顔と形態に関係し、人類と自然界の相互関係に影響を及ぼし、世界各国の意思決定者、国際社会、全人類に対する深刻な挑戦を構成しているからだ。だから私たちは持続的な発展目標を設定し、持続的な発展社会を構築しなければならぬ。そしてSDGsに含まれるこの一七個の目標の最終目的は誰一人取り残さない持続可能な社会を発展させることだ。その為には、私たちはより多くの資源を節約し、資源のリサイクルを実現する。これは持続可能な発展社会を推進するのに非常に重要だ。

この絵本は「もったいない」についても一度よく考える機会をあたえてくれた絵本であり、とても印象に残った絵本だ。自分は、この「もったいないばあさん」の妖怪のようなインパクトのあるキャラクターに圧倒された。ご飯が残っている時や、蛇口を閉めない時、もったいないばあさんが私のそばにいるように感じる。気がつけば自分もいっぱいもったいないことしていた。この絵本は大人が読んでも学ぶことがあるし、子どもが読んだら新たな発見や

学びがある絵本だと思う。私はこの本を皆が読むことを推薦し、皆がそこから多くの収穫を得てほしいと考えている。

参考文献

- 1、「もったいないばあさん」真珠まりこ、講談社、二〇〇四年
- 2、「もったいないばあさんプロジェクト」アニメもったいないばあさん「アニメもったいないばあさん — MOTTAINAI — (mottainai-basan.com)】
- 3、日本共産党中央委員会（二〇二一年五月一三日）「食料13億トン 毎年ポイ/世界生産量 3分の1/FAO報告書」【食料13億トン 毎年ポイ/世界生産量 3分の1/FAO報告書 (jcp.or.jp)】
- 4、国際連合広報センター（二〇一九年一月二日）「SDGs（エス・ディー・ジーズ）とは？ 17の目標ごとの説明、事実と数字」【SDGs（エス・ディー・ジーズ）とは？ 17の目標ごとの説明、事実と数字—国連広報センター (unic.or.jp)】

〈寸評〉

担当教員・岡島 秀隆

レポート作成にあたっては、学生にいくつかの条件を伝えた。共通テーマは「ここに残った絵本—SDGsを考える」とした。参考文献やインターネット上の参照ページを明示するよう指示した。

文体は「だ・である調」に統一し、読み手を意識して分かりやすい表現を心がけるように求めた。

LJU ZXさんは中国からの留学生である。授業期間中にも日本語の習得に苦戦していると述べていた。この掲

載文についても、やはりオノマトベの使用法などには苦勞していることが窺えたが、自分の主張を伝えようとすゝる努力が感じられた。文中では絵本『もつたいないばあさん』を材料にして食料問題や貧困問題などについて考察し、「環境省」や「国連食料農業機関」のHPなども目を通しながら、現代人の価値観や生活習慣に警鐘を鳴らしている。広い視野を持つことを忘れないで、これからも自分を信じて前向きな人生を歩んでほしい。

推薦したいもの

堀部 佑弥

(商学科一年)

私はお菓子作りを推薦したい。

お菓子作りには、クッキーやプリンなどの手軽なものから、ケーキやタルト、マカロンなどのように手のこんだし難しいものまで、様々な種類のお菓子を作ることができる楽しみがある。またクリスマスにはケーキを作ったり、バレンタインデーにはチョコレートのお菓子を作ったり、と何かしらのイベントの時にお菓子を作ったりすることもあろう。

お菓子作りに対して、多くの人は、材料や器具を揃えるのが大変、多くの時間を使う、地味で細かい作業が多い、という印象をもっているだろう。そして、こうした印象によつて、お菓子作りには興味が持てない、面白いとは思えない、という人も多いかもしれない。

確かに、お菓子作りは、一般的な料理とは違い、一つ一つの作業が極めて厳格に決められており、決して簡単ではない。しかしそこには様々な魅力が隠されているのだ。

一つ目の魅力は、お菓子を作る過程の楽しさだ。シフォンケーキを例として考えてみよう。シフォンケ

キはふわふわと優しい口当たりできめ細かいのが特徴だ。シフォンケーキを作るには、卵黄、卵白、グラニュー糖、小麦粉、サラダ油、牛乳、が必要となる。しかし、これらの材料を見ただけではシフォンケーキの特徴であるふわふわなケーキを想像することができない。シフォンケーキを作る工程の中には、卵白からメレンゲを作る作業があり、そこでやっとシフォンケーキの元となる形ができてくる。また焼成をすることで生地が膨らみシフォンケーキが完成する。このように、作っていく過程の中で段々とシフォンケーキの形が形成されていく点に、完成に近づいていくひとつひとつの瞬間が実感できるという魅力がある。

またシフォンケーキは材料を混ぜ合わせる順番が重要で、卵黄、グラニュー糖、牛乳、サラダ油、小麦粉、卵白（メレンゲ）の順番で加えなければならぬ。例えば牛乳とサラダ油の順番を入れ替えて混ぜると本来の生地とは全然違う形になってしまい、完成させることができない。他にも、メレンゲを作る時の立て具合や焼成の時間によっても、全然違う口当たりになったりしてしまう。このように、お菓子作りは、作る過程の少しの違いが完成させた時に大きな違いとなって出てしまう。しかし、だからこそ、成功した時の達成感は大きく、作っていて楽しいのだ。

二つ目の魅力は、様々な材料があることだ。砂糖を例としてあげると、上白糖、グラニュー糖、粉糖、白ザラ糖、三温糖、中ザラ糖、角砂糖、氷砂糖、液

糖、和三盆、黒糖、きび砂糖など、ほんとうに多くの種類がある。しかし、どれも同じ砂糖だからといってお菓子作りの時に好きな砂糖を使っているわけではない。お菓子によって使う砂糖が異なり、向き不向きがある。そのお菓子に適していない砂糖を使うといい仕上がりにならない。

例えば、砂糖の種類によってお菓子の食感が異なってくる。お菓子作りでは、一般的に、上白糖、グラニュー糖、粉糖などがよく使われるが、クッキーを作ったとき、上白糖はサクツとした食感で少し噛み応えがあり、グラニュー糖はサクサク食感をしっかりと感じられる。粉糖はサクツとした食感で口溶けがよく、きび砂糖はサクサク食感とともに砂糖のkokを感じられる。このように砂糖の種類を変えるだけでも、まったく違う仕上がりになる。こうした違いを実際に自分で作って感じて学んでいくのもお菓子作りの面白いところだ。

三つ目の魅力は、ひと手間をかけるかどうかで仕上がりが大きく異なってくることだ。

例えば、お菓子作りの中にはテンパリングという作業がある。テンパリングとはチョコレートに温度を調整してチョコレートに含まれるカカオバターの結晶を最も安定した状態にする作業のことであり、この作業を行うことでチョコレートに滑らかな口溶け、美しい艶が生まれる。逆にこの作業をしないと結晶構造が不安定となり、口溶けが悪くなってしまう。またちゃんとテンパリングが行われて

いないと、チョコレートに白い筋や斑点のようなものが浮き出てくることがある。このようにひと手間かけるかどうかは仕上がりに大きく影響するのはお菓子作りの重要な特徴だ。

ところで、多くの人々は、どうしてお菓子作りの多様な魅力に気付いていないのだろうか。それは恐らくお菓子作りは難しいという先入観があり、実際に作ろうとしていないからではないだろうか。

確かに、冒頭で述べたように、お菓子作りは多くの材料や器具、時間を使うため、なかなか手が出しづらく、いきなり作るというのは難しいかもしれない。加えてお菓子作りは地味な作業が多く、大変で、よく失敗してイラついてやめなくなる時もあるのは事実だ。

しかし、それでも私は一般的な料理よりお菓子作りが好きだ。それはなぜかというと、お菓子作りの緻密で繊細な点が楽しいからだ。一般的な料理は、作ることに幅が利き、多少手順が違っても現場合わせで何とかなる場合がある。それに対して、お菓子作りは、やり方や手順を少し間違えただけで完成まで辿り着くことができない。料理の得意具合に○点から一〇〇点までいろいろあるとするなら、お菓子のでき具合には○点か一〇〇点しかない。この大きな違いが、私が料理よりお菓子作りに面白みを感じ、お菓子作りが好きである理由だ。

私の性格は中途半端になることが嫌でかなり負けず嫌い

だ。だからこそ○点から一〇〇点まで幅のある料理には面白みを感じない。ある程度の及第点では納得いかないからこそ、○点か一〇〇点かの、失敗か成功しかないお菓子作りはとても面白いし楽しい。お菓子作りは失敗か成功しかないため、上手に完成した時の達成感はとても心地が良いのだ。さらに、ほんのひと手間を加えるかどうかによって、お菓子の仕上がりが大きく変わってくるのもお菓子作りの魅力だといえる。

お菓子作りを実際にやってみることによって、今まで知らなかったお菓子や様々な材料と出会うことができる。そしてそれらの材料を使ってお菓子を作り、成功や失敗を繰り返すことでたくさんのお話を学ぶことができるし、面白く感じることもできる。お菓子作りには、多くの人がまだ気づくことができる。お菓子作りには、多くの人がまだ

〈寸評〉

担当教員・河野 敏宏

今年度の教養セミナーⅡでは三種類の文章執筆練習をした。ひとつは春学期に実施した「自画像」の執筆練習であり、あとふたつは、秋学期に実施した「推薦したいもの」「少子化対策」に賛成か反対かというテーマによる執筆練習である。堀部君の文章はこれらのうちの「推薦したいもの」というテーマによる文章であり、説得力のある文章を書く練習をするものであった。堀部君は「お菓子作り」の魅力について述べている。お菓子

は、生存に必要な栄養を摂取するための一般的な料理ではないため、ともすれば料理の「脇役」として位置づけられることが多いようであるが、これほどまでに厳格な過程を経て作られている、独立した世界をもつ食品であるとは知らなかった。堀部君は、その厳格な製作過程を非常にわかりやすく的確に説明するとともに、その厳格さにこそ「楽しみ」があると主張している。特に、文章の後半では、「お菓子作りは〇点か一〇〇点か（失敗か成功か）の二つしかない」ということを述べており、その中間段階のできあがりかたもある一般的な料理の作り方との根本的な相違点を指摘している。この指摘は、お菓子作りの本質を見抜いていて秀逸である。自分自身のお菓子作りの経験をもとにした、豊富な実例をあげた文章には強い説得力があり、このテーマによる文章練習の目的を十分に達成している。堀部君には、今後も、このような本質を見抜く力を養い、さまざまな事象を分析しについてほしい。

推薦したいもの

早野 康生

(商学科一年)

私は音楽を推薦したい。

音楽とは言わずもがな誰もが生まれた時から耳にしてきたものである。街に出れば広告のBGMとして、スーパーに入れば店内放送として、いつも流れている。そしてほとんどの人に、自分のお気に入りの曲があり、お気に入りのミュージシャンがいる。しかし多くの人は音楽を聞き流してしまっていると私は感じる。私の周りの友人にも音楽好きが多くいるが、彼らの多くはカラオケで歌いやすいという理由や、テンポがいいという理由などで音楽を聞いている。彼らに今の音楽の聴き方で満足かと尋ねてみると「たかが音楽だから、それ以上でも以下でもない」というような回答が来る。

しかし、音楽には多くの人が気づいていない魅力が明確にあると私は考えている。それは、共感することである。ほとんどのアーティストは自身の感性を曲という形で世の中に出している。私は、私たち聞き手がそれに共感していることこそが音楽の魅力だと考えているのだ。ただ、共感といっても方法は様々である。

私が一番よく体感している共感とは風景や季節を楽しむ聴き方である。私は四季や一日の時間帯ごとに聞く音楽のプレイリストを変えている。例えば夕暮れ時の三〇分間だけ聞くためのプレイリストや、夏で気温が三〇度を超えたときにだけ聞くプレイリストなど様々ある。このリストによって、音楽を、そのアーティストがイメージした情景を体感しながら聞くことができ、一度聞くだけで音楽と風景の二つを楽しめるという素晴らしさを持っている。

そしてもう一つ私が体感している楽しみ方がある。それは記憶を思い出すという聞き方である。人生の大切な節目で流れていた曲や旅行先で聞いていた曲など、生きてきた中で印象深いシーンなどに音楽が関係してくることが多くある。これは誰しもが体験しているのではないだろうか。例えば卒業式で流れていた「3月9日」があげられる。この曲は本来卒業式ではなく結婚式のために作られたそうだが、これが新たな門出を祝う歌として多くの人から共感され、卒業式でも使われるようになった。このように誰もが思いがけないところでアーティストが曲に込めた思いを様々な形で体感しているのである。

私は、このように、自分なりの共感の方法を見つけると音楽を楽しめると考えている。つまり、音楽の本当の面白さは、ただ聞き流すことではなく、共感することにあるのだ。多くの人がこれに気付いていないのはとても残念である。

ところで、多くの人はどうして音楽の共感するという魅力に気付かないのであるのか。それは、冒頭で述べたように、単に音楽を聴き流しているからだと考えている。誰も幼少期から音楽に触れてきたと思うが、時代や技術が進んでいくにつれて、音楽がより身近な存在になりすぎてしまった。例えば現代の社会ではスマートフォンや街中の広告などによって音楽と触れ合う機会があまりにも増えすぎてしまっており、その結果、音楽が社会にあふれてしまった。その影響により、聞き流す癖がついてしまったのではないかと私は考えている。この癖がつくことによって、多くの人たちは、私の考える音楽の楽しみ方の半分以下しか体験できなくなっている。自分で音楽を楽しむ道を閉ざしてしまい、受動的に音楽を聞いてしまうのはもったいないことである。

では、どうして私は音楽に共感することの魅力に気付いたのであるのか。それは、幼少期から常に音楽を聴く環境があり、楽しい音楽の聴き方を知ったからである。私の家族はみな音楽好きで、特に兄とは音楽の趣味がよく合っていた。私は、その兄から音楽の聴き方について教えてもらっていた。その中の一つが、前述した四季や一日の時間帯ごとに聞くプレイリストを変えることである。このように私は兄から様々なことを教わり、それがきっかけとなり、音楽に共感する魅力にのめりこんでいったのだ。

私が考える音楽の本当の魅力は共感することであり、そ

の面白さを理解するには、アーティストが自身の感性を込めた曲の意図を私たち聞き手が読み解く必要がある。音楽を楽しむことの本質は、私たち聞き手がその音楽をいかに解釈し、その内容にどのように共感するか、である。一つの曲でも人によって共感するものはさまざまである。従って、自分自身で音楽を解釈し、自分なりの共感の道を開拓していくことが音楽の面白さとなるであろう。

〈寸評〉

担当教員・河野 敏宏

早野君の文章も「推薦したいもの」というテーマによる文章である。早野君は「音楽」の魅力について述べている。音楽の魅力は人によって様々であるが、早野君は「共感」という点に着目している。当然のことながら、すべての音楽にはその作者の思いが込められている。早野君は、その作者の思いに共感することが音楽の極めて重要な魅力の一つである、と主張している。そして、その共感を楽しむための工夫として、自分なりの「プレイリスト」を作成して音楽に盛り込まれている風景や季節を実際に体感することと結び付けたり、音楽と自分の記憶とを結び付けたりすることを紹介しており、この共感をさらに高めるための手立てが説得力を持って提示されている。早野君のいうとおり、最近では、あまりにも多くの音楽が溢れていることによって、かえって人々は音楽に共感することが少なくなっているのかもしれない。

早野君の、自分自身の音楽に関わる経験をもとにした文章には強い説得力があり、このテーマによる文章練習の目的を十分に達成している。早野君には、今後も、このような身近な経験の中に隠れている本質を見抜き、より豊かな生き方をめざしてほしい。

「ビブリオバトル」の感想

後藤 珠心

(商学科一年)

一、はじめに

教養セミナーIIでは「ビブリオバトル」を行った。本レポートでは、ビブリオバトルについて論じる。

二、ビブリオバトル

ビブリオバトルとは本を紹介するプレゼンテーションゲームである。

谷口忠大氏は、『ビブリオバトル』でビブリオバトルには、

- 1、「参加者で本の内容を共有できる」(書籍情報共有機能)
 - 2、「スピーチの訓練になる」(スピーチ能力向上機能)
 - 3、「いい本が見つかる」(良書探索機能)
 - 4、「お互いの理解が深まる」(コミュニティ開発機能)^①
- の四つの機能があると述べている。

三、私が選んだ本について

「ビブリオバトル」では井上夢人さんの『魔法使いの弟

子たち』を紹介した。

『魔法使いの弟子たち』は、二〇一三年に刊行されたミステリーサスペンス小説である著者の井上夢人さんの作品は独特な世界観と設定に引き込まれるのが特徴である。私が『魔法使いの弟子たち』に出会ったのは、新型コロナウイルス感染症が世界で大流行していた高校生の時である。読む本を探していたところ、ウイルスが出てくる面白い本があると父から勧められた。『魔法使いの弟子たち』というタイトルとウイルスがどう関係してくるのが気になる、この本を読むことにした。

『魔法使いの弟子たち』のあらすじは、以下の通りである。

山梨県内で発生した致死率百パーセント近い新興感染症。週刊誌記者の仲屋京介は取材中に感染してしまう。感染者は四〇〇名近くに膨れ上がってしまう。感染者は四〇〇名近くに膨れ上がり、死者も続出。結果、^②「竜脳炎」感染者で、意識が戻ったのは京介を含めた三名だけだった。隔離生活を続けるうち、三人は不思議な「後遺症」を身に付けていることに気づく。

ファンタジーな世界観を想像させるタイトルだが、実際のストーリーはタイトルから得る印象とは異なっており、また、井上夢人さんのSF、ミステリー、アクションを取り入れた独特な世界観が面白く、最後まで飽きずに読める

ことを紹介したいと思つてこの本を選んだ。

発表する内容を考えるときに、聞いている人が飽きないように気を付けた点は、二つである。

一つ目は、ポイントを二つ挙げておすめの理由を紹介したことである。この構成にすることで本の良さが伝わりやすくなると考えたからである。

二つ目は、読みやすさのアピールをしたことである。『魔法使いの弟子たち』は上下巻ある長編小説であるが、ストーリー展開が面白く最後まで飽きないこと。また、ウイルスの話で新型コロナウイルス感染症が流行った時に体験したこと、似たような世界が描かれていたため、実際に体験したことと比べながら読み進めることができるという話を話した。長編だから読むのが大変そうというイメージをなくすために、読みやすさをアピールした。

四、おわりに

発表する前はビブリオバトルに四つの機能があるということとは知らなかった。ビブリオバトルを実際に行つてみて、本の魅力やプレゼンの方法について学ぶことができた。普段人前で発表することがないので発表の時は緊張した。しかし、自分で発表する内容を一から決めて行うことでスピーチの訓練になつたと思う。五分間のなかで本の魅力をどのようしたら伝わるのか考えるのが難しかった。

ほかの人のプレゼンを聞いて、大学生の今だから読むべ

き本やプレゼンの発表技術など参考になる点もあった。今回のビブリオバトルで紹介された本は読んだことがないものが多かった。自分では手に取らないようなジャンルの紹介もあり、読んでみたいと思えるいい本も見つけることができた。就活などの情報を、小説を通して知ることができることが分かり、改めて本を読むことで得られる知識はたくさんあると感じた。空き時間を利用して、今回気になつた本を読もうと思う。

引用資料

- ①谷口忠大『ビブリオバトル』文春新書・二〇一三年 九五―九七頁
- ②井上夢人『魔法使いの弟子たち』講談社文庫・二〇一三年 裏表紙

〈寸評〉

担当教員…菅原 研州

今年度の教養セミナーⅡは、ビブリオバトルを行いながら、受講者全体の読書習慣の確立、あるいは、読書量の増加を目指した。

後藤珠心さんは、読書は行う方の受講者であった。今回は井上夢人さんの『魔法使いの弟子たち』（講談社文庫・二〇一三年）を選び、その魅力などを発表してくれた。当日の発表は非常に巧みであり、特に同書の内容が新型コロナウイルス感染症のパンデミックと同じような事態が描かれていることを指摘しつつ、最後に実際のパ

ンデミックよりも前に書かれたことを強調した。

後藤さんは、本書をただ読んだわけではなく、自分の経験を客観化するように努めていたが、その内容は同じくパンデミックを経験した他の受講者にも響いたと思われる。

なお、本書の選定基準や、事前の準備などを書いたレポートからは、緻密に用意した様子が理解出来、更には他の受講者の発表からも大きな影響を受けた様子が見えた。人前で発表する経験は多くなく、実際に当日も緊張していたように思うが、しっかりと発表していたのは、事前の準備が熱心に行われたためであろう。

後藤さんには今回の経験を活かし、更に大学での学びに力を入れて欲しいと願う。

『ファウスト』(第一部・第二部)

を読んで

大野 真穂

(心理学科一年)

『ファウスト』には多くの魅力的な人物が登場するが、私はメフィストフェレスに興味を抱いた。

第一部、第二部を通して読んだときに、私はメフィストに対して、恐怖や不気味さを感じた。その理由としては、彼の行動の根底にある考えが見えないこと、彼の行動に一貫性が見られなかったことが挙げられる。

『ファウスト』に登場するメフィスト以外の登場人物の行動には一貫性があるように思われる。例えば、ファウストには第一部、第二部の行動の根幹に共通する点があった。それは、どのようなときも自身の興味のあることを追求し、生じた欲求を叶えようと行動する姿勢である。第一部では、ファウストは世界の根源の力を知るために、あらゆる学問を修めていた。メフィストとは、生きている喜びを知るために契約を交わした。マルガレーテを知ってから、彼女との恋を育み続けた。第二部では、ヘレナに恋い焦がれた。現実に戻ってきたファウストは、皇帝軍と反乱軍の戦いを見たのち、「自由な社会」を望むようになる。

そして、その実現のためにファウストは大事業を計画し、実行する。ファウストの持つ価値観や彼が重要視する対象は時と場合によって異なったが、その差異や変化は人間が生きている以上、当然生じることであると思う。そのような小さな差はあったが、自身の興味を追求し、欲求を叶えようとする彼の姿勢がぶれることはなかった。

一方で、メフィストには行動に一貫性がない。第一部では、主に言われ、約束したという理由はあるものの、人間にさほど興味がないにもかかわらず、ファウストと行動を共にした。恋愛にうつつを抜かずファウストに呆れていたが、ファウストの恋が実るように手助けをした。第二部では、人間の愚かさに呆れながらも、皇帝に協力することを楽しんで。ファウストの手がける事業を自ら手伝っていたにもかかわらず、最終的にはファウストの意志に反したものを死霊に命じて作らせた。

ファウストの考えに否定的な意見を述べたかと思えば、ファウストに協力する姿勢を見せる。人間の愚かさに呆れ、小馬鹿にしたかと思えば、人間と行動することを楽しむ。メフィスト自身が神であるかのように状況を俯瞰していたかと思えば、主観的な立場から物事を捉え行動する。『ファウスト』の全編を通して、このようにメフィストには一貫性がなく、矛盾した行動が多く見られる。

私は、メフィストの行動に見られるこの一貫性のなさは、メフィストが悪魔という存在であるがゆえに生じてい

るものであると思っていた。メフィストの行動に矛盾を生じさせることで、人間を超越する存在の特異性をゲーテが表現していると考えたからだ。実際に、ゲーテはそうした意図を持って『ファウスト』を執筆したかもしれない。しかし、私は講義中に示された、メフィストが「人間の本質の一部」である、という考えがより腑に落ちた。

『ファウスト』を読んで、私は人間について次のように考えた。正しい行いをすることもあれば、間違いを犯すこともある。綺麗な部分もあれば、汚い部分もある。賢さも、愚かさも持つ。生きていくなかで、意志や価値観、行動理念は変化していくものである。そして、変化していくなかで、矛盾や相反する感情が生じる。

人間のこうした様々な姿には、共通する点がある。それは、人間は常に大なり小なり矛盾を抱えて生きているということだ。私は、この点こそ、「人間の本質」と言えるのではないかと考える。したがって、メフィストに見られる一貫性のなさも、まさに「人間の本質」といえるのではないだろうか。

以上のように考え、私はメフィストが「人間の本質の一部」である、という考えに納得した。メフィストの持つ興味も、感情も、狂気も、純粹さも最初から最後まで一貫していかなかったのは、メフィストが悪魔であると同時に「人間の本質」を備えているからだだったのだ。

メフィストの根幹にある、人間ではない悪魔という生き

物でありながら、「人間の本质」を表現しているという歪な対比。一貫して人間らしいファウストの行動と、不気味ささえ感じさせるメフィストの行動との対比。それらの対比を受けて、人間らしいファウストと並ぶと、人間味を感じない部分が際立つメフィストだが、実際にはメフィストこそが「人間の本质の一部」であるという事実。この事実からは、歪であり、皮肉のような面白さが感じられた。

一貫性のなさや矛盾、歪さという「人間の本质」こそがメフィストを魅力的な登場人物に仕立て上げている。だからこそ、私は『ファウスト』を読んで、メフィストに最も興味を抱いたのだ。

〈テキスト〉

ヨハン・ヴォルフガング・ゲーテ『ファウスト』（第一部、第二期）、池内紀訳、集英社文庫、二〇〇四年

〈寸評〉

担当教員・糸井川 修

この授業では一年をかけてドイツの文豪ゲーテの戯曲『ファウスト』を読んでいます（春学期は第一部、秋学期は第二部）。そして学生の皆さんは、毎回その日に読み進めた分の感想を提出し、学期末にそれをまとめたレポートを提出します。

大野さんは、毎回短い時間の中で、自分の伝えたい内容をうまくまとめ、読みやすくて、きれいな文章の感想

を提出してくれました。『ファウスト』の中では、多くの読者が心を惹かれるメフィストフェレスに興味を抱いたようです。メフィストについては、作品の至る所で、彼の人間観察力や機知の利いた言葉にハッとさせられ、思わず頷かされたりもします。それらはすべて、作家としてだけでなく、政治家としても多くの人間と苦楽を共にし、人間を探索し続けたゲーテの経験に基づくものです。「善人にも悪人にも必要で、善人には禁欲の剣、悪人には愚行の道づれ」（第二部、一四九頁）と語られる悪魔メフィストは、まさに経験豊かなゲーテが捉えた人間の本质の一部といえるでしょう。大野さんがメフィストの行動に一貫性のなさを見出したこと、そして、それについて考え、導き出した答えが分かりやすく書かれていると思います。

『ファウスト』(第一部・第二部)

を読んで

藤 枝 奈南子

(心理学科一年)

春学期から引き続き読んできた『ファウスト』。私が最も印象に残った場面は、物語終盤、年老いたファウストが長年メフィストフェレス(悪魔)の力の恩恵を受けて作り上げたものに対し、不安と満たされない心から生じた空虚さを感じる場面である。

第一部は、自身の研究室で自ら毒を服用し、自殺を図ろうとしたファウストと彼の前に表れた悪魔との契約から始まった。その後、ファウストの青年期の恋愛模様などが描かれ、彼の人生を豊かで生き生きと過ごす姿が見受けられる場面が多くあった。しかし、第二部では対照的に、老いに向かつて突き進む彼の体の衰えや、死期が近づいている自身の半生を振り返る独白など、人生の後半部分の人間としての苦悩が描かれていた。

私は、『ファウスト』という文学作品を通してゲーテが描きたかったのは、人間の本质ではないかと考える。例えば、第一部でファウストと町娘マルグレーテとの恋愛模様を描かれる際には、さっさと恋愛が成就してほしいと考える

メフィストの思惑が介入しているものの、割とトントン拍子にことが進み、青年期の焦りやワクワクドキドキ感が散りばめられていた。一方、第二部では、過去の場面が回想として現れたり、直接的に書かれているわけではないが、文章から時がゆっくり経過しているかのように感じられた。

ファウストと比べれば、私の人生はまだ浅い。だが、自分の過去を振り返ったとき、自身の誇ってきた功績が誰かの力によって出来上がったものであり、自分の力で得たものでなかったと気づかされたら、私は絶望するだろう。自分の人生を主役として生きられなかったことを、悔いてやまないだろうとも想像できる。

ファウストは、自分を満足させられたら、死んだあとの魂を悪魔メフィストに渡すという契約をしていたが、実際には生きている間の人生すらも悪魔に捧げていたのではないだろうか。それを象徴するのが、彼の最期の場面である。目が見えなくなったファウストは、工事の槌音を聞き、自分の願いであった干拓事業が完成して人々が幸せな生活を送る姿を想像する。そして、「時よ、とどまれ、おまえはじつに美しい」というあの約束の言葉を口にして倒れる。しかし、槌音が悪霊によって自身の墓が掘られている音であったのは皮肉極まりない。人生の楽しさは他者から与えられる場合もあるが、死ぬ間際、自分が自分を誇れるような人生を歩むことの大切さ、そして自分の人生を主

人公として生きることがいかに大変なことを、ゲートルは伝えたかったのではないだろうか。

ゲートルはまた、ファウストの視点からだけでなく、メフィストを通して私達に訴えかけているように思う。それは読者に一度好感度を持たせたのちに裏切る手法である。私が特にその印象を受けたのは、所々で垣間見えるメフィスト（悪魔）の人間らしさである。悪魔という悪いイメージで考えがちだが、メフィストはきれいな女性を前に口が上手くなったり、ときにはファウスト（人間）よりも謙虚なところがあったりと、読者はメフィストに対し妙に良い親近感を持たされてしまう。

だが、ラストで描かれるメフィストの悪魔っぷりは、読者の好感を裏切るものである。やはり悪魔は悪魔なのだ、期待した側が悪い、と読み手に思わせるように設計されたシナリオだ。もともと悪魔として登場しているにもかかわらず、悪魔であつても良い性格の持ち主かもしれないと読者に思わせ、その勝手に抱いた信頼感を突き崩しているのは、もしかしたら人間の本質の変わりにくさ、人間の奥深さの一面を示そうとしたのかも知れない。

私がファウスト第一部・第二部を通して学んだことは、自分の人生を生きることの大切さである。日本の現代社会には協調性や同調圧力といったものが強く存在し、自分の主体性を重んじ、自分の考えをはっきり主張することが難しいケースも多くなっているように思われる。人の目を気

にしていまい、ある意味、自分ではない他者に自分をゆだねてしまっているかのようだ。

私は、『ファウスト』から学んだゲートルの思考を取り入れ、自分の意思をしっかりと持ち、それを他者に主張できるように人間になりたいと思う。そして、もし自分の目の前にメフィストが現れたとしても、きっぱりと契約を断れる意志の強さを持つるように努力していきたい。

〈テキスト〉

ヨハン・ヴォルフガング・ゲートル『ファウスト』（第一部、第二部）、池内紀訳、集英社文庫、二〇〇四年

〈寸評〉

担当教員・糸井川 修

この授業では一年をかけてドイツの文豪ゲートルの戯曲『ファウスト』を読んでいます（春学期は第一部、秋学期は第二部）。そして学生の皆さんは、毎回その日に読み進めた分の感想を提出し、学期末にそれをまとめたレポートを提出します。

藤枝さんの感想はいつも提出用紙いっぱい書かれており、真剣に『ファウスト』と向き合おうとしている姿勢が感じられました。藤枝さんがレポートで注目したのは、作品の最後で高齢のファウストが忍び寄る「憂い」と向き合う場面です。ファウストは、自分には「憂い」のつけ入るような隙はないと強がりですが、結局彼は

「憂い」に息を吹きかけられ、目が見えなくなり、それは、悪魔の力を借りて欲望を満たしてきたファウス
トに、拭えない心の空虚さがあつたからであり、まさに
藤枝さんが指摘するように、自分の意志と力で「自分の
人生」を生きているという実感が欠けていたからだと思
います。藤枝さんの文章は、この「自分の人生を生き
る」ことの大切さを中心に据えて、うまくまとめられて
います。最後に書かれている「自分の意思をしっかりと
持ち、それを他者に主張できるような人間」を目指し、
自分を磨く、充実した学生時代を送られることを願って
います。

大学生と労働法

伊藤光希

(心理学科一年)

一、はじめに

大学生になって校則の制限がなくなり、時間にも余裕が
できたことでアルバイトをする人が周りに増えた。これに
より「アルバイトで新たな経験・交友関係ができる」とい
うポジティブな意見を聞く一方で、「アルバイトで疲れ
た」などのネガティブな意見を聞くことも多い。そのよう
なネガティブな意見を話す学生の中には、授業中に居眠り
をしてしまう、課題を提出しそびれるなどのような大学生
活に支障をきたしているような者も多い。

アルバイトによって生じるネガティブな側面の一部は
「ブラックバイト」によって引き起こされる。「ブラックバ
イト」は大内(大内二〇一五)の造語であるが、この単
語が登場した背景には三つの要因が挙げられ、一つ目は保
護者の収入源に伴う仕送り額の減少、二つ目は奨学金制度
の悪化、三つ目は非正規雇用による労働環境の変化とさ
れ、いずれも学生の負担が増える要因となっている。そこ
で、現在の大学生の労働環境の悪化を踏まえ、大学生アル
バイトが身を守るためには、労働法への意識や働き方の

知識を身につけることが必要だと感じた。このことは、今の環境や生活を充実させるだけでなく、将来社会で働く際に自分を守るために役に立つ知識を獲得することにもつながる。

本稿では、上記の事柄を実現させるために、「1、大学生がどれほど労働基準法に関する知識を持っているのか」、「2、労働に関する相談場所や方法について関心をもっているのか」を明らかにする調査を行うことにした。またこの調査を行うにあたって、「①大学生は労働者を守る法律について知識・関心がない」、「②大学生は相談場所や相談方法について関心がない」という仮説を立てた。調査方法は、愛知学院大学の一―四年生を対象に、一月一六日―三〇日の期間で Google Forms を用いて WEB 調査を行った。有効回収票数は一〇四名である。

二、調査結果

はじめに、「(i)現在アルバイトをしているか」という質問をしたところ、九割以上の学生にアルバイト経験があることが分かった。さらに、(i)の質問で「アルバイトをしている／していた」と答えた学生に「(ii)アルバイトをしていて不安や不満を感じたことがあるか」と質問をしたところ、約七割が不安や不満を感じたことがあると回答があった。

(ii)の質問を踏まえ、「(iii)具体的にどのような不安や不満

を感じたか」に対して回答を求めたところ、「突然シフトが変更された」、「採用時の約束と業務内容や時給などが違った」、「深夜料金・残業代・給料が支払われない」という回答が多く得られた(図1)。

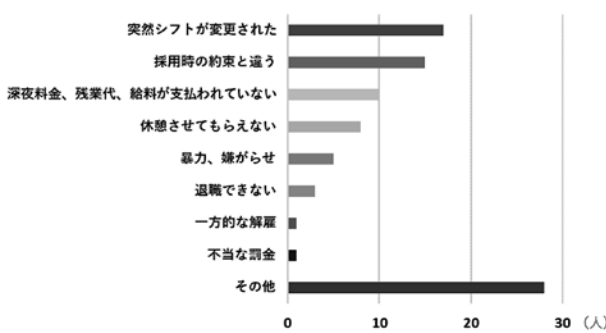


図1 アルバイトをしていて感じた不安や不満

「突然シフトが変更された」は労働契約法第八条に違反する立派な法律違反であり、労働日・労働時間を変更する

には労働者と使用者の間で合意が必要となっている。また、「採用時の約束と業務内容や時給などが違った」は労働基準法第三条で義務付けられている労働通知書の受け取りで採用時の約束を確認することができる。労働通知書は、労働基準法第十五条で明示が義務づけられているものの、「年大学生等に対するアルバイトに関する意識等調査」(厚生労働省二〇一五)によると約六〇%の人が渡さ

れていないことがわかってている。労働通知書は雇用期間や勤務地・業務内容・勤務時間・給料計算などが記載されており、知っておかないとシフトの相談や不満を持った際に不利になることがあるため、確認する必要がある重要な書類である。給料の内訳を確認できる給料明細を渡されていない大学生アルバイトが多いこともわかっており、給料明細の発行が行われないのは所得税法第二三一条に違反することになる。「深夜料金・残業代・給料が支払われない」については、先ほど説明した労働通知書・給料明細のほかにも、労働基準法第三七条に「使用者が、一日八時間または週四〇時間を超えて労働させた場合には、通常の賃金の二五%以上の割増賃金を支払わなければならない」と定められており、午後一〇時から翌日午前五時の深夜労働においても同じ規定が適用される。これらはすべて法律で決まっていることであり、違反がある場合には雇用主に不満として相談し、不当だと主張することができる。

以上のように、大学生アルバイトが抱えている不安や不満の多くは法律で適切に対処することが可能である。しかし、「(iv)不安や不満を解決する行動をとったか」という質問に対して、「いいえ」と回答した学生は約六割となっており、学生の多くが対処する行動をとれていないことが読みとれる。

また、(iv)の結果から、「(v)不安や不満を解決するような

行動をとらなかった理由」に対する回答を求めた。回答の上位には「面倒だった」・「解決されると思わなかった」・「相談するほどのことではない」が挙げられた(図2)。この回答からは、相談することに対して諦めるような消極的な姿勢が読み取れる。前述したとおり、不満の多くは法律違反を伴うものであり、このような不当な扱いを解決する法律が存在し、さらに相談場所もあるという知識があれば解決可能である。相談場所には労働組合、法律相談所などがあげられるが、学生に身近な場所としては、愛知学院大学の「愛学リーガル・クリニック無料法律相談所」がある。ここには簡単に大学公式アプリから検索して問い合わせることが可能であり、法律相談に対し堅苦しく面倒なイメージを持っていても、当相談所であれば身近で気軽

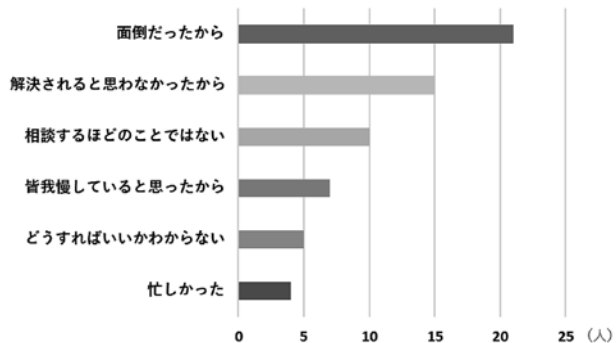


図2 不安や不満を解決する行動をとらなかった理由

に相談できるのではないかと考えられる。

さらに今回の調査では、「『はたらく』へのトビウ」(厚生労働省 二〇二二a)に記載されている「労働法クイズ A・B」を引用して労働法の理解度を測る選択問題(三問)にも回答を求めた。

一題目は「(vi)一日六時間以上働くと、何分の休憩時間が必要となるか」である。選択肢は「①忙しさによって変わる」、「②三〇分以上」、「③四五分以上」、「④わからない」とした。正解は労働基準法第三四条に定められている通り、「③四五分以上」となっている。回答は「③」が一番多いという結果になり、次いで「②三〇分以上」、「①忙しさによって変わる」という結果となった。しかし「③四五分以上」と回答した割合は約四割に過ぎず、多くの者が正しい知識を持ち合わせていないことがわかった。

二題目は「(vii)法律に定められている休日の日数」である。選択肢は「①一週間のうちに一回」、「②一週間のうちに二回」、「③四週間のうちに八回」、「④わからない」とした。正解は、労働基準法第三五条により定められている通り、一週間のうち少なくとも一回の休日を与えなくてはならない、となっており「①一週間のうちに一回」が正解である。調査結果では「②一週間のうちに二回」が一番多い結果となり、次いで「①一週間のうちに一回」、「④わからない」となっていた。「①一週間のうちに一回」への回答は約三割と少ないように感じるが、「②一週間のうちに二

回」と併せると合計して八割が一週間のうち一回は休みが必要と認識していることがわかった。この結果は、企業が採用の際に提示する週休二日制のような採用基準を法律で定められた休日日数と誤解していることから生じたと考えられる。一方で、約二割の人は休日の回数についてわからないと回答している。このことから、全員が休日の回数に関して正しい認識が持ち合わせているわけではないことがわかり、就活を控えた大学生にとって必要な休日日数を知らないこと、またはそれを自ら学ぼうとしていないことは問題と考えられる。

三題目は「(viii)給料日なお金がないという理由で給料の支払いを断られた際、どこに相談すればいいか」について回答を求めた。選択肢は「①警察署」、「②労働基準監督署」、「③ハローワーク」、「④わからない」とした。正解は、「②労働基準監督署」となっており、約八割の人が答えられているが、労働に関する基本的な知識として考えると八割の正答率は低い。

三、おわりに

本稿では、「①大学生は労働者を守る法律について知識・関心がない」、「②大学生は相談場所や相談方法について関心がない」という仮説を検証した。今回実施した調査で質問した項目はアルバイトをしている人なら知っていて当たり前と思われる知識であるが、答えられない人は想像

以上に多かった。調査結果からは、仮説①は、基本的な労働法に関する知識について答えられない大学生が多く、大学生は労働者を守る法律について関心がないことが支持されたといえる。一方で仮説②は支持されない。「不安や不満を解決する行動をとらなかつた理由」として「面倒だったから」が一番多く挙げられていることからわかるように、関心がないというよりは、大学生はそもそも行動することが面倒であり相談することに対して消極的な態度をみせる。しかし、知識や関心がないことで自信が持てず結果として「面倒」と答えている可能性もある。大学生は「アルバイト」として社会で働くようになった今こそ、関心をもって自ら知識をつけていく必要がある。

新しく知識をつけ学んでいくことは億劫なことではあるが、これから社会で働いていく際に必要な労働に関する知識をつけていかなければ、「知らない」で不利になる可能性が出てくる。そのような状況に巻き込まれないためにも、大学生のうちにアルバイトを通して社会や労働について学んでいく必要がある。例えば、厚生労働省は学生向けに労働法について学べるハンドブックを公開している（厚生労働省 二〇二二c）。さらには漫画で労働法をわかりやすく学べるものも公開されており、一つずつ自ら調べていかなくとも簡単に学ぶことができる（厚生労働省 二〇二二c）。知らなかつたことから搾取されるような悪い経験でなく、新しいスキルや知識を手に入れられるような

「いい経験」となるように大学生は労働に関する法律を学んでいく必要があると考えられる。

参考文献

- 大原裕和、二〇一五、「ブラックバイト問題について」『大原社会問題研究所雑誌』681:35-44（二〇二四年一月二十九日取得 <http://oisr-org.ws.hosei.ac.jp/images/oz/contents/681-04.pdf>）
- 厚生労働省、二〇一五、「大学生等に対するアルバイトに関する意識等調査結果について」、厚生労働省ホームページ（二〇二四年一月二十九日取得 <https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000103577.html>）
- 厚生労働省、二〇二二a、「はたらく」へのトピラ 第3章労働法クイズA・B」、厚生労働省ホームページ（二〇二四年一月二十九日取得 https://www.check-roundou.mhlw.go.jp/pdf/tobira_3_0.pdf）
- 厚生労働省、二〇二二b、「知って役立つ労働法 く働くときに必要な基礎知識」、厚生労働省ホームページ（二〇二四年一月三〇日取得 <https://www.mhlw.go.jp/content/001082828.pdf>）
- 厚生労働省、二〇二二c、「これってあり？くまんが知って役立つ労働法Q&A」、厚生労働省ホームページ（二〇二四年一月二十九日取得 www.mhlw.go.jp/content/12600000/001073010.pdf）

〈寸評〉

担当教員・松井 真一

本レポートは社会問題となつている「ブラックバイト」の課題のありかを探ろうとする意欲的なレポートで

ある。レポートでは、学生自身が身を守ることができるようになる、ということ念頭に労働法の観点から自衛策の知識や問題が生じた際の行動について調べている。ブラックバイト発生の背景を先行研究から丁寧に読み解きながら、現在の自分たちで調査できる範囲を見極めたいうえで問いを導出していく過程は「課題発見能力」を十分に発揮しており高く評価できる。労働法や相談場所の「知識」があるか否かが直接的に「関心」の有無に結びつけられてしまっている部分にやや分析の粗さは残るものの、今回の調査では設問数が限られていたことを考慮すればできる範囲の考察に真摯に取り組んでいる。結論部分では、調査結果の概要の他に労働法に関する著作が数点紹介されており、伊藤さんのこの課題への高い関心が窺い知れる。社会問題への関心の高さと鋭い視点は他の学生の模範となるものであり、今後も引き続き勉学に励み十分に能力を高めてくれることを期待している。

大学生の就職不安の特徴について

角田美柚

(心理学科一年)

一、はじめに

二〇一九年の一二月に中国の武漢市で第一例目のコロナウイルス感染者が発表された (THEPAGE 二〇二〇)。コロナウイルスの流行により、世界的に企業の売上が低下し、新規採用を控える企業が増加することで学生は就職難に陥った (株式会社マイナビ 二〇二二)。現在はコロナウイルス感染者数が再び増加しており愛知県などでは第一〇波に突入したと言われている (名古屋テレビ放送株式会社 二〇二四)。これらのことから、大学生の就職不安は増大していると思われる。さらに、個人的にも大学生になって就職について考える機会が増えた。以上のことから、本稿では就職不安を持つ大学生の特徴についてWEB調査を用いて明らかにする。

二、先行研究・仮説と調査方法

坂柳 (一九九六) は職業的不安の内容領域を自己理解不安、職業情報不安、経験欠如不安、相談欠如不安、選択決

定不安、職業適応不安の六つに分けたうえで、性別・学年別に職業的不安と大学進路指導への要望度との関連について検討している。この結果によれば、女子のほうが不安は大きく、学年では三年生の不安が最も大きいことが判明した。さらに、男子では、学年を通しての発達的变化のパターンが、自己理解不安、選択決定不安、職業的不安の三つの領域では、三年生をピークとした逆V字型を示していることが判明した。そして、職業的不安の六つの内容領域のなかでは、職業情報不安と選択決定不安の二つの不安が最も高いことが明らかにした。この理由について坂柳は、職業情報は職業選択の根幹の一つであるため、これが不足していると認知したときに不安を喚起させると考察している。さらには、この不安が選択決定不安にも大きな影響を及ぼしていると指摘している。

このように、先行研究では、六つの領域から大学生の職業的不安について明らかにされているが、総体としての職業不安の特徴については明らかにされていない。さらに、大学には様々な学部があり学びや進路が異なるはずであるが、学部による違いについても明らかにされていない。以上のことから本稿では、就職不安についての特徴の中でも、学年と学部による特徴について明らかにする。

学年については、三、四年生ほど就職活動を行っているため不安が高まると考えられる。学部については、本学の心理学部では三年生から公認心理士の資格を目指す「公認

心理士コース」が存在するなど進路と強く結びついた学部もあるため、学部によって就職不安の大きさが異なると考えられる。したがって、次の二つの仮説を立てた。

①「高学年であるほど就職不安が大きい」

②「学部によって就職不安の大きさが異なる」

調査は愛知学院大学の一―四年生を対象に、一月一日―三〇日の期間で Google Forms を用いて WEB 調査を行った。有効回収票数は一〇二票である。調査項目には就職不安度、学年、学部等が含まれる。

三、結果と考察

表1は性別、表2は学年別、表3は学部別の単純集計結果を示したものである。性別では男がやや多いこと、学年

表1 回答者の性別

性別	人数	(%)
男	55	53.9%
女	45	44.1%
その他	2	2.0%
計	102	100.0%

表2 回答者の学年

学年	人数	(%)
1年生	31	30.4%
2年生	30	29.4%
3年生	32	31.4%
4年生以上	9	8.8%
計	102	100.0%

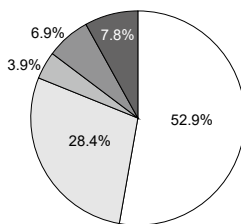
では四年生が少ないこと、学部では健康科学部が少ないことがわかる。図1は就職不安を五段階の尺度で尋ねた結果である。「とてもある」、「ややある」を合計すると八割を超えており、多くの学生が就職不安を抱えていることがわかる。

次に、図2と図3は就職不安を学年別、学部別に集計したものである。

図2からは、就職不安を感じている者（「とてもある」「ややある」の合計）の割合が、一年生は七七・四％、二年生は九〇％、三年生は八四・四％、四年生は五五・五％となっていることが読み取れる。どの学

表3 回答者の学部

学部	人数	(%)
心理学部	32	31.4%
総合政策学部	43	42.3%
健康科学部	2	1.86%
文学部	25	24.5%
計	102	100.0%



□とてもある □ややある □わからない ■あまりない ■全くない

図1 回答者の就職不安度

学年別 就職に対する不安

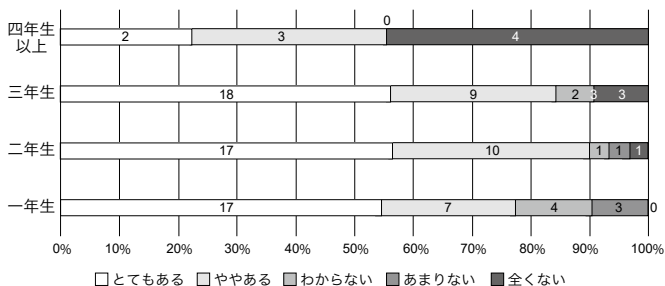


図2 学年別の就職不安度

学部別 就職に対する不安

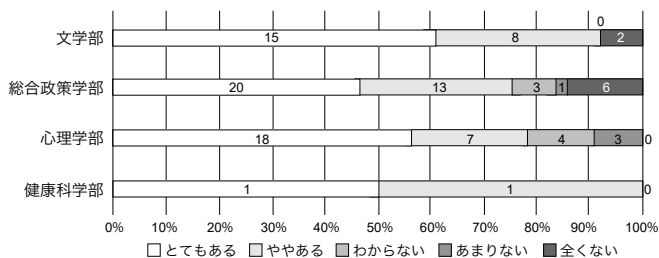


図3 学部別の就職不安度

年も五割を超えていること、学年が上がるほど「全くない」の割合が大きくなっていることが特徴的である。

図2のような結果になったのは、一、二年生は就職活動が遠い将来であるため漠然とした不安を抱えており、三年生はインターンや就職説明会を通して具体的な就職活動に接し自身に差し迫る問題と捉えているためと考えられる。また、リクルート(二〇二二)によれば、就職活動は大学三年生の六月から開始し、大学四年生の一〇月一日に内定式を行う企業も多くある。このため四年生は本調査を実施した一一月には既に就職活動を終えている者が多数含まれているため他の学年よりも「全くない」と答えた者の割合が大きいと考えられる。

図3からは、就職不安を感じている者の割合が、健康科学部は一〇〇%、心理学部は七八・二%、総合政策学部は七六・七%、文学部は九二%となり、どの学部も七割を超えていることがわかる。

学部による違いは認められたものの、心理学部で考えられたような就職と結びつく学部とそれ以外の学部の間にはつきりとした違いは認められなかった。このような結果になったのは、学部ごとの人数に偏りがあったためだと考えられる。例えば、総合政策学部は四三人が回答しているが、健康科学部の回答者は二人である。このように、学部によって人数にかなりのバラつきがみられた。したがって、本調査では学部ごとの人数の偏りが、学部間の違いを

説明する際に影響を及ぼしたと考えられる。

四、おわりに

本稿では、大学生の就職不安の特徴を明らかにするために、①「高学年であるほど就職不安が大きい」、②「学部によって、就職不安の大きさが異なる」の二つの仮説を検証した。仮説①では、全ての学年で不安を感じていることが判明した。よって、仮説①は支持されなかった。このような結果になったのは、一、二年生は漠然とした不安があるため、三年生は実際に就職活動を行っており差し迫った問題と捉えているため、四年生は就職活動自体を終了している学生も少なくないためだと考えた。

次に、仮説②も支持されなかった。調査結果では、学部ごとに不安の大きさが極端に異なることはなかった。このような結果になったのは、回答した学部の人数に大きな偏りがあったためだと考えた。

本調査では、どのような学生が就職に対して不安があるか、また、どのような学生は不安がないのかを明確に明らかにすることができなかった。このよう結果になった一因は、対象となる学生の大学の偏差値を考慮しなかったためだと考える。日本は学力社会である。採用に関してターゲット大学を設定している日本の企業は約四〇%であり、また、学歴フィルターを実感する就活生は約六〇%とも言われている(株式会社就活キャリア 二〇二三)。した

がって、今回の調査よりも偏差値が低い大学では学生は就職に対して不安を持ちやすいのではだろうか。この仮定が妥当であるか否かは本調査では明らかではないため、今後は対象となる学生の大学の偏差値を含めて調査をしていく必要がある。

参考・引用文献一覧

- 株式会社就活キャリア、二〇二二、「日本は学歴社会？ 現状のデータで見る就活と学歴の関係性、対策方法を解説」、リクナビキャリアホームページ
(二〇二四年一月二九日取得 <https://www.shukatsu-career.co.jp/blog/syukatsu/meritocracy/>)
- 株式会社ドリームキャリア、二〇二二、「コロナウイルス 就活への影響」、理系ナビ就活ガイド
(二〇二四年一月二九日取得 https://rikeinavi.com/guide/practice_coronavirus/)
- 株式会社リクルート、二〇二二、「いつ、何をやる？ 就活の流れを解説！」、リクナビ就活準備ガイドホームページ
(二〇二四年一月二九日取得 <https://job.rikunabi.com/contents/howto/10144/>)
- 坂柳恒夫、一九九六、「大学生の職業的不安に関する研究」、『広島大学大学院教育研究センター 大学論集』第二五集：二〇七―二二七頁
- 名古屋テレビ放送株式会社、二〇二四、「愛知県大村知事『第10波に入った』と独自宣言 新型コロナウイルスの感染者が愛知で全国平均の2倍近くに」、メーテレホームページ
(二〇二四年一月一六日取得 <https://www.nagoyatv.com/>)

news/2id=022529/」
LINEヤフー株式会社、二〇二〇、「新型コロナウイルス」
「これまで起きたこと」時系列で振り返る」Yahoo! ニュース The
PAGE ホームページ
(二〇二四年一月二九日取得 <https://news.yahoo.co.jp/articles/e771c91302c1758d3c6123788119c60130125452/>)

〈寸評〉

担当教員：松井 真一

本レポートは自らの関心を大学生全体が抱える課題にまで昇華し、大学生活の向上に資する研究となるよう取り組んだ意欲的なレポートである。先行研究を丁寧に読み込みその知見を抑えながら自らの仮説を導出した点は、基本的なことながら地道な取り組みに裏打ちされるものであり、高く評価できる。また結果の提示と解釈、そして当該の結果が導き出された理由についての考察も妥当であり、他の学生の模範となるレポートである。調査に基づいたレポート執筆の基礎部分については適切に修得しているため、今後は統計学的知識も含めて考察ができるよう引き続き勉学に励むことを期待している。

大叔父への聞き書き

西岡 奏太

(経済学部一年)

インフォーマント…Aさん(一九四八年愛知県江南市生まれ、愛知県犬山市在住、大叔父)

大叔父の幼少期

私は大東亜戦争の直後に生まれました。そのころはみんな生きるのに必死でした。父親は名古屋鉄道¹で働いていて、母親はミシンで内職をしていました。生きるのに必死だったので、子供たちはほったらかしでした。うちに帰る前に、みんなで近くの神社に集まって、ランドセルを置いて遊びに行きました。今とは違って親も怒らなかつたし、習い事や塾に行く子供はいませんでした。自分本位の遊びをしていたと思います。今思い返すと、楽しかったです。

一番印象に残っていることは、川で魚取りをしているときの、他校の子供との喧嘩です。今では考えられないけど、理由はなかつたのにつかみ合いをして、暗くなると自然と終わって帰りました。野性的だった小学生時代でした。桃やスイカをこっそり食べたつもりでしたが、今と違って大人も寛大だったと思います。大人に叱られたことも少

なかつたです。

小学生時代に自分に影響を与えた出来事

小学生四年生の時の出来事です。その当時、音楽の授業というのは女の子がやるものだと思っていました。音楽の授業のときには、担任の先生のほかに女の音楽の先生がきていて、男の子たちはこっそりと授業を抜け出して裏山へ遊びに行ったりして、私は音楽には興味がなかつたです。ある日、音楽の先生が休んだ時、男の担任の先生が代わりにきて、いきなりピアノを演奏してくれました。私たちはびっくりしました。男の先生がピアノを弾くなんて考えなかつたからです。その次に、クラリネットを取り出して、私たちが好きだった漫画の「赤胴鈴之助²」の主題曲を吹いてくれました。私はその時感動して音楽にすごく興味を持ちました。一人目の恩師です。

四、五、六年生と過ごしてきて、私はふと吹奏楽をやりたいと思いました。ところが近くの中学校には吹奏楽部がありませんでした。でも、少し離れた私立中学校なら吹奏楽部があることを知りました。私はその私立中学校に行きたくなりましたが、すぐにいけませんでした。入学試験があつたからです。一二月の終わりごろから約三か月必死に勉強して合格しました。

私立中学校、高校での生活

中学校、高校では吹奏楽部で楽器を演奏するのに夢中でした。私にとって音楽は勉強以上に大切なものでした。六年間演奏して、高校三年生になり受験生になっても部活動を続けていました。大学入試の一〇日前になっても演奏をしていると、後輩に「もう来ないでください。勉強してください。」と言われました。もちろん部活動が終わってからは勉強していましたが、それからは勉強に専念しました。

キャリアの始まり、きつかけ

最初私は音楽の教員になりたいと思っていました。しかし、ピアノが弾けなかったので諦めました。中学二年生のときにある先生に出会い、英語が好きになり、学年で五番以内に入るぐらいの点数を取るほどに勉強しました。その先生は二人目の恩師だと思います。ほかの教科ではだめでしたが、英語は常に成績は良かったです。それが英語の教員になるうとしたきつかけです。

大学では英語をずっとやってきました。就職の際に公立の教員、私立の教員、会社員になるという選択肢を持っていました。公立の教員は転勤などがあり、ずっと吹奏楽がやれる保証がないので、私立の学校の教員を希望していました。でも、学校の求人ではなかったため、大学四年生のときに一般の企業の入社試験を受けました。結果は合格でし

た。そこに入社するつもりでした。しかしその直後、僕に英語を教えてくれていた吹奏楽部の顧問が亡くなってしまいました。その先生も恩師だと思います。

教頭先生から電話で呼ばれて、英語の教員にならないかと言われました。しばらくは講師として学校に行っていました。会社を断って正式に教員になりました。それがキャリアの始まりです。

働いていたときに大事にしていた考え方

教師という言葉を使わないようにしていました。「師」という言葉が自分にあてはまるのはまだ若かったので、できるだけ教員という言葉を使っていました。もう一つは、英語は「教える」、人生の経験などのことは「話す」ようにしていました。

僕は実体験するということを何よりも大切にしています。生徒たちには、実体験することを大切にしてほしいと思っています。そして授業のなかでは、生徒たちに怒るのではなく笑わせるようにしていました。雑談をする、集中してくれると気が付きました。その三つの考え方を私は大切にしていました。

心に残ったエピソード

私は教えることよりも生徒に教えられたことが多かったと思います。たとえば、私の働いていた学校では、欠点

(赤点) というものがあって毎年五人ぐらいが留年しました。

高校三年生を持った時、英語が全然できない女の子がいました。最後のテストでは、ほとんど白紙で「この子は欠点かな」と思っていたのだが、答案用紙の裏を見てみると料理のレシピがびっしりと書いてあったので、追試にて合格にしました。私は本当に感動しました。人間生きていくには英語だけではないと思って、点数をあげました。他に秀でたものもあるのに、留年させるべきではないと思いません。

二人目は遠くからきている男の子がいました。その子には事情があり、出席日数が足りなかったのですが、なんとか卒業させてやりたいと思い、校長先生、教頭と協議し、三月の二三日まで出席させました。校長先生や私などの七人で卒業式をしました。本当に感動しました。初めての経験であったので、教員をやめる覚悟もあつたのですが、一人だけの卒業式はとても感動しました。

そういった生徒たちは印象に残っています。いまだに連絡を取る生徒もいますが、いい経験をさせてもらったと思います。教員は生徒に教えられているのです。

苦勞したこと

苦勞と思つたことはあまりなかったです。偉そうな考えかもしれないですが、人にできて自分ではできないことはな

いと思うようにしていました。先生によっては、学校にこれられなくなる人はいましたが、私は樂觀的な性格だったなと今振り返って思います。

働いていた最後の五年間は学校の運営をしていました。大変そうだといわれたことはありましたが、私にとっては運営の経験は人生でとてもいい経験になりました。

アドバイス

実体験を大切にすることと修羅場を潜り抜けることです。奏太(取材者)はまだ若いからいろんなことができると思います。いろんな体験をして修羅場を抜けることで人生をより良いものにしてください。

聞き書きを終えて

「学んだこと、気づき」課題をこなす際に、話す、質問する、まとめる、この三つをしつかりできるように今回意識した。対話形式にしようか迷つたが、読みやすさわかりやすいようにするために今回はまとめる形式にした。学んだことは、対話形式だと聞く側はより分かりやすい質問にしないといけないことだ。誰にとつてもわかりやすい質問をすることは難しいことを学んだ。気づきは、聞き書きはインフォーマントとのコミュニケーションだと考えると、聞きやすくなったと感じた。

「苦勞した点」インフォーマントの大叔父が伝えようと

したことを、意図したことをうまくまとめるのはとても大変だった。そして、話している内容に矛盾点がないように埋めていくのはすこし時間がかった。

「反省点」反省点は三点ある。一点目は、聞き書きの際の時間配分である。聞き書きは約一時間三〇分行ったが、聞き書きの中盤から少し長くなってしまい、予定していた質問を一つ飛ばすことになってしまった。章ごとに時間を決めておくとよいと思った。二点目は、インフォーマントの幼少期などの時代背景の予備知識の準備不足である。習い事に行く子があまりいなかったことや川遊びをしていたことについては知らなかった。事前にインフォーマントに確認することや、文献やインターネットで昔の写真を少しでも情報収集しておく、より円滑に聞き書きができたことと振り返って思った。三点目は、学校の事務局のことについて詳しく聞けなかったことだ。インフォーマントは事務局での経験はなくてはならないものであったそうだが、今回は時間の関係やフォーカスを幼少期や学生時代に充てたかったので、聞けなかった。深掘して聞くとよりよいものになっただろう。

今回の聞き書きの課題が出たときに誰に話してもらおうかすごく悩んだ。大叔父にはしばしば私の大学での過ごし方や勉強のことを相談に乗ってもらい、人生で大切にしたいほうが良いことをよく話してくれている。今回初めてしっかりと大叔父とはどのような人なのかなどについて聞けた

のでとてもいい機会になった。春学期は情報を集める力やレジュメとはどうやって作るのかということを修得したが、秋学期の課題の聞き書きでは、まとめる力が身についたと思う。

注

- 1、名古屋鉄道・東海地方の愛知県・岐阜県を基盤とする鉄道会社である。通称、名鉄（めいてつ、Meitetsu）。日本の大手私鉄の一つで、民営鉄道としては日本で三番目の歴史を持つ老舗企業である
- 2、赤胴鈴之助…福井英一と武内つなよしによる日本の漫画作品、およびそれを原作とするラジオドラマ、映画、テレビドラマ、テレビアニメである。

参考文献

- ウイキペディア「名古屋鉄道」
<https://ja.wikipedia.org/wiki/名古屋鉄道>（閲覧二〇二四年一月一六日）
- ウイキペディア「赤胴鈴之助」
<https://ja.wikipedia.org/wiki/赤胴鈴之助>（閲覧二〇二四年一月一六日）

〈寸評〉

例年、担当の教養セミナーIIでは、「聞き書き」を実施している。聞き書きは、相手とコミュニケーションをとりながら情報を引き出す技術、わかりやすく相手に伝

担当教員…富田 啓介

わるように発表する技術、情報を整理してまとめる技術、そしてWordをはじめとするPCのソフトウェアを操作する技術などを総合的に学ぶためのよい手段となるからである。

西岡奏太さんのレポートは、以前から折に触れて相談に乗ってもらっていた、大叔父への取材内容をまとめたものである。大叔父はかつて学校の教員をしていたが、教職に就くきっかけとして、何人かの「恩師」と言える人物の存在があったという。西岡さんは、その一つひとつのエピソードを丁寧に聞き取っている。また、実際に教員として働いていた際の印象深い経験についても、簡潔ではあるが、その人となりや浮かび上がるように記述している。

人から聞いた内容を、うまく自分の中で消化して文章にすることはなかなか難しい。この点、西岡さんは第三者にもわかりやすくまとめている。この背景には、もちろん西岡さんの努力があるのだから、大叔父との信頼関係や、その中で教わった事柄も含まれているのだろうと感じた次第である。

食べないで肌に譲ってください

山田 菜々花

(心理学科三年)

※本レポートは、「駐名古屋大韓民国総領事杯 韓日スピーチコンテスト二〇二二年度 最優秀賞」を受賞した作文である。(文嬉眞記)

〈日本語訳〉

皆さんこんにちは。私は心理学を専攻している山田菜々花と言います。

少し急ですが、私を一度見てみてください。もしかして、私から「韓国っぽい」感じがしませんか。

私は最近韓国の美容に興味を持っています。だから前髪を韓国人のようにカットしてみたり、メイクも韓国 YouTuberを見て勉強をしたり、韓国化粧品を買ってみましたりもします。皆さんも道を歩く時、韓国人のように服を着ている人々を目にしませんか。なぜ最近の人々は韓国の美容を熱心に取り入れようとするのでしょうか？ 日本と韓

国の美容は何が違うのでしょうか。

私実際に韓国に関心を持つようになったのは、K-POPの影響でした。偶然 YouTube で韓国芸能人を見ていたら「食べないでお肌に譲ってください」という字幕を見ました。初めは、私は動画の字幕が間違っているのだと思いましたが、しかし、韓国人の友達に聞いてみると、字幕が間違っているのではなく、以前はそのような広告があったのだと教えてくれました。私は食べるのではなく、お肌に順位を譲るとい言葉が少し衝撃的でした。しかし、よく考えてみると、この言葉こそ韓国の美容を代表する言葉なのではないか、と感じました。

この言葉を知った頃、私は韓国語の単語を一生懸命覚えていて、韓国語と日本語はよく似ていると考えていました。例えば文法や単語、また発音が似ていることが多いです。しかし、同時に同じ漢字を使う単語でも、まったく異なる意味になる場合もあります。その中で特に「자기 관리」すなわち「自己管理」という言葉がそれに当たると思っています。

日本語での自己管理という言葉は、健康的な生活、または規則的な生活を目標にご飯をよく食べて、遅い時間に寝ずに早く起きるなどの生活することを意味します。しか

し、韓国で使用される自己管理の意味とは、規則的な生活を
するだけでなく、肌、体型などの外面的な部分を含むよ
うな意味で使われるそうです。例えば韓国では、肌にニキ
ビが出来たら、肌治療を受けに直ぐに皮膚科に行く人が多
いそうです。また、女性だけでなく男性も毎日運動をして
定期的にスキンケアを受けたり、美白、保湿などの「自己
管理」をしたりしているそうです。韓国では社会的な認識
においてこのような自己管理を全くおかしくないことだと考
えていないようです。

私は初め、韓国の言う「美容」が外見にだけ集中するよ
うな感じがありました。しかし実際の韓国人は、内面的な部
分も重要ですが、それに劣らず外面的な部分も重要だとい
う認識を持っていました。そのため、「食べないでお肌
譲ってください」という広告が作られたようです。私は外
面的な美しさも重要な価値であると思い、さらに自分を愛
して大切にする姿も重要で、そう考える韓国人の考え方を
素敵だと思いました。

初めて韓国語の勉強を始めたとき、言語の勉強は国語や
数学のような勉強だと思いました。言語を勉強すること
は、単に言葉を覚えて会話を交わすことで止まるのではな
く、新しい文化や考え方、人生に対する態度を学ぶ良い機
会になると思いました。今お話した自己管理と美容のよう
な面白いものを知るたびに、次は何を知る事ができるのだ
ろうかという期待が膨らみます。

以上になります、発表を聞いてくださりありがとうございました。

〈原文〉

먹지 말고 피부에 양보하세요

여러분 안녕하세요. 저는 대학교에서 심리학을 전공하
고 있는 야마나 나카라고 합니다.

잘 부탁드립니다.

조금 뜬금 없지만, 저를 한번 봐주세요. 혹시 저한테
서, 한국적인, 느낌이 있을까요? 저는 요즘 한국의 미
용에 대해 관심을 갖고 있습니다. 그래서 앞서리를 한국
사람처럼 잘라보기도 하고, 한국 유튜브를 보고 메이크
업 공부를 하고, 한국 화장품을 사기도 합니다. 여러분
도 길을 걸을 때 한국사람처럼 옷을 입고 있는 사람들이
눈에 보이시나요? 왜 요즘 일본사람들이 한국의 미용에
열광할까요? 일본과 한국의 미용은 무엇이 다를까요?

사실 저도 한국에 관심을 갖게 된 것은 K-POP이었
습니다.

우연히 유튜브에서 한국 예능을 보다가 “먹지 말고 피
부에 양보하세요” 라는 자막을 보게 되었습니다. 처음에
저는 영상 자막이 잘못된 줄 알았습니다. 하지만 한국인
친구에게 물어보니 자막이 잘못된 것이 아니고 예전에
그런 광고가 있었다고 알려주었습니다. 저는 먹지 말고

피부에 양보하라는 말이 조금 충격적이었습니다. 하지만 곰곰이 생각해보니 이 말이야말로 한국의 미용을 대표하는 말인 것 같다는 느낌이 들었습니다.

그때쯤 저는 한국어 단어를 열심히 외우고 있었는데, 한국어와 일본어는 비슷한 부분이 많았습니다. 특히 문법이나 단어 또는 발음이 비슷한 것이 많았습니다. 하지만 동시에 같은 한자를 사용하는 단어이지만, 전혀 다른 의미가 되는 경우도 있었습니다. 그중에서 저는 지코칸리(自己管理) 즉 “자기 관리”라는 말이 인상깊었습니다. 일본어에서 자기관리라는 말은 건강한 삶, 또는 규칙적인 삶을 목적으로 밥을 잘 챙겨 먹고 늦은 시간에 자지 않고 일찍 일어나는 등의 생활을 하는 것을 의미합니다. 하지만 한국에서 자기관리는 규칙적인 생활을 하는 것뿐만 아니라 피부, 체형과 같은 외적인 부분들을 포함하는 느낌으로도 사용됩니다. 예를 들어 한국에서는 피부에 여드름이 생기면 관리를 받으러 피부과에 가는 사람들이 많다고 합니다. 또 여성 뿐만 아니라 남성들도 매일 운동을 하고 정기적으로 피부 관리를 받거나 미백, 보습 등의 “자기 관리”를 한다고 합니다. 한국에서는 사회적인 인식에 있어 이런 자기 관리를 전혀 이상하게 생각하지 않습니다.

처음에 한국의 “미용”이 외모에만 집중하는 듯한 느낌이 있었습니다. 하지만 내면의 가치를 외면의 아름다움으로 표현할 수 있어서 외적인 부분도 중요하지만 그

에 못지 않게 내적인 부분도 중요하다는 인식을 갖고 있는 것 같습니다. 그래서 “먹지 말고 피부에 양보하세요”라는 광고가 나올 수 있었던 것 같습니다. 저는 외적인 아름다움도 중요한 가치이고, 자신을 사랑하고 아끼는 모습 또한 중요하며 그렇게 생각하는 한국사람들의 사고방식을 본받을 만하다고 생각했습니다.

처음 한국어 공부를 시작할 때 언어 공부는 국어와 수학 같은 공부인 줄 알았습니다. 언어를 공부하는 것이 단순히 단어를 외우고 대화를 나누는 것에서 멈추는 것이 아닌 새로운 문화와 사고 방식, 삶을 대하는 태도를 배우는 좋은 기회가 된다는 생각이 들었습니다. 저는 앞에서 이야기한 자기관리와 미용, 같은 재미있는 것들을 알게 될 때마다 다음에는 무엇을 알게 될지 기대가 됩니다. 지금까지 발표를 들어주셔서 감사합니다.

令和五年度 教養セミナー・テーマ一覧

教養セミナーⅠ・Ⅱ

文学部

教員名	テーマ
浅原 正和	本を起点に知識の源流を探る旅に出よう
池田 健	科学を楽しもう
岩佐 宣明	論理トレーニング—ものごとを正確に表現する力を身につけよう—
遠藤 哲也	自分で物事を考えられる、自立した大人になろう
大松 久規	90分で「今」を読む
河合 泰弘	趣味から始める学問入門
H・メイロン	Active Reading
境田 雅章	サッカーを通してスポーツの社会を考える
杉浦 克哉	昔の英字新聞を読む
塚本 早織	多様性について考えよう—「違い」の視点からみた自分と社会—
富田 啓介	身近な自然環境を考える
野田 大志	適切で効果的な日本語コミュニケーションを目指そう! ハリウッド映画と音楽で1960年代の文化を紹介する
R・L・ライプスタイン	アメリカのニュースやヒットソングを通して広い視野を身につけよう
藤田 淳志	異文化・自国文化を考えよう!
文 嬉真	

山下 あや	ディズニーの映画を深く考えよう
山下 秀康	プログラミング入門
山口 拓史	学び続けるチカラ

経営学部

教員名	テーマ
有馬 義康	目指せ! プレゼンの達人!!
糸井川 修	「ファウスト」を読む
勝股 高志	現代中国を知る
北村伊都子	生活習慣と健康について考えよう
朱 新建	歴史は鑑である
城 貞晴	四季の星空さんぽ
菅原 研州	ビブリオバトルを通して読書を好きになろう!
清 忠師	暮らしの中の科学
高田 正義	コミュニケーション能力を鍛えて、夢をつかもう!
南 裕明	数学の営み
山名 賢治	I、伝わる文章の書き方 II、問題解決力を身につけよう
鷲嶽 正道	アイデアを表現しよう!

法学部

教員名	石川 一久	英語の歴史(イギリスにおける民族支配の影響を受けて)論理トレーニング—ものごとを正確に表現する力を身につけよう—
教員名	岩佐 宣明	日常生活には科学がいつばい! 理解して、より便利な生活を!
教員名	上原 宏行	裁判員裁判を体験しよう!
教員名	梅田 豊	比較文化と実用英語
教員名	河合 泰弘	趣味から始める学問入門
教員名	澤田 真由美	英語のふしぎ
教員名	柴田 哲雄	キャリアの基礎を固めよう!
教員名	高田 正義	コミュニケーション能力を鍛えて、夢をつかもう!
教員名	田中 淳子	法的思考のすすめ
教員名	中村 綾	日本と中国の文化をテーマに表現力を身に付けよう!
教員名	松永 論	量で物事を考える—「ある」「なし」だけじゃないモノの見方のトレーニング—

商学部

教員名	上原 宏行	日常生活には科学がいつばい! 理解して、より便利な生活を!
教員名	海野 勇三	国際協力について考える
教員名	岡島 秀隆	絵本読書会—読み・考え・語り・書く力を磨こう
教員名	河野 敏宏	日本語の文章表現力を身につけよう!

近藤 浩

読ませる文章を書けるようになるう!

佐々木 真

伝える力 伝わる力

柴田 哲雄

キャリアの基礎を固めよう!

白木 優馬

「あたりまえ」を見直してみよう

菅原 研州

ピリオオバトルを通して読書を好きになろう!

虎澤 慶太

論理的思考を鍛えよう

心理学部

教員名	青山 健太	大学での学びのスタート! 知識や技術を活用しよう!
教員名	糸井川 修	「ファウスト」を読む
教員名	内田 康弘	学校の「当たり前」を見つめ直そう!—教育を論理的・客観的に考える
教員名	小出 龍郎	I、「脳とこころ」のサイエンス
教員名	白木 優馬	II、「生(いのち)と死」のサイエンス
教員名	松井 真一	「あたりまえ」を見直してみよう
教員名		「社会」の見方・測り方—社会を題材に論理的思考を身につけよう—

経済学部

教員名	岩田 荘平	筋道だった思考と説得力のある叙述のために—初歩から学ぶ論理学—
教員名	梅田 豊	裁判員裁判を体験しよう!

久馬 栄道	超難解折り紙で、論理脳を鍛えよう
香ノ木 隆臣	詩は世につれ 世は詩につれ—20世紀のアメリカ詩—
小柳 竜太	技術としての教養を身につける
朱 新建	歴史は鑑である
菅井 大地	文学を通して環境について考えよう
杉浦 克哉	昔の英字新聞を読む
富田 啓介	身近な自然環境を考える
吉村 正宏	科学的な思考のレッスン

教養セミナー III

教員名	テーマ
小柳 竜太	自身の競技パフォーマンスを高める術を知ろう—トレーニング理論の学習と実践—
上原 宏行	数的推理の問題を通して論理的な考え方を養う
山森 忠直	プロ棋士に学ぶ囲碁の基本—囲碁を通して「思考力」「判断力」「分析力」「集中力」を養う
山名 賢治	環境・エネルギー問題について考える
朱 新建	映画と音楽を通して異文化の共有と創新を学ぶ
海野 勇三	現代における子どもの人権状況
文 嬉眞	異文化・自国文化を考えよう！
金 芝恵	ハンゲル能力検定試験4級合格にチャレンジ
齋藤 和佳子	「ボンジョルノ！イタリア」—文化と会話を楽しもう—
糸井川 修	ドイツ語で読む『白雪姫』

高田 正義	メンタルトレーニングの土台を作ろう
-------	-------------------

教養セミナー IV

教員名	テーマ
小柳 竜太	自身の競技パフォーマンスを高める術を知ろう—有酸素トレーニング理論の学習と実践—
朱 新建	映画と音楽を通して異文化の共有と創新を学ぶ
文 嬉眞	異文化・自国文化を考えよう！
金 芝恵	ハンゲル能力検定試験4級合格にチャレンジ
齋藤 和佳子	「ボンジョルノ！イタリア」—文化と会話を楽しもう—
糸井川 修	ドイツ語で読む『いばら姫』と『ラプンツェル』
高田 正義	メンタルトレーニングを展開します

表紙絵の思い出

—イギリスのレッド・ブリックス大学—

教養部数学教室 久馬 栄道

私は二〇〇一年度に在外研究にいく機会をいただき、イギリスのリーズ大学で一年間、研究に専念する機会をいただきました。

イギリスのリーズ大学は、秋篠宮ご夫婦の次女、佳子さまが留学されたことで有名ですが、それは私がリーズ大学に滞在した後の話であり、当時はまさかそんなことになるとは、まったく想像もできませんでした。

そもそもリーズは、訛りの強い北イングランドの中でも、さらに訛りが強い地域と思われているので、イギリス人にとっては、まさかそんな地域に日本のプリンセスが留学するとは、驚きだったようです。

リーズ大学は、イギリスの大学の中でもラッセル・グループと言われる上位二四校に入り、イギリスは国の研究費の三分の二をラッセル・グループに注いでいるので、かなりの有力校だと思われまます。

その中でもリーズ大学を含む七つがレッド・ブリックス

(赤レンガ) 大学と言われています。おもに産業革命の後で作られた大学で、ケンブリッジ大学やオックスフォード大学が石で造られている校舎が多いのに対し、赤レンガで作られた校舎が多いことから、この名前がつけました。

リーズ大学は二〇世紀の初頭に造られたので、比較的新しい大学ですが、表紙絵はそのリーズ大学のグレート・ホールと言われる講堂で、赤レンガで造られており、まさにレッド・ブリックス大学を代表する建造物です。

九月が入学シーズンのイギリスでは、七月が卒業シーズンで、その季節になりますと、大学のスクール・カラーのマントと帽子を着込んだ卒業生で華やかな雰囲気醸しています。

卒業式はマントと帽子を着用すれば、あとは自由なので、もちろんマントの下がとんでもないことになっている学生も多数いて楽しいです。

編集後記

『知の旅立ち』第28号をお届け致します。今号には二十八編の原稿を掲載することができました。レポートを投稿してくださった学生の皆さん、そして、ここまでの過程で様々な形でご尽力くださった教養部の先生方に、この場を借りて深く感謝申し上げます。

投稿された二十八編中二十七編は一年生の教養セミナーの授業から生まれた成果、一編が韓国語のスピーチコンテストに出場し、見事、最優秀賞を受賞した際のスピーチ原稿です。学生の皆さんが教養科目の授業に一生懸命取り組みだ証であり、大変嬉しく思います。

今回この冊子の編集に携わり、学生の皆さんのレポートを拝読して、私は様々な授業のヒントを頂戴した気がしません。学生の皆さんにも大きな励みになっていることでしょう。

二〇二〇年春、世の中は新型コロナウイルスの感染で様々な規制が敷かれることになりました。この『知の旅立ち』にレポートを寄せて下さった皆さんの多くは高校の三年間をコロナ禍の最中に送った人でしょう。高校生活がコロナ禍の下にあった皆さんは、それまでの当たり前が当たり前ではなかった中で勉学に励んできたことと思います。

そして、二〇二三年五月に新型コロナウイルスが五類に

変更されました。本学では授業体制やその他の多くをコロナ前に大分戻すことができました。それまで大人数の授業は極力控えられ、教室の収容人数にも規制がかかっていましたが、今年度はそれがなくなり、教養セミナーの授業でも合同発表会などが行われました。それは大変喜ばしいことに違いありませんが、高校時代の土台が平常運行ではなかった皆さんが大学生になって迎えた「普通」の大学生活には戸惑うことも多かったのではないかと推察しています。

そんな中で、ただでさえ高校までとは違う、レポート、プレゼンテーション、ビデオバトル、インフォーマントといった様々な課題に取り組んだ皆さんの成果がこの『知の旅立ち』です。若い皆さんの柔軟な考え方に、教養セミナーの授業で修得した論理の組み立て方や有効な発表の仕方などがしつかりと添えられて完成させたこれらの成果は、皆さんが懸命に大学生活から学び取った結晶なのです。

新型コロナウイルスはなくなつたわけではありませんが、多くの規制があつたあの時期を振り返る時期になりつつあります。皆さんは懸命にコロナ禍をくぐり抜け、様々な「知」を実らせたのだという自信を持ってこれからの人生に向かつて下さい。さらなる飛躍を遂げることを願っています。

(中村記)

令和6年3月25日 印刷
令和6年3月30日 発行

(非売品)

愛知学院大学

『知の旅立ち』 教養セミナー学生論集

第28号

発行者

教養教育研究会

編集委員

野田大志
梅田大志
南裕明
小柳竜太
藤田淳志
中村綾

発行 愛知学院大学教養部 教養教育研究会

〒470-0195

愛知県日進市岩崎町阿良池12

電話(0561)(73) 1111

印刷所 株式会社 あるむ

名古屋市中区千代田3-1-12

電話(052) 332-0861



AICHI GAKUIN
UNIVERSITY